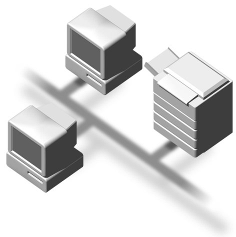
プリンターネットワーク編

使用説明書



1 Windows 95/98/Meで使う
2 Windows 2000で使う
3 Windows XPで使う
4 Windows NT 4.0で使う
5 NetWareで使う
6 Macintoshで使う
7 UNIXで使う
8 付録

ご使用の前に必ずこの「使用説明書」をお読みの上、正しくお使いください。
本書をすぐに利用できるように保管してください。

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。
安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「使用説明書<取り扱い編>『安全上のご注意』」をお読みください。

株式会社リコー

商標

- Apple、AppleTalk、EtherTalk、漢字Talkは、米国Apple Computer, Inc.の登録商標です。
- Macintosh、MacOSは、米国Apple Computer, Inc.の商標です。
- DOS/Vは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Ethernetは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Netscape、Netscape Navigatorは、Netscape Communications Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Novell、NetWare、Client32、NDSは、米国Novell, Inc.の登録商標です。
- PostScriptは、AdobeSystems, Incorporated（アドビシステムズ社）の各国での登録商標または商標です。
- Sunは、米国Sun Microsystems, Inc.の登録商標です。
- SunOSは、米国Sun Microsystems, Inc.の商標です。
- UNIXはX/Openカンパニーリミテッドがライセンスしているソフトウェアです。
- その他の会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

* Windows® 95の製品名は、Microsoft® Windows® 95です。
* Windows® 98の製品名は、Microsoft® Windows® 98です。
* Windows® Meの製品名は、Microsoft® Windows® Millennium Edition（Windows Me）です。
* Windows 2000の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows® 2000 Professional
  Microsoft® Windows® 2000 Server
  Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server
* Windows XPの製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows® XP Home Edition
  Microsoft® Windows® XP Professional
* Windows NT® 4.0の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows NT® Server 4.0
  Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0
* MS-DOSの正式名称はMicrosoft® MS-DOS® operating systemです。

目次

マークについて 3
お使いになる前に 4
環境別セットアップガイド 6
Windows 95/98/Me、Windows 2000、
Windows XP、Windows NT 4.0から印刷する ... 6
NetWareのプリントサーバを使って印刷する 7
Macintoshから印刷する 8
UNIXから印刷する 9
無線LANインターフェースを使用して印刷する ... 10
IEEE 1394インターフェースを使用して印刷する ... 11

1. Windows 95/98/Meで使う

Windows 95/98/Meセットアップガイド 13
プリントサーバを使わないで印刷するとき 13
Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0の
プリントサーバを使って印刷するとき 13
プロトコルの準備をする 14
TCP/IP印刷、IPP印刷のための準備 14
NetBEUI印刷のための準備................................ 15
ソフトウェアをインストールする 16
Windows 2000、Windows XP、
Windows NT 4.0のプリントサーバを使う 17
名前とコメントを変更する.................................... 19
Ridoc IO Adminの場合 19
Webブラウザの場合... 21
プリンターの状態表示... 23
Ridoc IO Adminの場合 23
Ridoc IO Naviの場合 24
Webブラウザの場合... 26

2. Windows 2000で使う

Windows 2000セットアップガイド 27
プリントサーバを使わないで印刷するとき 27
標準TCP/IPポート(Standard TCP/IP Port)を
使用して印刷するとき..................................... 28
LPRポートを使用して印刷するとき 28
Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0の
プリントサーバを使って印刷するとき 28
プロトコルの準備をする 29
TCP/IP印刷、IPP印刷のための準備 29
NetBEUI印刷のための準備................................ 30
ソフトウェアをインストールする 31
LPRポートを使ったTCP/IP印刷............................ 32
Windows 2000、Windows XP、
Windows NT 4.0のプリントサーバを使う 33
名前とコメントを変更する.................................... 35
Ridoc IO Adminの場合 35
Webブラウザの場合... 37
プリンターの状態表示... 39
Ridoc IO Adminの場合 39
Ridoc IO Naviの場合 40
Webブラウザの場合... 42

3. Windows XPで使う

Windows XPセットアップガイド............................ 43
プリントサーバを使わないで印刷するとき 43
標準TCP/IPポート(Standard TCP/IP Port)を
使用して印刷するとき 44
LPRポートを使用して印刷するとき 44
Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0の
プリントサーバを使って印刷するとき 44
プロトコルの準備をする.. 45
TCP/IP印刷、IPP印刷のための準備................... 45
ソフトウェアをインストールする 46
LPRポートを使ったTCP/IP印刷 47
Windows 2000、Windows XP、
Windows NT 4.0のプリントサーバを使う........... 49
名前とコメントを変更する 52
Ridoc IO Adminの場合....................................... 52
Webブラウザの場合 54
プリンターの状態表示 56
Ridoc IO Adminの場合....................................... 56
Ridoc IO Naviの場合.. 57
Webブラウザの場合 59

4. Windows NT 4.0で使う

Windows NT 4.0セットアップガイド...................... 61
プリントサーバを使わないで印刷するとき 61
LPRポートを使用して印刷するとき 61
Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0の
プリントサーバを使って印刷するとき 61
プロトコルの準備をする.. 62
TCP/IP印刷、IPP印刷のための準備................... 62
NetBEUI印刷のための準備 63
ソフトウェアをインストールする 65
LPRポートを使ったTCP/IP印刷 66
Windows 2000、Windows XP、
Windows NT 4.0のプリントサーバを使う........... 68
名前とコメントを変更する 70
Ridoc IO Adminの場合....................................... 70
Webブラウザの場合 72
プリンターの状態表示 74
Ridoc IO Adminの場合....................................... 74
Ridoc IO Naviの場合.. 75
Webブラウザの場合 77

5. NetWareで使う

NetWare3.xJでのセットアップ............................. 80
プリントサーバとして使う................................ 80
リモートプリンタとして使う 82
NetWare4.xJ、NetWare5/5.1Jでのセットアップ ... 87
プリントサーバとして使う................................ 87
リモートプリンタとして使う 90
クライアント側のセットアップ 96
Windows 95/98/Me 96
DOS.. 98

6. Macintoshで使う

セットアップ 99
EtherTalkへの切り替え 99
プリンターの設定.. 100
プリンター名の変更 100
ゾーンの変更 100

7. UNIXで使う

セットアップ 101
IPアドレスの設定.. 102
インストールシェルの実行 103
インストールシェルの実行結果 105
印刷方法.. 108
rsh、rcp、ftpコマンドによる印刷.................. 109
オプション指定.. 111
エミュレーションとプログラム 112
漢字フィルター 113
給紙トレイ 113
用紙サイズ 114
用紙種類... 116
排紙トレイ 116
印刷部数... 117
ソート部数 117
両面印刷... 118
解像度... 119
印刷方向... 119
オプション指定の変更方法 119
プリンターの状態表示.. 120
表示する場合.. 120
ファイルにコピーする場合 120

8. 付録

Ridoc IO Admin... 121
ネットワークインターフェースボードの
設定を変更するには 121
ユーザー情報を管理するには.......................... 122
省エネモードを設定するには.......................... 123
機器側操作部のメニューをロックする 123
用紙種類を設定する 124
スプール印刷ジョブの一覧を表示する 125
無線LANを使用する... 126
無線LANセットアップガイド.......................... 126
インフラストラクチャーモードで使用する 127
アドホックモードで使用する.......................... 127
接続の確認 128
Webブラウザを使用する 129
トップページを表示する 130
ボードの設定を変更するには.......................... 131
ボード設定の参照を行なうには 133
DHCPを使用する... 134
AutoNet機能を使用する 134
WINSサーバを使用する...................................... 135
Webブラウザを使用する方法 135
mshellを使用する方法..................................... 136
Windowsからのファイル直接印刷 137
セットアップ.. 137
印刷方法 138
telnetによるリモートメンテナンス（mshell）....... 140
操作の流れ.. 140
コマンド一覧 141
SNMP 151
取得情報の内容 152
プリントジョブ情報 152
プリントログ情報.. 153
ネットワークインターフェースボードの情報... 154
メッセージ一覧 157
システムログ情報.. 157
使用上の注意.. 162
ネットワークにISDN回線を接続している場合... 162
NetWare環境で印刷する場合 163
Ridoc IO NaviでIPPを使用する場合 163
仕様 164
索引 165

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

※以上は、安全上のご注意についての説明です。

重要

誤って操作をすると、紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になることがあります。必ず、お読みください。

操作の前に

操作をする前に知っておいていただきたいこと、あらかじめ準備していただきたいことなどを説明しています。

補足

操作するときに気を付けることや、操作を誤ったときの対処方法などを説明しています。

制限

数値の制限や組み合わせできない機能、機能が使用できない状態を説明しています。

参照

参照先を示します。

［　］

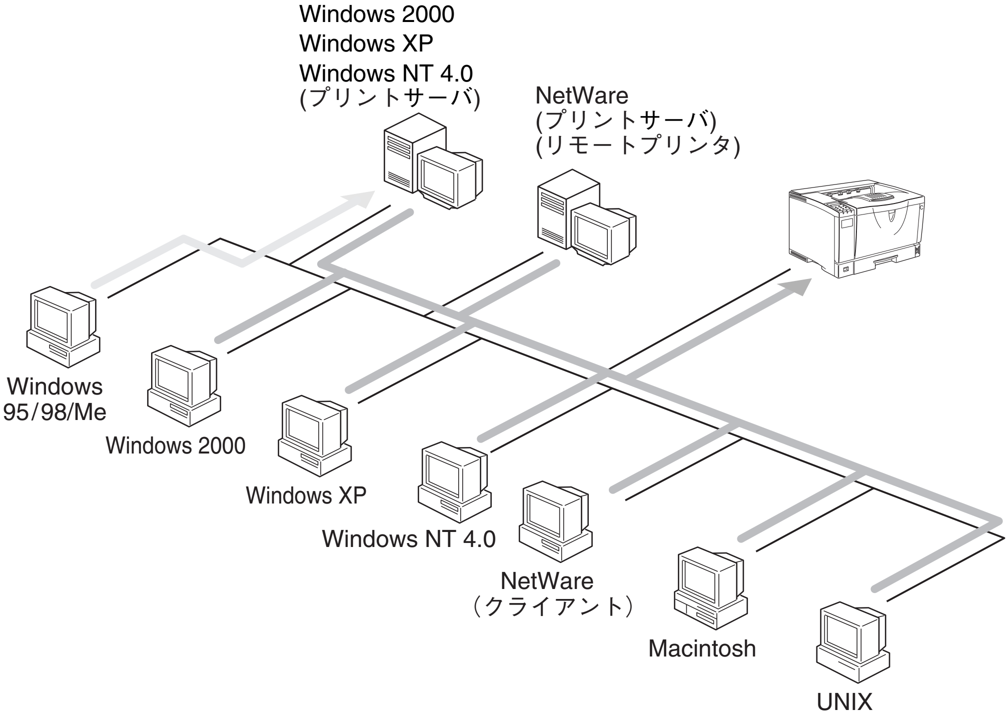
画面のキーの名称を示します。

【　】

操作部（画面を除く）のキーの名称を示します。

お使いになる前に

本書はリコープリンターをネットワークプリンターとして使用するための説明書です。使用しているネットワーク環境に対応する部分をお読みの上、正しく設定してください。



重要

- ❒ 本書はネットワーク管理者の方を対象として書かれています。設定にあたっては必ずネットワークの責任者（ネットワーク管理者）が行うか、ネットワークの責任者の立ち会いのもとで行ってください。

参照

ネットワークケーブルの接続のしかたについて詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

❖ 特長

- 100BASE-TXと10BASE-T、IP over 1394、IEEE 802.11bに対応しています。
- Windows 95/98/Me（TCP/IP、NetBEUI *1 、IPP *2 ）、Windows 2000（TCP/IP、NetBEUI、IPP *2 ）、Windows NT 4.0（TCP/IP、NetBEUI *1 、IPP *2 ）、Windows XP（TCP/IP、IPP *2 ）、NetWare（IPX/SPX）*3 、UNIX（TCP/IP）、Macintosh(AppleTalk)に同時対応しているので、どの環境からでも印刷できます（マルチプロトコル）。
- NetWare のプリントサーバ機能を備えているので、専用のプリントサーバが必要ありません。
- プリンター内蔵型なので、外部電源を使用しないでネットワークへ簡単に接続できます。

*1 NetBEUIプロトコルは、Ridoc IO Naviポート経由でご使用ください。

*2 IPPとはInternet Printing Protocolの略で、インターネットを経由してネットワークプリンターに印刷するためのプロトコルのことです。

*3 拡張無線LANボード(オプション）を装着した場合、アドホックモードではお使いいただけません。

❖ インターフェースとプロトコルの対応

		インターフェース		
		イーサネット	無線LAN	IEEE 1394
プロトコル	TCP/IP	○	○	○
	NetBEUI	○	○	×
	NetWare	○	○ [*1]	×
	AppleTalk	○	○	×

[*1] アドホックモードではお使いいただけません。

環境別セットアップガイド

Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0から印刷する

Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0から印刷するときの設定方法を説明します。

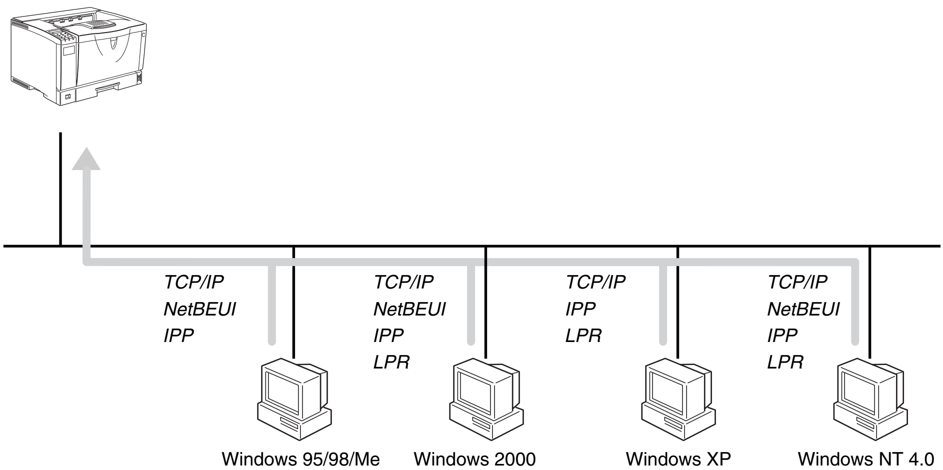
⇒ P.13 「Windows 95/98/Meで使う」

⇒ P.27 「Windows 2000で使う」

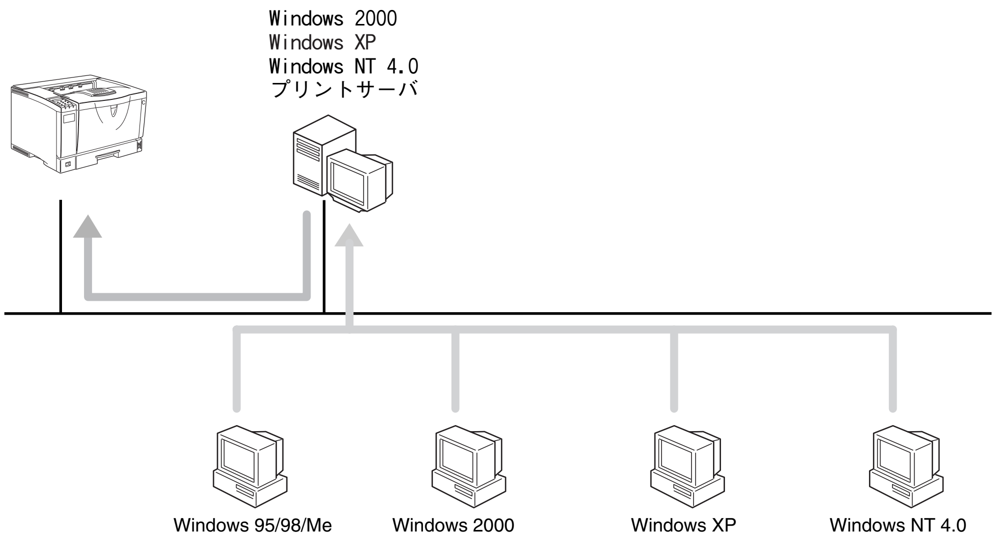
⇒ P.43 「Windows XPで使う」

⇒ P.61 「Windows NT 4.0で使う」

❖プリントサーバを使わないで印刷する



❖Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のプリントサーバを使って印刷する



NetWareのプリントサーバを使って印刷する

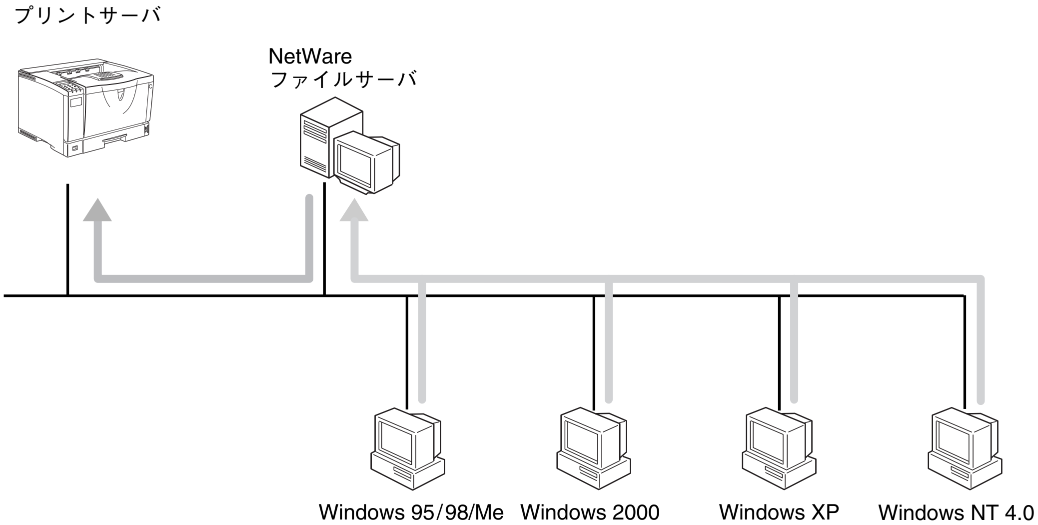
NetWareの環境で印刷するときはP.79「NetWareで使う」をご覧ください。プリントサーバとして使用する場合とリモートプリンタとして使用する場合の設定方法を説明します。

クライアントのセットアップ方法は、各OSの参照先をご覧ください。

- Windows 95/98/Me⇒ P.96「Windows 95/98/Me」
- DOS⇒ P.98「DOS」

プリントサーバとして使用する場合

NetWareの環境でプリンターを使用する場合、プリンターにプリントサーバの機能を持たせることができます。このとき専用のNetWareプリントサーバは必要ありません。

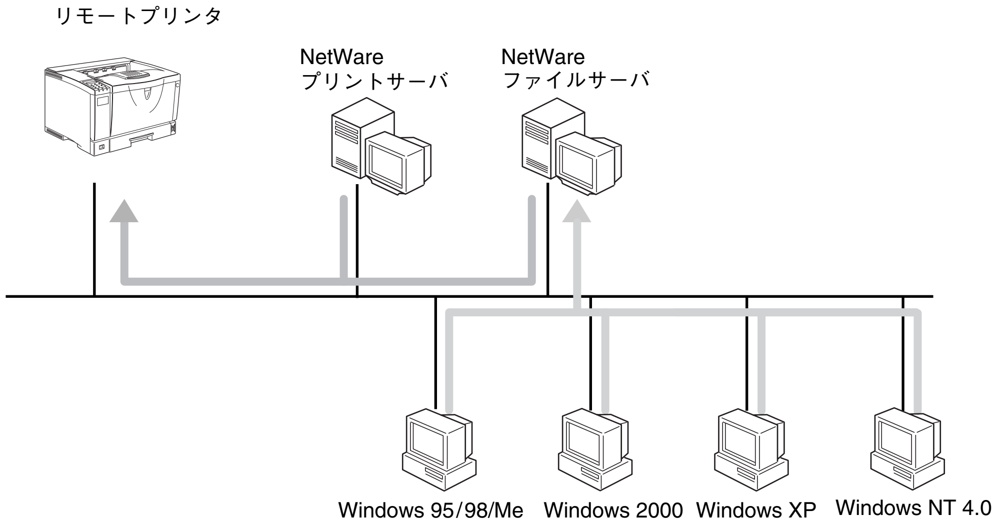


NetWareのバージョンによりプリンターのセットアップ方法が異なります。

- NetWare3.xJ⇒ P.80「プリントサーバとして使う」
- NetWare4.xJ、5/5.1J⇒ P.87「プリントサーバとして使う」

リモートプリンタとして使用する場合

専用のプリントサーバを使用するときはプリンターをリモートプリンタとして設定します。

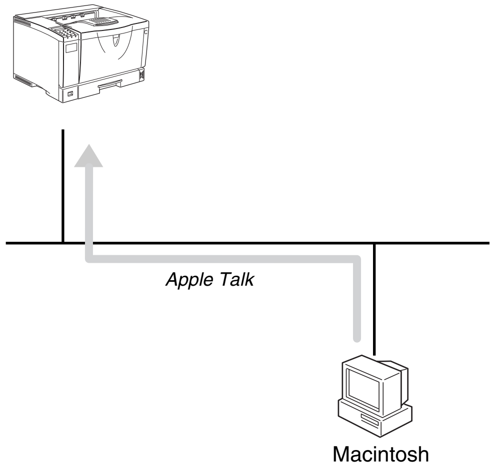


NetWareのバージョンによりプリンターのセットアップ方法が異なります。

- NetWare3.xJ⇒ P.82 「リモートプリンタとして使う」
- NetWare4.xJ、5/5.1J⇒ P.90 「リモートプリンタとして使う」

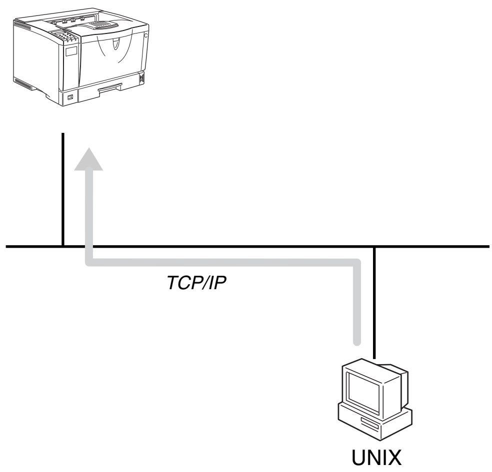
Macintoshから印刷する

Macintosh の EtherTalk 環境でネットワークプリンターを使用する場合の設定のしかたを説明しています。P.99 「Macintoshで使う」をご覧ください。



UNIXから印刷する

UNIX でネットワークプリンターを使用する場合のセットアップとプリンターの状態表示のしかたを説明しています。P.101 「UNIXで使う」をご覧ください。



無線LANインターフェースを使用して印刷する

拡張無線LANボード（オプション）を装着して印刷する方法を説明します。

無線LANを使った通信方法には次の2通りの方法があります。

❖ アドホックモード（802.11アドホックモード／アドホックモード）

これは､無線LAN機器を装着したパソコン同士で通信するモードです｡無線LAN機器を装着したパソコン間に中継器（アクセスポイント）を必要としない最も基本的な通信方式で､通信するためには互いに使用する周波数帯（チャンネル）､SSID [*1] を揃える必要があります。

無線LANを装着したパソコンの設定によっては、SSID [*1] の設定が不要な場合もあります。詳しくは、P.126「無線LANを使用する」を参照してください。

❖ インフラストラクチャーモード

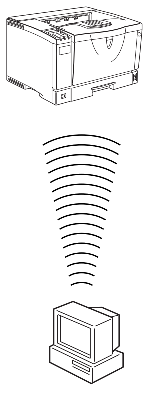
これは、アクセスポイントを経由して通信するモードです。アクセスポイントでSSID [*1]、WEP [*2] を設定している場合は、同じ値を設定する必要があります。また、有線LAN（イーサネット）にアクセスポイントを接続することにより、既存のネットワーク環境に組み込むことができます。

⇒ P.147「無線LANの設定」

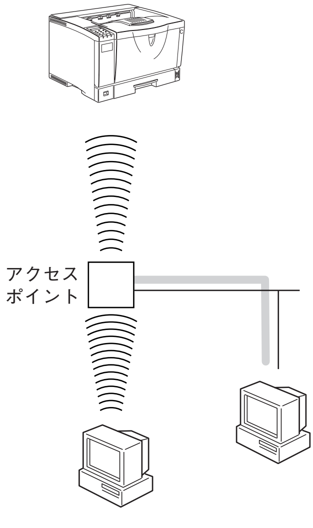
*1 Service Set IDとよばれ、アクセスポイントと無線LANクライアント間で接続の際に使用される識別子です。同じSSIDを共有する無線LANクライアントとアクセスポイントだけが相互に通信が可能となります。（設定できる文字は、半角英数字32バイト（大文字／小文字を区別する<ASCII 0x20〜0x7e>）までとなります。）

*2 無線データ通信の内容を暗号化して保護するために使用されます。暗号化されたアクセスポイント、無線LANクライアント間で通信するためには､プリンターにも同一のWEPキーを設定する必要があります。（設定できる値は、64bitの場合16進数10桁、128bitの場合16進数26桁です。）

❖アドホックモードで印刷する



❖インフラストラクチャモードで印刷する



IEEE 1394インターフェースを使用して印刷する

拡張1394ボード（オプション）を装着して、IEEE 1394インターフェースから印刷するしかたを説明します。

IEEE 1394インターフェースを使用して印刷するには次の2通りの方法があります。

❖ SCSI print

Windows 2000/Windows XPで提供されるSCSI printデバイスを使用して印刷することができます。

参照

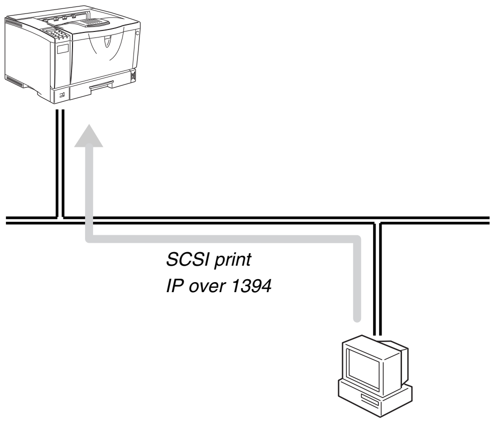
プリンターに同梱の使用説明書、またはP.131「ボードの設定を変更するには」を参照してください。

❖ IP over 1394

Windows Me/Windows XPをインストールしたPCと本機のIPアドレスなどを設定することにより、印刷することができます。

参照

プリンターに同梱の使用説明書、P.140「telnetによるリモートメンテナンス（mshell）」または、P.131「ボードの設定を変更するには」を参照してください。



Windows 95/98/Meセットアップガイド

補足

- ❒ Windows 95/98は、IP over 1394には対応していません。

プリントサーバを使わないで印刷するとき

NetWareやWindows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のプリントサーバを使わないで直接ネットワークプリンターに印刷する場合は、以下の手順でセットアップを行います。

1 使用するプロトコルを決定します。

ネットワーク管理者の方と相談し、使用するプロトコルを決定します。

- TCP/IPプロトコル
- IPPプロトコル
- NetBEUIプロトコル

2 プロトコルの準備をします。

1で決定したプロトコルを使うための準備をします。

- TCP/IP印刷のための準備⇒ P.14 「TCP/IP印刷、IPP印刷のための準備」
- IPP印刷のための準備⇒ P.14 「TCP/IP印刷、IPP印刷のための準備」
- NetBEUI印刷のための準備⇒ P.15 「NetBEUI印刷のための準備」

3 Ridoc IO Naviをインストールし、プリンタードライバーのポートを設定します。

- Ridoc IO Naviは、プリンター本体に同梱のCD-ROMからインストールします。インストール方法とプリンタードライバーのポートの設定方法について詳しくは、プリンター本体の使用説明書を参照してください。

Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のプリントサーバを使って印刷するとき

Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のプリントサーバを使った場合のクライアントの設定方法はP.17 「Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のプリントサーバを使う」をご覧ください。

プロトコルの準備をする

TCP/IP印刷、IPP印刷のための準備

TCP/IPプロトコルまたはIPPを使って印刷する場合は、以下の説明にしたがってネットワーク環境を設定してください。

プリンターの環境設定

TCP/IPを使って印刷できるように、プリンターのネットワーク環境を設定しておきます。

- TCP/IPプロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）
- IPアドレスなどTCP/IPに関する項目を設定する

参照

設定方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

DHCPを使用してプリンターのIPアドレスを設定するときは、P.134 「DHCPを使用する」を参照してください。

Windows MeでIEEE 1394（IP over 1394）をお使いになる場合、操作パネルから設定する必要があります。詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

補足

❒ IPアドレスを設定したら正しく設定されたかどうかWindows上から確認してください。

① コマンドプロンプトを使用できるようにします。

- Windows 95/98の場合：
［スタート］-［プログラム］-［MS-DOSプロンプト］
- Windows Meの場合：
［スタート］-［プログラム］-［アクセサリ］-［MS-DOSプロンプト］

② 次のように入力して確認します。（プリンターのIPアドレスが192.168.15.16の場合）

```
C:> ping 192.168.15.16
```

正しく設定されていると次のように表示されます。

```
Reply from 192.168.15.16 : bytes=32
time<10ms TTL=32
```

間違って設定されていると次のように表示されます。

```
Request timed out.
```

Windowsの環境設定

Windowsに「TCP/IPプロトコル」を組み込み、TCP/IPのプロパティを設定します。

1 **［コントロールパネル］の［ネットワーク］アイコンをダブルクリックし、［ネットワークの設定］タブの［現在のネットワークコンポーネント］ボックスに、「TCP/IP」が組み込まれていることを確認します。**



補足

❒ 「TCP/IP」が組み込まれていないときは、［ネットワークの設定］タブの［追加］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法について詳しくは、Windows 95/98/Meのヘルプを参照してください。

❒ Windows MeでIEEE 1394(IP over 1394)をお使いの場合、TCP/IPがお使いのIEEE 1394アダプターにバインドされているか確認してください。

2 **TCP/IPプロトコルを組み込んだら、プロパティを設定します。**

設定内容はネットワーク管理者の方に確認し、正しく設定してください。

NetBEUI印刷のための準備

NetBEUIプロトコルを使って印刷する場合は、以下の説明にしたがってネットワーク環境を設定してください。

プリンターの環境設定

NetBEUIプロトコルを使って印刷できるように、プリンターのNetBEUIプロトコルを有効にします（工場出荷時は有効です）。

参照

設定方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

Windowsの環境設定

Windowsに「NetBEUIプロトコル」を組み込み、NetBEUIを標準のプロトコルに設定します。

1 ［コントロールパネル］の［ネットワーク］アイコンをダブルクリックし、［ネットワークの設定］タブの［現在のネットワークコンポーネント］ボックスに、「NetBEUI」が組み込まれていることを確認します。



補足

- ❒「NetBEUI」が組み込まれていないときは、［ネットワークの設定］タブの［追加］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法について詳しくは、Windowsのヘルプを参照してください。
- ❒「ダイヤルアップアダプタ」が組み込まれている場合、設定によっては印刷できないことがあります。このようなときは、ダイヤルアップアダプタのプロパティを開き、［バインド］タブの「NetBEUI→ダイヤルアップアダプタ」の✓印を外してください。

2 NetBEUIプロトコルを標準のプロトコルに設定します。［ネットワークの設定］タブをクリックし、［現在のネットワーク構成］ボックスの「NetBEUI」をクリックして反転表示させ、［プロパティ］をクリックします。

3 ［詳細設定］タブをクリックし、［既定のプロトコルとして設定する］をクリックして✓印を付け、［OK］をクリックします。



4 ［OK］をクリックし、［ネットワーク］ダイアログを閉じます。

5 再起動するかどうかを確認するメッセージが表示されるので、［はい］をクリックします。

1

ソフトウェアをインストールする

TCP/IP、NetBEUI、IPPプロトコルを使用してネットワークプリンターに印刷するには、Ridoc IO Naviをインストールします。Ridoc IO Naviをインストールすることにより、次の機能を使用することができます。

- Peer-to-Peer プリント機能
  - プリントサーバが無くても、直接ネットワークプリンターに印刷できます。
- 指定したプリンターにジョブがたまっていたり、エラーが発生して印刷できないとき、代わりのプリンターに印刷できます（代行印刷）。
- 複数部数の印刷を複数のプリンターに割り振って印刷できます（並行印刷）。
- 並行/代行印刷に指定するプリンターをあらかじめグループ登録できます。
- 印刷データを転送中または印刷中に指定したプリンターにエラーが発生した場合、エラーメッセージを通知させることができます。
- 印刷が完了したときに、[印刷通知]ウィンドウを表示して、印刷の完了を通知することができます。また代行印刷したときだけ表示させるなど、印刷条件により通知するかどうかを設定することができます。
- 機器監視機能
  - 印刷中、用紙切れなど機器の情報をパソコン上で確認できます。
  - 複数台の機器を使い分けているときは、それらを同時に監視できます。
  - 機器のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
  - ユーザーIDを使ったジョブの履歴を確認できます。

制限

❒ 代行印刷、並行印刷の設定には条件があります。条件について詳しくは、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

❒ コンピュータをプリントサーバとして使用している場合、代行印刷、並行印刷の機能は使用できません。

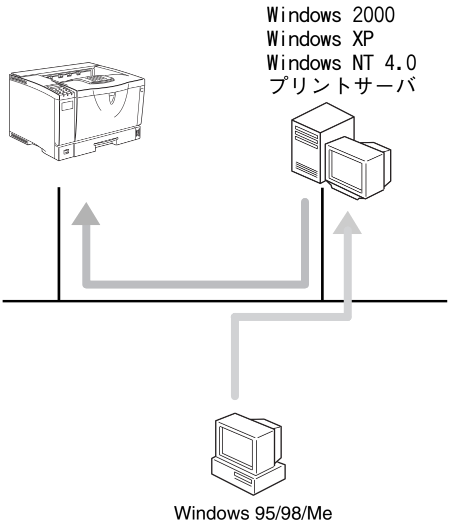
補足

❒ Ridoc IO Naviは、プリンター本体に同梱のCD-ROMからインストールします。インストール方法とプリンタードライバーのポートの設定方法について詳しくは、プリンター本体に同梱の使用説明書を参照してください。

Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のプリントサーバを使う

Windows 2000 、Windows XPまたはWindows NT 4.0をプリントサーバとして使用した場合のクライアント側のセットアップ方法を説明します。

Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のプリントサーバを使用する場合、プリンタードライバーをインストールしたあと、印刷先のポートをWindows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0の共有プリンターに変更します。



制限

- ❒ Ridoc IO Naviポートで本機を接続しているプリントサーバをお使いの場合、クライアントからの代行印刷、並行印刷を行なうことはできません。
- ❒ Windows XPをプリントサーバとした場合、クライアントに印刷通知を行うことはできません。

補足

- ❒ ここでの説明はクライアント側がWindows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0と正しく通信できる環境に設定されていることを前提にしています。

1 **印刷するプリンターのプリンタードライバーを、「ローカルプリンタ」としてインストールします。**

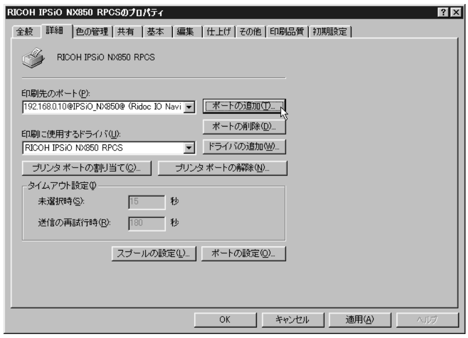
参照

インストール方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

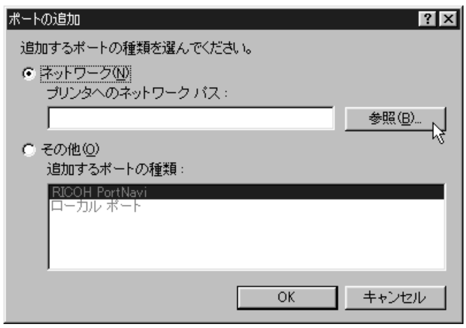
2 **［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。**

3 **［プリンタ］ウィンドウで、印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**

4 **［詳細］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。**



5 **［ネットワーク］をクリックし、［参照］をクリックします。**



6 ネットワークツリー上で、プリントサーバとして使用するコンピュータの名前をダブルクリックします。

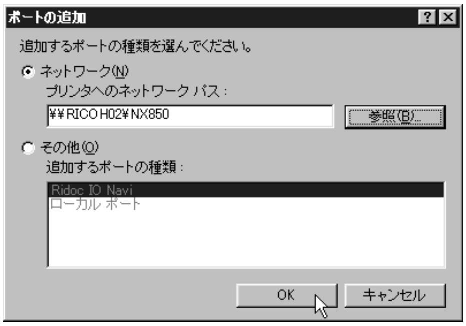


組み込まれている共有プリンターが展開されます。

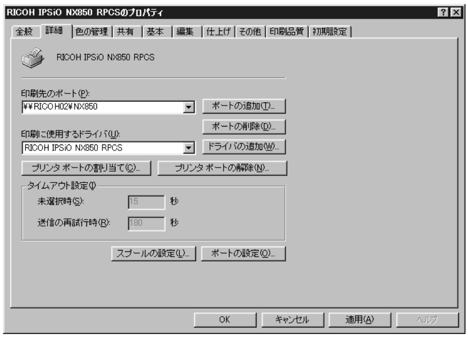
7 印刷するプリンターをクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。



8 ［OK］をクリックします。



9 ［印刷先のポート］ボックスに、プリンタへのネットワークパスが入力されていることを確認し、［OK］をクリックします。



名前とコメントを変更する

Ridoc IO AdminやRidoc IO Naviで一覧表示したとき、プリンターを識別しやすくするために、表示される名前を変えたりコメントを付けたりすることができます。



表示される名前やコメントを変更するには、以下のユーティリティーを使用します。

❖ Ridoc IO Admin

TCP/IP プロトコルまたは IPX/SPX プロトコルを使用している場合、Ridoc IO Adminを使用して名前とコメントを変更できます。Ridoc IO Adminは、プリンター本体に付属しているCD-ROMからインストールします。インストール方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

❖ Webブラウザ

TCP/IPプロトコルを使用している場合、Webブラウザを使用して名前とコメントを変更できます。

補足

❒ TCP/IPプロトコルで表示される名前（プリンタ名）とNetBEUIプロトコルで表示される名前（コンピュータ名）は個別に変更します。コメントは共通です。

❒ 工場出荷時の名前には「RNP」とネットワークインターフェースボードのMACアドレスの下3バイトで構成される名前が設定されています。たとえば、MACアドレスが00:00:74:62:0B:3Aの場合は「RNP620B3A」です。コメントは設定されていません。

Ridoc IO Adminの場合

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 ［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［TCP/IP］または［IPX/SPX］をクリックします。

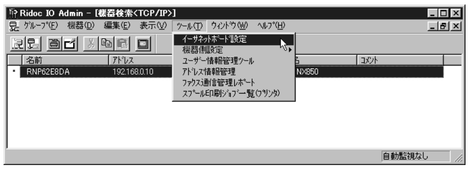
- ［TCP/IP］を選択すると、TCP/IPプロトコルを使用しているプリンターが一覧表示されます。



- ［IPX/SPX］を選択すると、IPX/SPXプロトコルを使用しているプリンターが一覧表示されます。



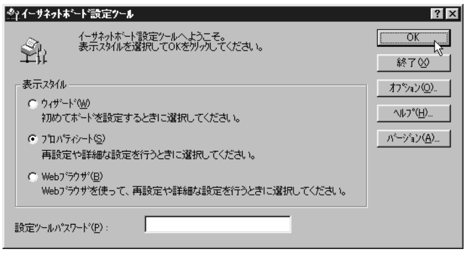
3 名前やコメントを変更したいプリンターをクリックして反転表示させ、［ツール］メニューの［イーサネットボード設定］をクリックします。



イーサネットボード設定ツールが起動します。

1

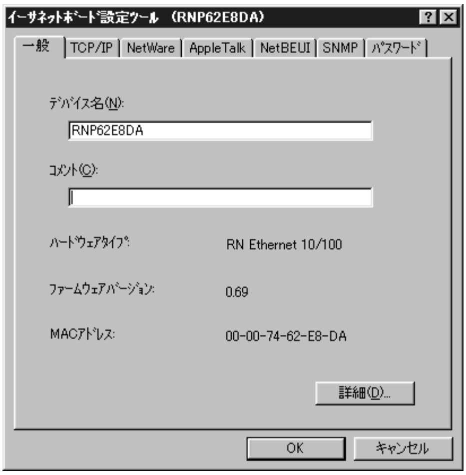
4 ［プロパティシート］をクリックし、［OK］をクリックします。



5 名前とコメントを変更します。

TCP/IPの場合

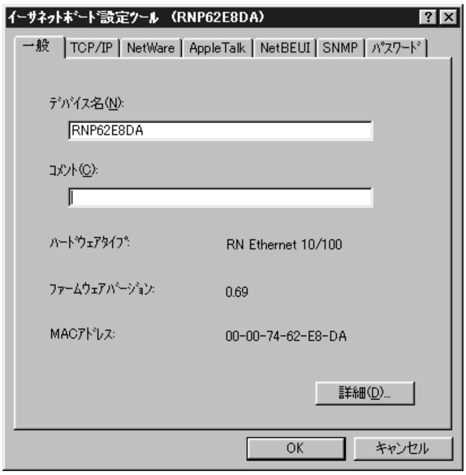
❶［一般］タブの［デバイス名］と［コメント］に名前とコメントを入力します。



- ［デバイス名］には、プリンターの名前を13バイト以内の半角英数字で入力します。工場出荷時は「RNP」とネットワークインターフェースボードのMACアドレスの下3バイトで構成される名前が設定されています。たとえばMACアドレスが00:00:74:62:0B:3Aの場合は「RNP620B3A」です。RNPまたはrnpで始まる名前は入力できません。同じネットワーク上にある他の機器と重複しない名前を付けてください。
- ［コメント］には、プリンターのコメントを31バイト以内で入力します。

NetBEUIの場合

❶［一般］タブの［コメント］にコメントを入力します。



❷［NetBEUI］タブをクリックします。

❸［コンピュータ名］に名前を入力します。



- ［コンピュータ名］には、NetBEUIプロトコルでプリンタを識別するための名前を入力します。工場出荷時は「RNP」とネットワークインターフェースボードのMACアドレスの下3バイトで構成される名前が設定されています。たとえばMACアドレスが00:00:74:62:0B:3Aの場合は「RNP620B3A」です。入力できる文字は半角英数字（大文字）と半角記号（"*+,/:;<=>?[¥]|. およびスペースを除く）で13バイト以内です。RNPまたはrnpで始まる名前は入力できません。同じネットワーク上にある他の機器と重複しない名前を付けてください。

6 ［OK］をクリックします。

イーサネットボード設定ツールが終了し、設定がプリンターに送信されます。

7 Ridoc IO Adminを終了します。

Webブラウザの場合

操作の前に

Webブラウザの操作について、詳しくはP.129「Webブラウザを使用する」を参照してください。

1 Webブラウザを起動します。

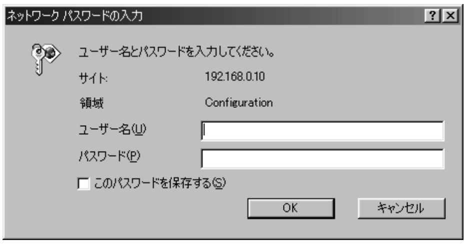
2 アドレスに「http://（設定を変更するプリンターのIPアドレス）/」と入力します。

Webブラウザに選択したプリンターの状態が表示されます。



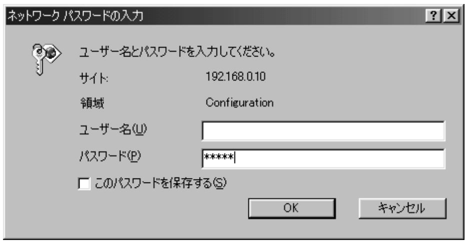
3 ［設定］をクリックします。

ユーザー名とパスワードを入力するダイアログが表示されます。



4 パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

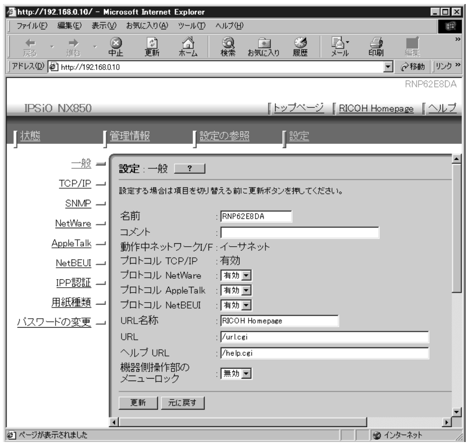
工場出荷時の設定の場合、ユーザー名は空欄に、パスワードには「ricoh」と入力します。



5 名前とコメントを変更します。

TCP/IPの場合

❶ ［一般］の［名前］と［コメント］に、名前とコメントを入力します。



- ［名前］には、プリンターの名前を13バイト以内の半角英数字で入力します。工場出荷時は「RNP」とネットワークインターフェースボードのMACアドレスの下3バイトで構成される名前が設定されています。たとえばMACアドレスが00:00:74:62:0B:3Aの場合は「RNP620B3A」です。RNPまたはrnpで始まる名前は入力できません。また、プリンターのIPアドレスの設定方法としてDHCPを選択した場合、入力できる文字は半角英数で常に13バイト以内になります。
- ［コメント］には、プリンターのコメントを31バイト以内で入力します。

1

❷ IP over 1394の名前を変更する場合には、[IEEE 1394]をクリックします。

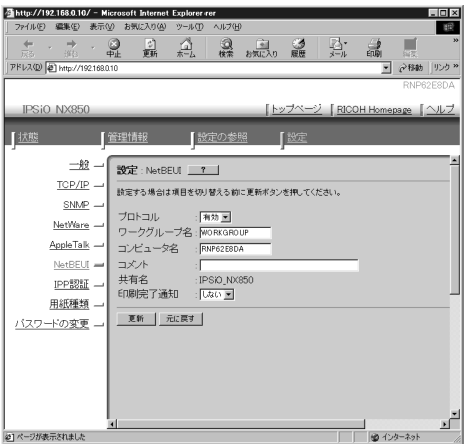


- [名前]には、IP over 1394で使用されるプリンターの名前を13バイト以内の半角英数字で入力します。工場出荷時は「RNP」と拡張1394ボードのEUI-64の下5バイトで構成される名前が設定されています。たとえばEUI-64が00:00:74:00:02:01:0A:66の場合には「RNP0002010A66」です。RNPまたはrnpで始まる名前は入力できません。同じネットワーク上にある他の機器と重複しない名前を付けてください。

NetBEUIの場合

❶ [NetBEUI]をクリックします。

❷ [コンピュータ名]と[コメント]に、名前とコメントを入力します。



- [コンピュータ名]には、NetBEUIプロトコルでプリンタを識別するための名前を入力します。工場出荷時は「RNP」とネットワークインターフェースボードのMACアドレスの下3バイトで構成される名前が設定されています。たとえばMACアドレスが00:00:74:62:0B:3Aの場合は「RNP620B3A」です。入力できる文字は半角英数字(大文字)と半角記号("*+,/:;<=>?[¥]|.およびスペースを除く)で13バイト以内です。RNPまたはrnpで始まる名前は入力できません。同じネットワーク上にある他の機器と重複しない名前を付けてください。
- [コメント]には、プリンターのコメントを31バイト以内で入力します。

6 [更新]をクリックします。

設定がプリンターに送信されます。

7 Webブラウザを終了します。

設定が反映されます。

プリンターの状態表示

Ridoc IO Admin、Ridoc IO Navi、Webブラウザを使ってプリンターの状態を確認できます。

Ridoc IO Adminの場合

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 ［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［TCP/IP］または［IPX/SPX］をクリックします。

一覧にプリンターの状態がアイコンで表示されます。



補足

❒ 状態アイコンについて詳しくは、ヘルプを参照してください。

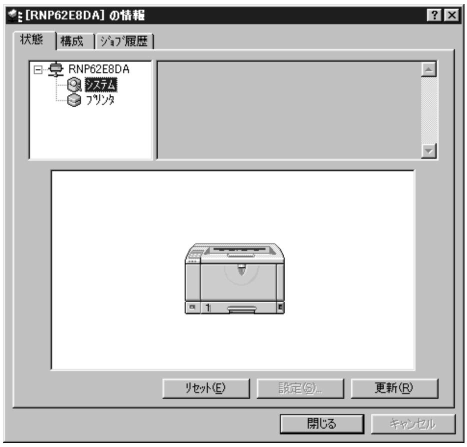
3 より詳しい状態を知りたい場合は、一覧で状態を知りたいプリンターをクリックして反転表示させ、［機器］メニューの［開く］をクリックします。



選択したプリンターの情報ダイアログが表示されます。

4 ［プリンタ］をクリックします。

プリンターの状態が表示されます。



補足

❒ ダイアログの各項目について詳しくは、ヘルプを参照してください。

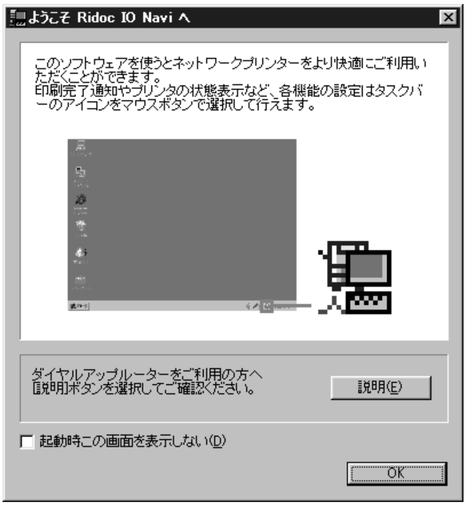
Ridoc IO Naviの場合

Ridoc IO Naviを使用してプリンターの状態を表示させるには、あらかじめ状態を表示させたいプリンターを監視するように設定しておく必要があります。

監視するプリンターに設定するには

1 Ridoc IO Naviを起動します。

次のような画面が表示されます。



補足

- ❒ ［起動時にこの画面を表示しない］をクリックすると、この画面は表示されなくなります。
- ❒ 本書では、以降、この画面を表示しない状態で説明します。

2 ［OK］をクリックします。

タスクバーの右端にRidoc IO Naviアイコンが表示されます。

3 Ridoc IO Naviアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、表示されたポップアップメニューに目的のプリンターが設定されているかどうかを確認します。



設定されている場合には、P.25「プリンターの状態を表示する」に進みます。

補足

- ❒ 状態表示アイコンについて詳しくは、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

4 目的のプリンターが設定されていない場合は、ポップアップメニューの［設定］をクリックします。



［Ridoc IO Navi-設定］ダイアログが表示されます。



5 監視対象にするプリンターをクリックして反転表示させ、［設定］の［監視対象にする］に✓印を付けます。



補足

- ❒ ［タスクバーアイコンに表示する］に✓印を付けると、タスクトレイのRidoc IO Naviアイコンにプリンターの状態がアイコンで表示されるようになります。

6 ［OK］をクリックします。

ダイアログが閉じ、設定したプリンターが監視の対象に含まれます。

プリンターの状態を表示する

1 Ridoc IO Naviを起動します。

2 タスクバーのRidoc IO Naviアイコンにプリンターの状態が表示されます。

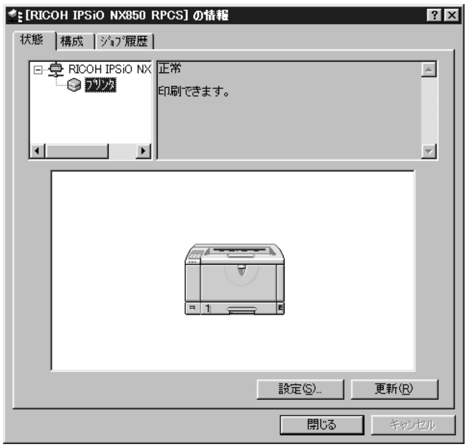
補足

- ❒ 状態アイコンについて詳しくは、ヘルプを参照してください。

3 より詳しい状態を知りたい場合は、Ridoc IO Naviアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、状態を知りたいプリンターをクリックします。



プリンターの状態が、ダイアログに表示されます。



補足

- ❒ ダイアログの各項目について詳しくは、ヘルプを参照してください。

1

Webブラウザの場合

操作の前に

Webブラウザの操作について、詳しくはP.129「Webブラウザを使用する」を参照してください。

1 Webブラウザを起動します。

2 アドレスに「http://（状態を表示させたいプリンターのIPアドレス）/」と入力します。

Webブラウザに選択したプリンターの状態が表示されます。



3 ［状態］をクリックすると給紙トレイの用紙の量などを調べることができます。



補足

❒ それぞれの項目について詳しくは、ヘルプを参照してください。

Windows 2000セットアップガイド

プリントサーバを使わないで印刷するとき

NetWareやWindows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のプリントサーバを使わないで直接ネットワークプリンターに印刷する場合は、以下の手順でセットアップを行います。

1 使用するプロトコルを決定します。

ネットワーク管理者の方と相談し、使用するプロトコルを決定します。

- TCP/IPプロトコル
- IPPプロトコル
- NetBEUIプロトコル

2 プロトコルの準備をします。

1で決定したプロトコルを使うための準備をします。

- TCP/IP印刷のための準備⇒ P.29 「TCP/IP印刷、IPP印刷のための準備」
- IPP印刷のための準備⇒ P.29 「TCP/IP印刷、IPP印刷のための準備」
- NetBEUI印刷のための準備⇒ P.30 「NetBEUI印刷のための準備」

3 Ridoc IO Naviをインストールし、プリンタードライバーのポートを設定します。

- Ridoc IO Naviは、プリンター本体に同梱のCD-ROMからインストールします。インストール方法とプリンタードライバーのポートの設定方法について詳しくはプリンター本体の使用説明書を参照してください。

標準TCP/IPポート(Standard TCP/IP Port)を使用して印刷するとき

標準TCP/IPポート(Standard TCP/IP Port)を使用して印刷する場合の設定方法について詳しくは、Windows 2000のヘルプを参照してください。

補足

- ❒ 標準TCP/IPポートを追加するときにデバイスの種類を選択する画面が表示された場合は、「RICOH Network Printer C Model」を選択してください。

LPRポートを使用して印刷するとき

LPRを使って印刷する場合の設定方法はP.32 「LPRポートを使ったTCP/IP印刷」をご覧ください。

Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のプリントサーバを使って印刷するとき

Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のプリントサーバを使った場合のクライアントの設定方法はP.33 「Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のプリントサーバを使う」をご覧ください。

プロトコルの準備をする

TCP/IP印刷、IPP印刷のための準備

TCP/IP プロトコルまたは IPP を使って印刷する場合は、以下の説明にしたがってネットワーク環境を設定してください。

プリンターの環境設定

TCP/IP プロトコルを使って印刷できるように、プリンターのネットワーク環境を設定しておきます。

- TCP/IPプロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）
- IP アドレスなど TCP/IP に関する項目を設定する

参照

設定方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

DHCP を使用してプリンターの IP アドレスを設定するときは、P.134 「DHCPを使用する」を参照してください。

補足

❒ IPアドレスを設定したら正しく設定されたかどうかWindows 2000上から確認してください。

① ［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］-［アクセサリ］の順にポイントし、［コマンドプロンプト］をクリックします。

② 次のように入力して確認します。（プリンターのIPアドレスが192.168.15.16の場合）

```
C:> ping 192.168.15.16
```

正しく設定されていると次のように表示されます。

```
Reply from 192.168.15.16 : bytes=32 time<10ms TTL=32
```

間違って設定されていると次のように表示されます。

```
Request timed out.
```

Windows 2000の環境設定

Windows 2000に「TCP/IPプロトコル」を組み込み、TCP/IPのプロパティを設定します。

1 ［コントロールパネル］の［ネットワークとダイヤルアップ接続］アイコンをダブルクリックします。

2 ［ローカルエリア接続］を選択して、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

3 ［チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています］ボックスに、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が組み込まれていることを確認します。



補足

❒ TCP/IP プロトコルが組み込まれていないときは、［ローカルエリア接続のプロパティ］の［インストール］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法について詳しくは、Windows 2000のヘルプを参照してください。

4 TCP/IP プロトコルを組み込んだら、プロパティを設定します。

設定内容はネットワーク管理者の方に確認し、正しく設定してください。

2

NetBEUI印刷のための準備

NetBEUIプロトコルを使って印刷する場合は、以下の説明にしたがってネットワーク環境を設定してください。

プリンターの環境設定

NetBEUIプロトコルを使って印刷できるように、プリンターのNetBEUIプロトコルを有効にします（工場出荷時は有効です）。

参照

設定方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

Windows 2000の環境設定

Windows 2000に「NetBEUIプロトコル」を組み込みます。

1 [コントロールパネル] の [ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンをダブルクリックします。

2 [ローカルエリア接続] を選択して、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

3 [チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています] ボックスに、「NetBEUI」が組み込まれていることを確認します。



補足

❒ NetBEUIプロトコルが組み込まれていないときは、[ローカルエリア接続のプロパティ] の [インストール] をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法について詳しくは、Windows 2000のヘルプを参照してください。

ソフトウェアをインストールする

TCP/IP、NetBEUI、IPPプロトコルを使用してネットワークプリンターに印刷するには、Ridoc IO Naviを使用します。Ridoc IO Naviを使用することにより、次の機能を使用することができます。

- Peer-to-Peer プリント機能
  - プリントサーバが無くても、直接ネットワークプリンターに印刷できます。
- 指定したプリンターにジョブがたまっていたり、エラーが発生して印刷できないとき、代わりのプリンターに印刷できます(代行印刷)。
- 複数部数の印刷を複数のプリンターに割り振って印刷できます（並行印刷)。
- 並行/代行印刷に指定するプリンターをあらかじめグループ登録できます。
- 印刷データを転送中または印刷中に指定したプリンターにエラーが発生した場合、エラーメッセージを通知させることができます。
- 印刷が完了したときに、[印刷通知]ウィンドウを表示して、印刷の完了を通知することができます。また代行印刷したときだけ表示させるなど、印刷条件により通知するかどうかを設定することができます。
- 機器監視機能
  - 印刷中、用紙切れなど機器の情報をパソコン上で確認できます。
  - 複数台の機器を使い分けているときは、それらを同時に監視できます。
  - 機器のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
  - ユーザーIDを使ったジョブの履歴を確認できます。

制限

❒ 代行印刷、並行印刷の設定には制限があります。条件について詳しくは、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

❒ コンピュータをプリントサーバとして使用している場合、代行印刷、並行印刷の機能は使用できません。

参照

Ridoc IO Naviは、プリンター本体に同梱のCD-ROM からインストールします。インストール方法とプリンタードライバーのポートの設定方法について詳しくは、プリンター本体の使用説明書を参照してください。

LPRポートを使ったTCP/IP印刷

LPRポートにTCP/IPプロトコルを使って印刷するときは、プリンタードライバーで次のように設定します。

補足

- ❒ ここではすでにプリンタードライバーがインストールされているものとして、ポートをLPRに変更する手順だけを説明します。
- ❒ あらかじめTCP/IP印刷のためのネットワーク環境を設定しておく必要があります。設定について詳しくは、P.29「TCP/IP印刷、IPP印刷のための準備」を参照してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

2 印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

3 ［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。



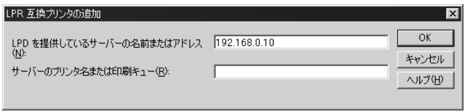
4 ［利用可能なポートの種類］ボックスで「LPR Port」をクリックして反転表示させ、［新しいポート］をクリックします。



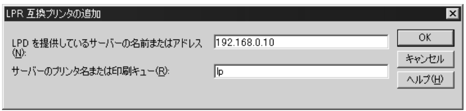
補足

- ❒ 「LPR Port」が表示されない場合は、「UNIX用印刷サービス」が正しく組み込まれていません。詳しくはWindows 2000のヘルプを参照してください。

5 ［LPDを提供しているサーバーの名前またはアドレス］ボックスに、プリンターのIPアドレスを入力します。



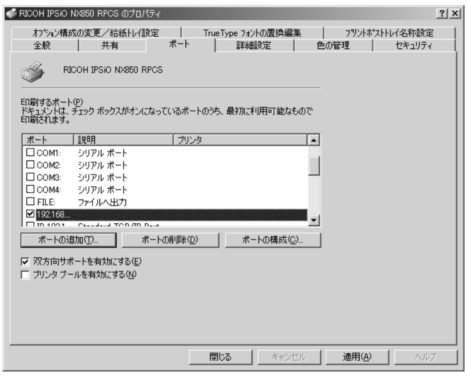
6 ［サーバーのプリンタ名または印刷キュー名］ボックスに、「lp」と入力し、［OK］をクリックします。



7 ［閉じる］をクリックします。



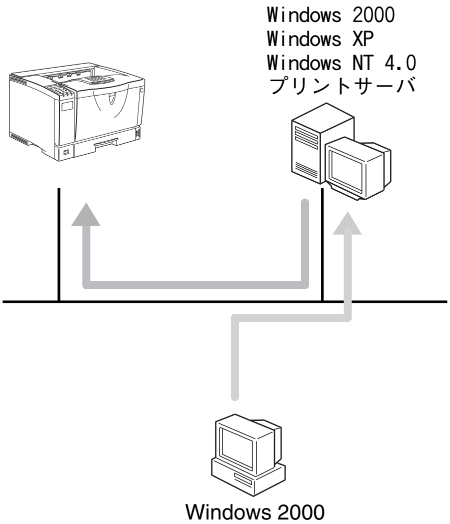
8 ［印刷するポート］ボックスにIPアドレスのポートが表示され、チェックボックスに✓印が付いていることを確認し、［OK］をクリックします。



Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のプリントサーバを使う

Windows 2000 、Windows XPまたはWindows NT 4.0をプリントサーバとして使用した場合のクライアント側のセットアップ方法を説明します。

Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のプリントサーバを使用する場合、Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0の共有プリンターを選択します。



制限

- ❒ Ridoc IO Naviポートで本機を接続しているプリントサーバをお使いの場合、クライアントからの代行印刷、並行印刷を行なうことはできません。
- ❒ Windows XPをプリントサーバとした場合、クライアントに印刷通知を行うことはできません。

補足

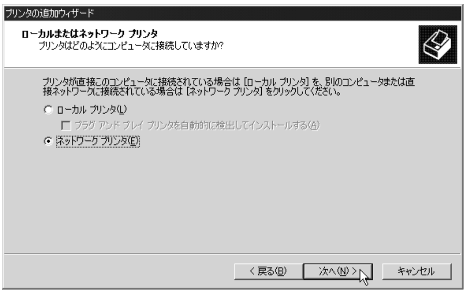
- ❒ ここでの説明はクライアント側が Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0と正しく通信できる環境に設定されていることを前提にしています。
- ❒ プリントサーバがWindows NT 4.0の場合は、プリントサーバに接続する前にプリンタードライバーをインストールしておいてください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

2 ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

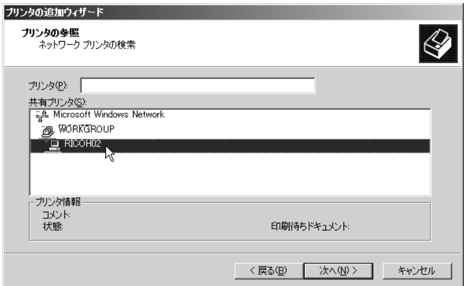
［プリンタウィザード］が表示されます。

3 ［ネットワークプリンタ］をクリックし、［次へ］をクリックします。



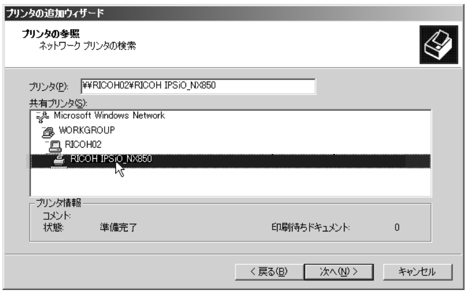
4 ［次へ］をクリックします。

5 プリントサーバとして使用するコンピュータの名前をダブルクリックします。



組み込まれている共有プリンターが展開されます。

6 ［共有プリンタ］ボックスで印刷するプリンターをクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。



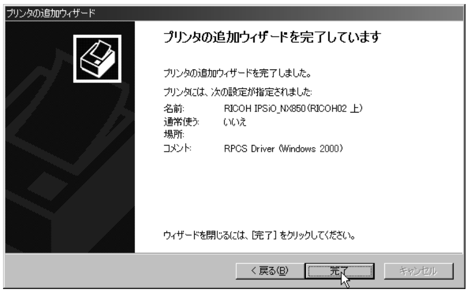
補足

- ❒ プリントサーバにプリンタードライバーが組み込まれていないときはメッセージが表示されます。クライアント側にプリンタードライバーを組み込むときは［OK］をクリックし、メッセージにしたがって操作を続けてください。
- ❒ Windows 2000用のプリンタードライバーは、プリンターに同梱のCD-ROMの¥DRIVERS¥RPCS¥W2K_XP（RPCSプリンタードライバーの場合）または¥DRIVERS¥RPDL¥W2K_XP（RPDLプリンタードライバーの場合）にあります。

7 通常使うプリンターにするかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。



8 設定内容を確認し、［完了］をクリックします。



［プリンタ］ウィンドウにプリンターのアイコンが追加されます。



名前とコメントを変更する

Ridoc IO AdminやRidoc IO Naviで一覧表示したとき、プリンターを識別しやすくするために、表示される名前を変えたりコメントを付けたりすることができます。



表示される名前やコメントを変更するには、以下のユーティリティーを使用します。

❖ Ridoc IO Admin

TCP/IP プロトコルまたは IPX/SPX プロトコルを使用している場合、Ridoc IO Adminを使用して名前とコメントを変更できます。Ridoc IO Adminは、プリンター本体に付属しているCD-ROMからインストールします。インストール方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

❖ Webブラウザ

TCP/IPプロトコルを使用している場合、Webブラウザを使用して名前とコメントを変更できます。

補足

- ❒ TCP/IPプロトコルで表示される名前（プリンタ名）とNetBEUIプロトコルで表示される名前（コンピュータ名）は個別に変更します。コメントは共通です。
- ❒ 工場出荷時の名前には「RNP」とネットワークインターフェースボードのMACアドレスの下3バイトで構成される名前が設定されています。たとえば、MACアドレスが00:00:74:62:0B:3Aの場合は「RNP620B3A」です。コメントは設定されていません。

Ridoc IO Adminの場合

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 ［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［TCP/IP］または［IPX/SPX］をクリックします。

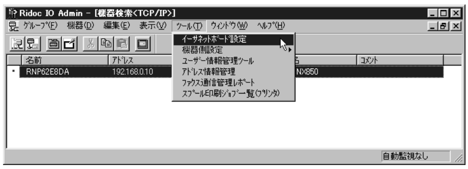
- ［TCP/IP］を選択すると、TCP/IPプロトコルを使用しているプリンターが一覧表示されます。



- ［IPX/SPX］を選択すると、IPX/SPXプロトコルを使用しているプリンターが一覧表示されます。



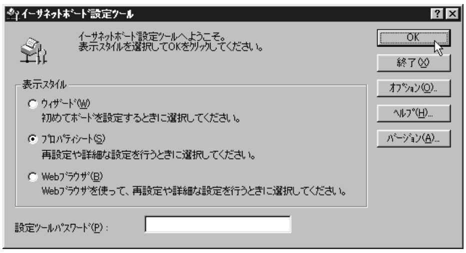
3 名前やコメントを変更したいプリンターをクリックして反転表示させ、［ツール］メニューの［イーサネットボード設定］をクリックします。



イーサネットボード設定ツールが起動します。

2

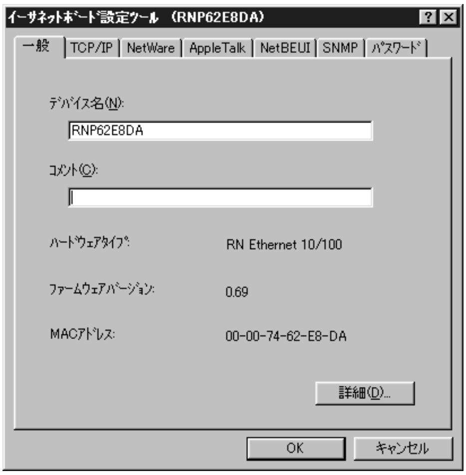
4 ［プロパティシート］をクリックし、［OK］をクリックします。



5 名前とコメントを変更します。

TCP/IPの場合

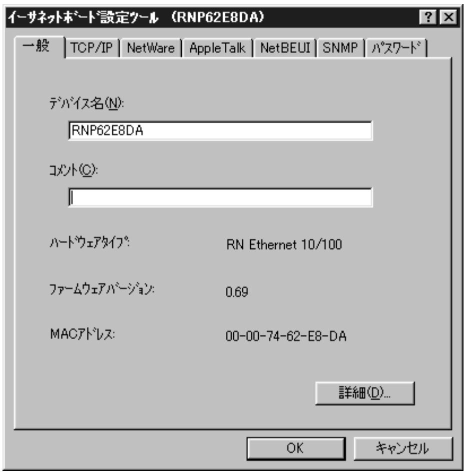
❶［一般］タブの［デバイス名］と［コメント］に名前とコメントを入力します。



- ［デバイス名］には、プリンターの名前を13バイト以内の半角英数字で入力します。工場出荷時は「RNP」とネットワークインターフェースボードのMACアドレスの下3バイトで構成される名前が設定されています。たとえばMACアドレスが00:00:74:62:0B:3Aの場合は「RNP620B3A」です。RNPまたはrnpで始まる名前は入力できません。同じネットワーク上にある他の機器と重複しない名前を付けてください。
- ［コメント］には、プリンターのコメントを31バイト以内で入力します。

NetBEUIの場合

❶［一般］タブの［コメント］にコメントを入力します。



❷［NetBEUI］タブをクリックします。

❸［コンピュータ名］に名前を入力します。



- ［コンピュータ名］には、NetBEUIプロトコルでプリンタを識別するための名前を入力します。工場出荷時は「RNP」とネットワークインターフェースボードのMACアドレスの下3バイトで構成される名前が設定されています。たとえばMACアドレスが00:00:74:62:0B:3Aの場合は「RNP620B3A」です。入力できる文字は半角英数字（大文字）と半角記号（"*+,/:;<=>?[¥]|.およびスペースを除く）で13バイト以内です。RNPまたはrnpで始まる名前は入力できません。同じネットワーク上にある他の機器と重複しない名前を付けてください。

6 [OK] をクリックします。

イーサネットボード設定ツールが終了し､設定がプリンターに送信されます。

7 Ridoc IO Adminを終了します。

Webブラウザの場合

操作の前に

Webブラウザの操作について､詳しくはP.129「Webブラウザを使用する」を参照してください。

1 Webブラウザを起動します。

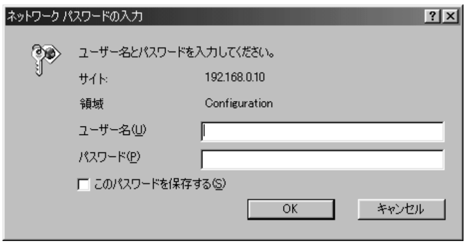
2 アドレスに｢http://（設定を変更するプリンターのIPアドレス）/｣と入力します。

Webブラウザに選択したプリンターの状態が表示されます。



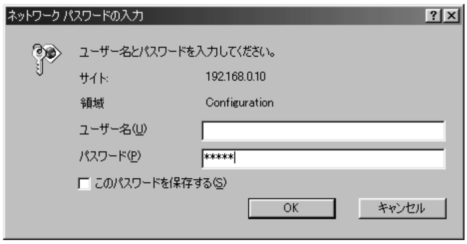
3 [設定] をクリックします。

ユーザー名とパスワードを入力するダイアログが表示されます。



4 パスワードを入力し､[OK] をクリックします。

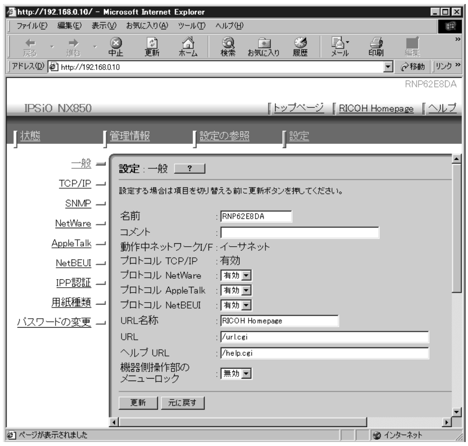
工場出荷時の設定の場合､ユーザー名は空欄に、パスワードには「ricoh」と入力します。



5 名前とコメントを変更します。

TCP/IPの場合

❶ [一般] の [名前] と [コメント] に､名前とコメントを入力します。



- [名前]には､プリンターの名前を13バイト以内の半角英数字で入力します。工場出荷時は｢RNP｣とネットワークインターフェースボードのMACアドレスの下3バイトで構成される名前が設定されています。たとえばMACアドレスが 00:00:74:62:0B:3A の場合は｢RNP620B3A｣です。RNPまたはrnpで始まる名前は入力できません。また､プリンターの IP アドレスの設定方法としてDHCPを選択した場合、入力できる文字は半角英数で常に 13 バイト以内になります。
- [コメント] には、プリンターのコメントを31バイト以内で入力します。

❷ IP over 1394の名前を変更する場合には、[IEEE 1394]をクリックします。

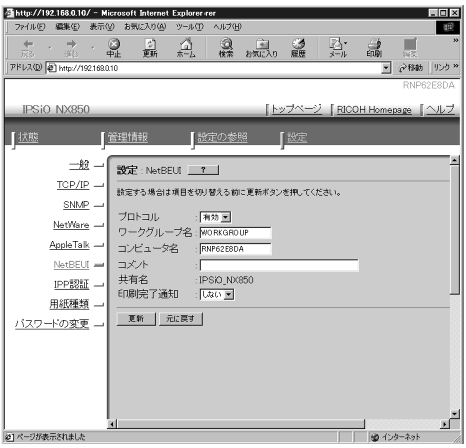


- [名前]には、IP over 1394で使用されるプリンターの名前を13バイト以内の半角英数字で入力します。工場出荷時は「RNP」と拡張1394ボードのEUI-64の下5バイトで構成される名前が設定されています。たとえばEUI-64が00:00:74:00:02:01:0A:66の場合には「RNP0002010A66」です。RNPまたはrnpで始まる名前は入力できません。同じネットワーク上にある他の機器と重複しない名前を付けてください。

NetBEUIの場合

❶ [NetBEUI]をクリックします。

❷ [コンピュータ名]と[コメント]に、名前とコメントを入力します。



- [コンピュータ名]には、NetBEUIプロトコルでプリンタを識別するための名前を入力します。工場出荷時は「RNP」とネットワークインターフェースボードのMACアドレスの下3バイトで構成される名前が設定されています。たとえばMACアドレスが00:00:74:62:0B:3Aの場合は「RNP620B3A」です。入力できる文字は半角英数字(大文字)と半角記号("*+,/:;<=>?[¥]|.およびスペースを除く)で13バイト以内です。RNPまたはrnpで始まる名前は入力できません。同じネットワーク上にある他の機器と重複しない名前を付けてください。
- [コメント]には、プリンターのコメントを31バイト以内で入力します。

6 [更新]をクリックします。

設定がプリンターに送信されます。

7 Webブラウザを終了します。

設定が反映されます。

プリンターの状態表示

Ridoc IO Admin、Ridoc IO Navi、Webブラウザを使ってプリンターの状態を確認できます。

Ridoc IO Adminの場合

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 ［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［TCP/IP］または［IPX/SPX］をクリックします。

一覧にプリンターの状態がアイコンで表示されます。



補足

❒ 状態アイコンについて詳しくは、ヘルプを参照してください。

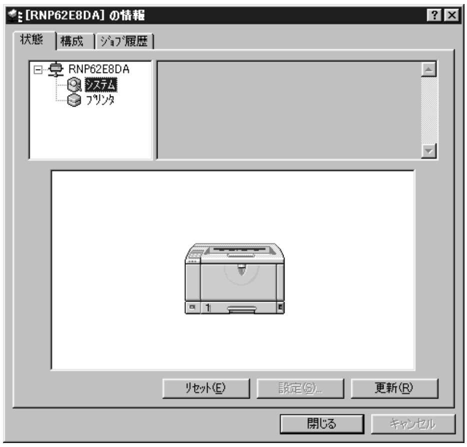
3 より詳しい状態を知りたい場合は、一覧で状態を知りたいプリンターをクリックして反転表示させ、［機器］メニューの［開く］をクリックします。



選択したプリンターの情報ダイアログが表示されます。

4 ［プリンタ］をクリックします。

プリンターの状態が表示されます。



補足

❒ ダイアログの各項目について詳しくは、ヘルプを参照してください。

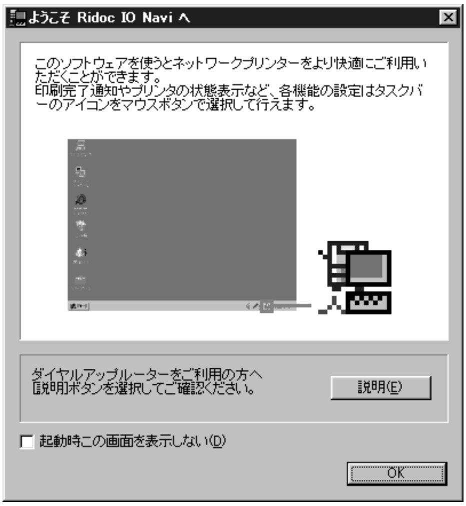
Ridoc IO Naviの場合

Ridoc IO Naviを使用してプリンターの状態を表示させるには、あらかじめ状態を表示させたいプリンターを監視するように設定しておく必要があります。

監視するプリンターに設定するには

1 Ridoc IO Naviを起動します。

次のような画面が表示されます。



補足

- ❒ ［起動時にこの画面を表示しない］をクリックすると、この画面は表示されなくなります。
- ❒ 本書では、以降、この画面を表示しない状態で説明します。

2 ［OK］をクリックします。

タスクバーの右端にRidoc IO Naviアイコンが表示されます。

3 Ridoc IO Naviアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、表示されたポップアップメニューに目的のプリンターが設定されているかどうかを確認します。



設定されている場合には、P.25「プリンターの状態を表示する」に進みます。

補足

- ❒ 状態表示アイコンについて詳しくは、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

4 目的のプリンターが設定されていない場合は、ポップアップメニューの［設定］をクリックします。



［Ridoc IO Navi-設定］ダイアログが表示されます。



5 監視対象にするプリンターをクリックして反転表示させ、［設定］の［監視対象にする］に✓印を付けます。



補足

❒［タスクバーアイコンに表示する］に✓印を付けると、タスクトレイのRidoc IO Naviアイコンにプリンターの状態がアイコンで表示されるようになります。

6［OK］をクリックします。

ダイアログが閉じ、設定したプリンターが監視の対象に含まれます。

プリンターの状態を表示する

1 Ridoc IO Naviを起動します。

2 タスクバーのRidoc IO Naviアイコンにプリンターの状態が表示されます。

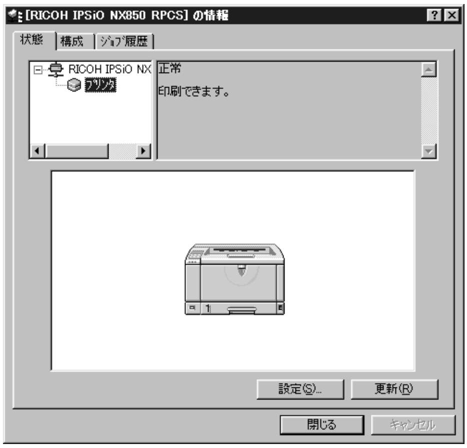
補足

❒ 状態アイコンについて詳しくは、ヘルプを参照してください。

3 より詳しい状態を知りたい場合は、Ridoc IO Naviアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、状態を知りたいプリンターをクリックします。



プリンターの状態が、ダイアログに表示されます。



補足

❒ ダイアログの各項目について詳しくは、ヘルプを参照してください。

2

Webブラウザの場合

操作の前に

Webブラウザの操作について、詳しくはP.129「Webブラウザを使用する」を参照してください。

1 Webブラウザを起動します。

2 アドレスに「http://（状態を表示させたいプリンターのIPアドレス）/」と入力します。

Webブラウザに選択したプリンターの状態が表示されます。



3 ［状態］をクリックすると給紙トレイの用紙の量などを調べることができます。



補足

- ❒ それぞれの項目について詳しくは、ヘルプを参照してください。

3. Windows XPで使う

Windows XPセットアップガイド

プリントサーバを使わないで印刷するとき

NetWareやWindows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のプリントサーバを使わないで直接ネットワークプリンターに印刷する場合は、以下の手順でセットアップを行います。

1 使用するプロトコルを決定します。

ネットワーク管理者の方と相談し、使用するプロトコルを決定します。

- TCP/IPプロトコル
- IPPプロトコル

2 プロトコルの準備をします。

1で決定したプロトコルを使うための準備をします。⇒ P.45「TCP/IP印刷、IPP印刷のための準備」

3 Ridoc IO Naviをインストールし、プリンタードライバーのポートを設定します。

- Ridoc IO Naviは、プリンター本体に同梱のCD-ROMからインストールします。インストール方法とプリンタードライバーのポートの設定方法について詳しくは、プリンター本体の使用説明書を参照してください。

3

標準TCP/IPポート(Standard TCP/IP Port)を使用して印刷するとき

標準TCP/IPポート(Standard TCP/IP Port)を使用して印刷する場合の設定方法について詳しくは、Windows XPのヘルプを参照してください。

補足

❒ 標準TCP/IPポートを追加するときにデバイスの種類を選択する画面が表示された場合は、「RICOH Network Printer C Model」を選択してください。

LPRポートを使用して印刷するとき

LPRを使って印刷する場合の設定方法はP.47 「LPRポートを使ったTCP/IP印刷」をご覧ください。

Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のプリントサーバを使って印刷するとき

Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のプリントサーバを使った場合のクライアントの設定方法はP.49 「Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のプリントサーバを使う」をご覧ください。

プロトコルの準備をする

TCP/IP印刷、IPP印刷のための準備

TCP/IPプロトコルまたはIPPを使って印刷する場合は、以下の説明にしたがってネットワーク環境を設定してください。

プリンターの環境設定

TCP/IPプロトコルを使って印刷できるように、プリンターのネットワーク環境を設定しておきます。

- TCP/IPプロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）
- IPアドレスなどTCP/IPに関する項目を設定する

参照

設定方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

DHCPを使用してプリンターのIPアドレスを設定するときは、P.134 「DHCPを使用する」を参照してください。

IEEE 1394（IP over 1394）をお使いになる場合、操作パネルから設定する必要があります。詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

補足

❒ IPアドレスを設定したら正しく設定されたかどうかWindows XP上から確認してください。

① ［スタート］ボタンをクリックし、［すべてのプログラム］-［アクセサリ］の順にポイントし、［コマンドプロンプト］をクリックします。

② 次のように入力して確認します。（プリンターのIPアドレスが192.168.15.16の場合）

```
C:> ping 192.168.15.16
```

正しく設定されていると次のように表示されます。

```
Reply from 192.168.15.16 : bytes=32
time<10ms TTL=32
```

間違って設定されていると次のように表示されます。

```
Request timed out.
```

Windows XPの環境設定

Windows XPに「TCP/IPプロトコル」が組み込まれていることを確認し、TCP/IPのプロパティを設定します。

1 ［コントロールパネル］の［ネットワークとインターネット接続］アイコンをダブルクリックします。

2 ［ネットワーク接続］をクリックします。

3 ［ローカルエリア接続］を選択して、［この接続の設定を変更する］をクリックします。

補足

❒ IP over 1394を設定する場合には、［1394接続］をクリックします。

4 ［この接続は次の項目を使用します］ボックスに、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が組み込まれていることを確認します。



5 プロパティを設定します。

設定内容はネットワーク管理者の方に確認し、正しく設定してください。

3

ソフトウェアをインストールする

TCP/IP、IPPプロトコルを使用してネットワークプリンターに印刷するには、Ridoc IO Naviを使用します。Ridoc IO Naviを使用することにより、次の機能を使用することができます。

- Peer-to-Peer プリント機能
  - プリントサーバが無くても、直接ネットワークプリンターに印刷できます。
- 指定したプリンターにジョブがたまっていたり、エラーが発生して印刷できないとき、代わりのプリンターに印刷できます（代行印刷）。
- 複数部数の印刷を複数のプリンターに割り振って印刷できます（並行印刷）。
- 並行/代行印刷に指定するプリンターをあらかじめグループ登録できます。
- 印刷データを転送中または印刷中に指定したプリンターにエラーが発生した場合、エラーメッセージを通知させることができます。
- 印刷が完了したときに、[印刷通知]ウィンドウを表示して、印刷の完了を通知することができます。また代行印刷したときだけ表示させるなど、印刷条件により通知するかどうかを設定することができます。
- 機器監視機能
  - 印刷中、用紙切れなど機器の情報をパソコン上で確認できます。
  - 複数台の機器を使い分けているときは、それらを同時に監視できます。
  - 機器のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
  - ユーザーIDを使ったジョブの履歴を確認できます。

制限

- ❒ 代行印刷、並行印刷の設定には制限があります。条件について詳しくは、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。
- ❒ パソコンをプリントサーバとして使用している場合、印刷通知の機能を使用しないでください。機能をオフにする方法について詳しくは、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。
- ❒ コンピュータをプリントサーバとして使用している場合、代行印刷、並行印刷の機能は使用できません。

参照

Ridoc IO Naviは、プリンター本体に同梱のCD-ROMからインストールします。インストール方法とプリンタードライバーのポートの設定方法について詳しくは、プリンター本体の使用説明書を参照してください。

LPRポートを使ったTCP/IP印刷

3

LPRポートにTCP/IPプロトコルを使って印刷するときは、プリンタードライバーで次のように設定します。

補足

- ❒ ここではすでにプリンタードライバーがインストールされているものとして、ポートをLPRに変更する手順だけを説明します。
- ❒ あらかじめTCP/IP印刷のためのネットワーク環境を設定しておく必要があります。設定について詳しくは、P.45「TCP/IP印刷、IPP印刷のための準備」を参照してください。

1 ［プリンタとFAX］ウィンドウを表示します。

Windows XP Professionalでご使用の場合

❶ ［スタート］ボタンをクリックし、［プリンタとFAX］をクリックします。



［プリンタとFAX］ウィンドウが表示されます。

Windows XP Home Editionでご使用の場合

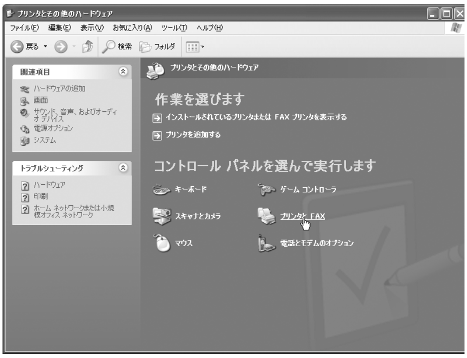
❶ ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。



❷ ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。



❸［プリンタとFAX］をクリックします。



［プリンタとFAX］ウィンドウが表示されます。

2 印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］をポイントして、［プロパティ］をクリックします。

3［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。

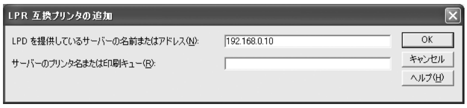


4［利用可能なポートの種類］ボックスで「LPR Port」をクリックして反転表示させ、［新しいポート］をクリックします。

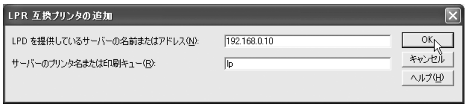
補足

❒「LPR Port」が表示されない場合は、「UNIX用印刷サービス」が正しく組み込まれていません。詳しくはWindows XPのヘルプを参照してください。

5［LPDを提供しているサーバーの名前またはアドレス］ボックスに、プリンターのIPアドレスを入力します。



6［サーバーのプリンタ名または印刷キュー］ボックスに、「lp」と入力し、［OK］をクリックします。



7［閉じる］をクリックします。



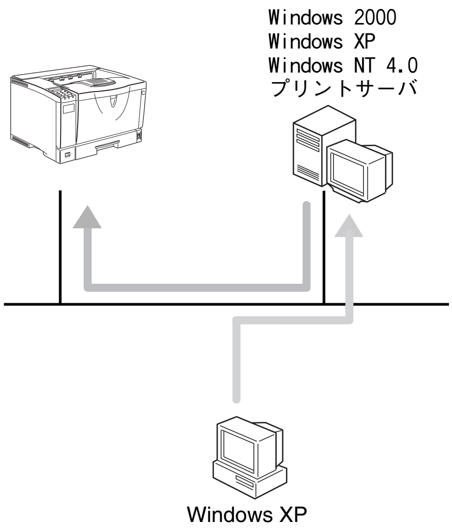
8［印刷するポート］ボックスにIPアドレスのポートが表示され、チェックボックスに✓印が付いていることを確認し、［適用］をクリックし、［OK］をクリックします。



Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のプリントサーバを使う

Windows 2000 、Windows XPまたはWindows NT 4.0をプリントサーバとして使用した場合のクライアント側のセットアップ方法を説明します。

Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のプリントサーバを使用する場合、Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0の共有プリンターを選択します。



制限

- ❒ Ridoc IO Naviポートで本機を接続しているプリントサーバをお使いの場合、クライアントからの代行印刷、並行印刷を行うことはできません。
- ❒ Windows XPをプリントサーバとした場合、クライアントに印刷通知を行うことはできません。

補足

- ❒ ここでの説明はクライアント側がWindows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0と正しく通信できる環境に設定されていることを前提にしています。
- ❒ プリントサーバがWindows NT 4.0の場合は、プリントサーバに接続する前にプリンタードライバーをインストールしておいてください。

1 ［プリンタとFAX］ウィンドウを表示します。

Windows XP Professionalでご使用の場合

❶ ［スタート］ボタンをクリックし、［プリンタとFAX］をクリックします。



［プリンタとFAX］ウィンドウが表示されます。

3

Windows XP Home Editionでご使用の場合

❶ ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。



❷ ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。



❸ ［プリンタとFAX］をクリックします。

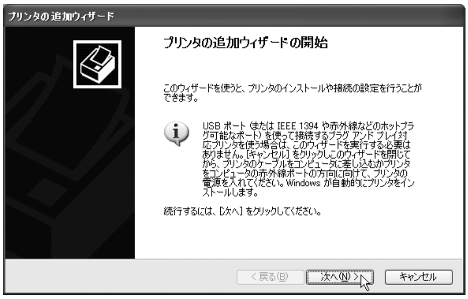


［プリンタとFAX］ウィンドウが表示されます。

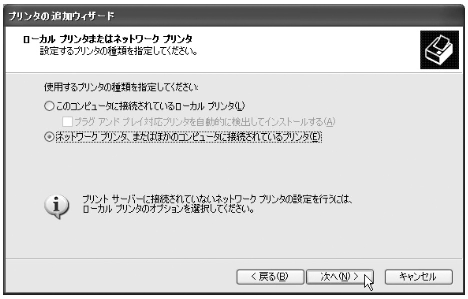
2 ［ファイル］をポイントして、［プリンタの追加］をクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

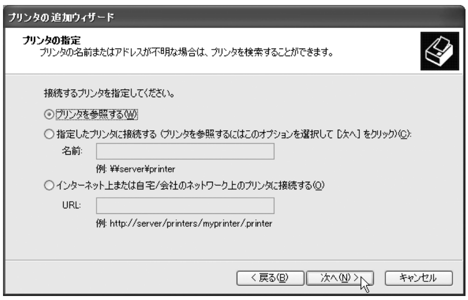
3 ［次へ］をクリックします。



4 ［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］をクリックし、［次へ］をクリックします。



5 ［プリンタを参照する］をクリックし、［次へ］をクリックします。



プリンターの検索が始まります。

6 プリントサーバとして使用するパソコンの名前をダブルクリックします。



組み込まれている共有プリンターが展開されます。

7 ［共有プリンタ］ボックスで印刷するプリンターをクリックして反転表示させます。



8 ［次へ］をクリックします。

補足

- ❒ プリントサーバにプリンタードライバーが組み込まれていないときはメッセージが表示されます。クライアント側にプリンタードライバーを組み込むときは［OK］をクリックし、メッセージにしたがって操作を続けてください。
- ❒ Windows 2000/XP用のプリンタードライバーは、プリンターに同梱のCD-ROMの¥DRIVERS¥RPCS¥W2K_XP（RPCS プリンタードライバーの場合）または¥DRIVERS¥RPDL¥W2K_XP（RPDL プリンタードライバーの場合）にあります。

9 通常使うプリンターにするかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。



10 設定内容を確認し、［完了］をクリックします。



［プリンタ］ウィンドウにプリンターのアイコンが追加されます。



3

名前とコメントを変更する

Ridoc IO AdminやRidoc IO Naviで一覧表示したプリンターを識別しやすくするために、表示される名前を変えたりコメントを付けたりすることができます。



表示される名前やコメントを変更するには、以下のユーティリティーを使用します。

❖ Ridoc IO Admin

TCP/IP プロトコルまたは IPX/SPX プロトコルが使用できる場合、Ridoc IO Adminを使用して名前とコメントを変更できます。Ridoc IO Adminは、プリンター本体に付属している CD-ROM からインストールします。インストール方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

❖ Webブラウザ

TCP/IPプロトコルが使用できる場合、Webブラウザを使用して名前とコメントを変更できます。

補足

- ❒ TCP/IP プロトコルで表示される名前（プリンタ名）と NetBEUI プロトコルで表示される名前（パソコン名）は個別に変更します。コメントは共通です。なおWindows XPは、NetBEUIの設定は変更できますが、NetBEUI を使った印刷はできません。
- ❒ 工場出荷時の名前には「RNP」とネットワークインターフェースボードのMACアドレスの下3バイトで構成される名前が設定されています。たとえば、MACアドレスが00:00:74:62:0B:3Aの場合は「RNP620B3A」です。コメントは設定されていません。

Ridoc IO Adminの場合

1 Ridoc IO Adminを起動します。

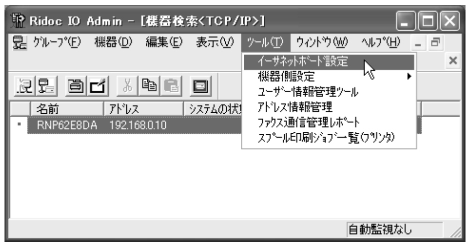
2 ［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［TCP/IP］または［IPX/SPX］をクリックします。

- ［TCP/IP］を選択すると、TCP/IPプロトコルを使用しているプリンターが一覧表示されます。



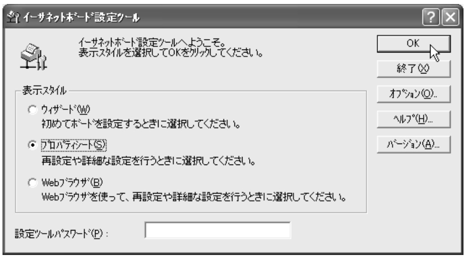
- ［IPX/SPX］を選択すると、IPX/SPXプロトコルを使用しているプリンターが一覧表示されます。

3 名前やコメントを変更したいプリンターをクリックして反転表示させ、［ツール］メニューの［イーサネットボード設定］をクリックします。



イーサネットボード設定ツールが起動します。

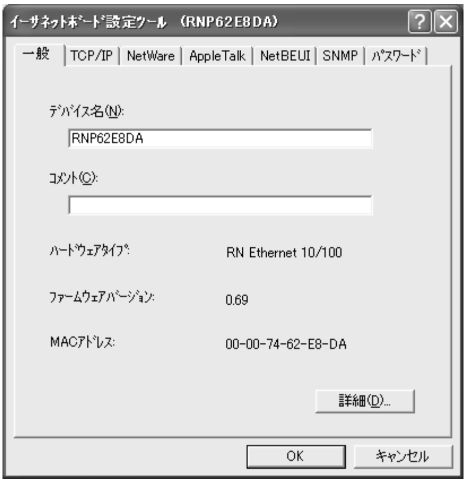
4 ［プロパティシート］をクリックし、［OK］をクリックします。



5 名前とコメントを変更します。

TCP/IPの場合

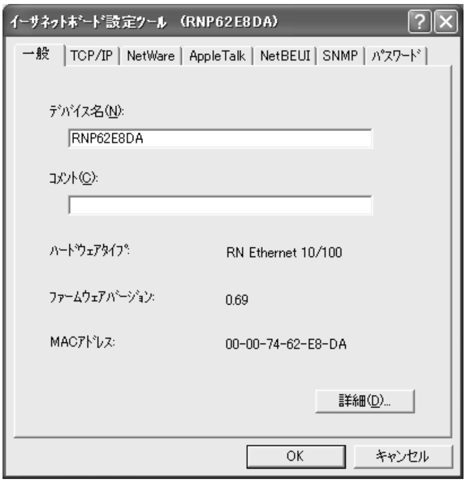
❶ ［一般］タブの［デバイス名］と［コメント］に名前とコメントを入力します。



- ［デバイス名］には、プリンターの名前を13バイト以内の半角英数字で入力します。工場出荷時は「RNP」とネットワークインターフェースボードのMACアドレスの下3バイトで構成される名前が設定されています。たとえばMACアドレスが00:00:74:62:0B:3Aの場合は「RNP620B3A」です。RNPまたはrnpで始まる名前は入力できません。同じネットワーク上にある他の機器と重複しない名前を付けてください。
- ［コメント］には、プリンターのコメントを31バイト以内で入力します。

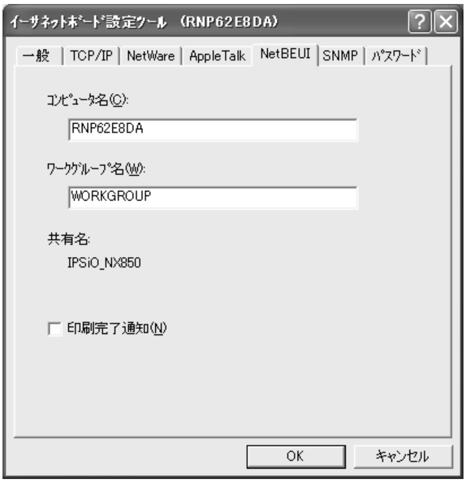
NetBEUIの場合

❶ ［一般］タブの［コメント］にコメントを入力します。



❷ ［NetBEUI］タブをクリックします。

❸ ［コンピュータ名］に名前を入力します。



- ［コンピュータ名］には、NetBEUIプロトコルでプリンタを識別するための名前を入力します。工場出荷時は「RNP」とネットワークインターフェースボードのMACアドレスの下3バイトで構成される名前が設定されています。たとえばMACアドレスが00:00:74:62:0B:3Aの場合は「RNP620B3A」です。入力できる文字は半角英数字（大文字）と半角記号（"*+,/:;<=>?[¥]|.およびスペースを除く）で13バイト以内です。RNPまたはrnpで始まる名前は入力できません。同じネットワーク上にある他の機器と重複しない名前を付けてください。

3

6 ［OK］をクリックします。

イーサネットボード設定ツールが終了し、設定がプリンターに送信されます。

7 Ridoc IO Adminを終了します。

Webブラウザの場合

操作の前に

Webブラウザの操作について、詳しくはP.129「Webブラウザを使用する」を参照してください。

1 Webブラウザを起動します。

2 アドレスに「http://（設定を変更するプリンターのIPアドレス）/」と入力します。

Webブラウザに選択したプリンターの状態が表示されます。



3 ［設定］をクリックします。

ユーザー名とパスワードを入力するダイアログが表示されます。



4 パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

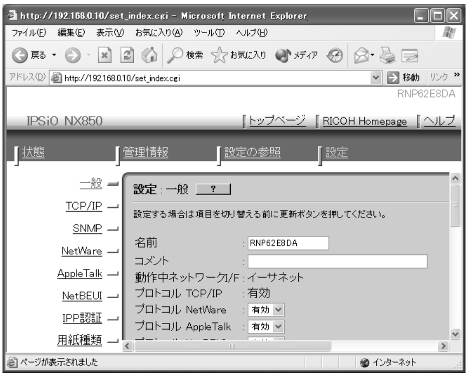
工場出荷時の設定の場合、ユーザー名は空欄に、パスワードには「ricoh」と入力します。



5 名前とコメントを変更します。

TCP/IPの場合

❶ ［一般］の［名前］と［コメント］に、名前とコメントを入力します。



- ［プリンタ名］には、プリンターの名前を13バイト以内の半角英数字で入力します。工場出荷時は「RNP」とネットワークインターフェースボードのMACアドレスの下3バイトで構成される名前が設定されています。たとえばMACアドレスが00:00:74:62:0B:3Aの場合は「RNP620B3A」です。RNPまたはrnpで始まる名前は入力できません。同じネットワーク上にある他の機器と重複しない名前を付けてください。また、IPアドレスの設定方法としてDHCPを選択した場合、入力できる文字は半角英数で常に13バイト以内になります。
- ［コメント］には、プリンターのコメントを31バイト以内で入力します。

❷ IP over 1394の名前を変更する場合には、［IEEE 1394］をクリックし、変更します。

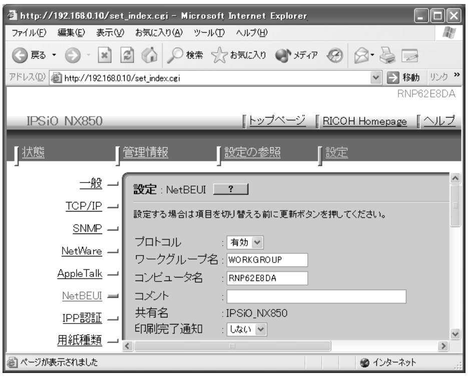


- ［名前］には、IP over 1394で使用されるプリンターの名前を13バイト以内の半角英数字で入力します。工場出荷時は「RNP」と拡張1394ボードのEUI-64の下5バイトで構成される名前が設定されています。たとえばEUI-64が00:00:74:00:02:01:0A:66の場合には「RNP0002010A66」です。RNPまたはrnpで始まる名前は入力できません。同じネットワーク上にある他の機器と重複しない名前を付けてください。

NetBEUIの場合

❶［NetBEUI］をクリックします。

❷［コンピュータ名］と［コメント］に、名前とコメントを入力します。



- ［コンピュータ名］には、NetBEUIプロトコルでプリンタを識別するための名前を入力します。工場出荷時は「RNP」とネットワークインターフェースボードのMACアドレスの下3バイトで構成される名前が設定されています。たとえばMACアドレスが00:00:74:62:0B:3Aの場合は「RNP620B3A」です。入力できる文字は半角英数字（大文字）と半角記号（"*+,/:;<=>?[¥]|.およびスペースを除く）で13バイト以内です。RNPまたはrnpで始まる名前は入力できません。同じネットワーク上にある他の機器と重複しない名前を付けてください。
- ［コメント］には、プリンターのコメントを31バイト以内で入力します。

6 ［更新］をクリックします。

設定がプリンターに送信されます。

7 Webブラウザを終了します。

プリンターの状態表示

Ridoc IO Admin、Ridoc IO Navi、Webブラウザを使ってプリンターの状態を確認できます。

Ridoc IO Adminの場合

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 ［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［TCP/IP］または［IPX/SPX］をクリックします。

一覧にプリンターの状態がアイコンで表示されます。



補足

❒ 状態アイコンについて詳しくは、ヘルプを参照してください。

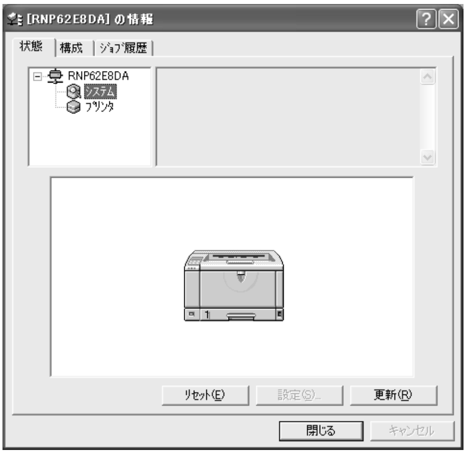
3 より詳しい状態を知りたい場合は、一覧で状態を知りたいプリンターをクリックして反転表示させ、［機器］メニューの［開く］をクリックします。



選択したプリンターの情報ダイアログが表示されます。

4 ［プリンタ］をクリックします。

プリンターの状態が表示されます。



補足

❒ ダイアログの各項目について詳しくは、ヘルプを参照してください。

Ridoc IO Naviの場合

Ridoc IO Naviを使用してプリンターの状態を表示させるには、あらかじめ状態を表示させたいプリンターを監視するように設定しておく必要があります。

監視するプリンターに設定するには

1 Ridoc IO Naviを起動します。

次のような画面が表示されます。



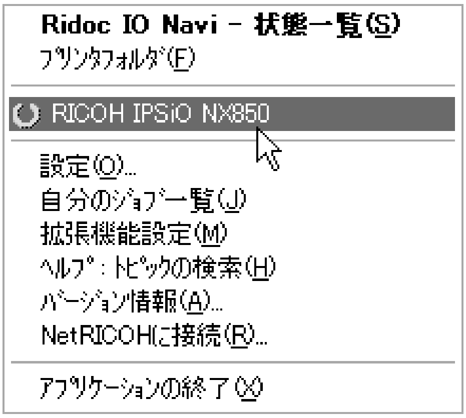
補足

- ❒ ［起動時にこの画面を表示しない］をクリックすると、この画面は表示されなくなります。
- ❒ 本書では、以降、この画面を表示しない状態で説明します。

2 ［OK］をクリックします。

タスクバーの右端にRidoc IO Naviアイコンが表示されます。

3 Ridoc IO Naviアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、表示されたポップアップメニューに目的のプリンターが設定されているかどうかを確認します。

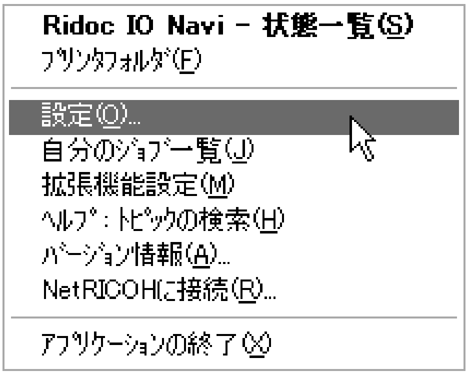


設定されている場合には、P.58「プリンターの状態を表示する」に進みます。

補足

- ❒ 状態表示アイコンについて詳しくは、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

4 目的のプリンターが設定されていない場合は、ポップアップメニューの［設定］をクリックします。



［Ridoc IO Navi-設定］ダイアログが表示されます。



5 監視するプリンターをクリックして反転表示させ、［設定］の［監視対象にする］に✓印を付けます。



補足

❒ ［タスクバーアイコンに表示する］に✓印を付けると、タスクトレイのRidoc IO Naviアイコンにプリンターの状態がアイコンで表示されるようになります。

6 ［OK］をクリックします。

ダイアログが閉じ、設定したプリンターが監視の対象に含まれます。

プリンターの状態を表示する

1 Ridoc IO Naviを起動します。

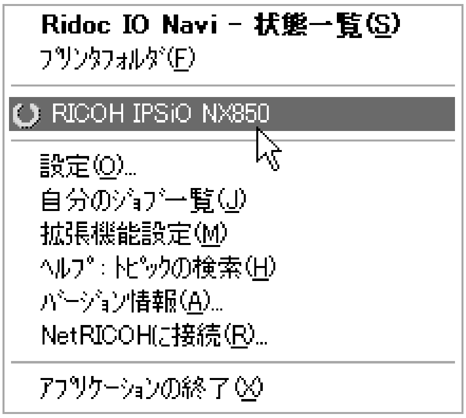
2 Ridoc IO Naviアイコンをマウスの右ボタンでクリックします。

タスクトレイのRidoc IO Naviアイコンにプリンターの状態が表示されます。

補足

❒ 状態アイコンについて詳しくは、ヘルプを参照してください。

3 より詳しい状態を知りたい場合は、Ridoc IO Naviアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、状態を知りたいプリンターをクリックします。



4 ［プリンタ］をクリックします。

プリンターの状態が、ダイアログに表示されます。



補足

❒ ダイアログの各項目について詳しくは、ヘルプを参照してください。

Webブラウザの場合

操作の前に

Webブラウザの操作について、詳しくはP.129「Webブラウザを使用する」を参照してください。

1 **Webブラウザを起動します。**

2 **アドレスに「http://（状態を表示させたいプリンターのIPアドレス）/」と入力します。**

Webブラウザに選択したプリンターの状態が表示されます。



3 **［状態］をクリックすると給紙トレイの用紙の量などを調べることができます。**



補足

❒ それぞれの項目について詳しくは、ヘルプを参照してください。

Windows NT 4.0セットアップガイド

補足

- ❒ Windows NT 4.0 は、IP over 1394には対応していません。

プリントサーバを使わないで印刷するとき

NetWareやWindows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のプリントサーバを使わないで直接ネットワークプリンターに印刷する場合は、以下の手順でセットアップを行います。

1 使用するプロトコルを決定します。

ネットワーク管理者の方と相談し、使用するプロトコルを決定します。

- TCP/IPプロトコル
- IPPプロトコル
- NetBEUIプロトコル

2 プロトコルの準備をします。

1で決定したプロトコルを使うための準備をします。

- TCP/IP印刷のための準備⇒ P.62 「TCP/IP印刷、IPP印刷のための準備」
- IPP印刷のための準備⇒ P.62 「TCP/IP印刷、IPP印刷のための準備」
- NetBEUI印刷のための準備⇒ P.63 「NetBEUI印刷のための準備」

3 Ridoc IO Naviをインストールし、プリンタードライバーのポートを設定します。

- Ridoc IO Naviは、プリンター本体に同梱のCD-ROMからインストールします。インストール方法とプリンタードライバーのポートの設定方法について詳しくは、プリンター本体の使用説明書を参照してください。

LPRポートを使用して印刷するとき

LPRを使って印刷する場合の設定方法は、P.66 「LPRポートを使ったTCP/IP印刷」をご覧ください。

Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のプリントサーバを使って印刷するとき

Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のプリントサーバを使った場合のクライアントの設定方法はP.68 「Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のプリントサーバを使う」をご覧ください。

プロトコルの準備をする

TCP/IP印刷、IPP印刷のための準備

TCP/IP プロトコルまたは IPP を使って印刷する場合は、以下の説明にしたがってネットワーク環境を設定してください。

プリンターの環境設定

TCP/IP プロトコルを使って印刷できるように、プリンターのネットワーク環境を設定しておきます。

- TCP/IPプロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）
- IP アドレスなど TCP/IP に関する項目を設定する

参照

設定方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

DHCP を使用してプリンターの IP アドレスを設定するときは、P.134 「DHCPを使用する」を参照してください。

補足

❒ IP アドレスを設定したら正しく設定されたかどうかWindows NT 4.0上から確認してください。

① ［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］をポイントし、［コマンドプロンプト］をクリックします。

② 次のように入力して確認します。（プリンターのIPアドレスが192.168.15.16の場合）

```
C:> ping 192.168.15.16
```

正しく設定されていると次のように表示されます。

```
Reply from 192.168.15.16 : bytes=32 time<10ms TTL=32
```

間違って設定されていると次のように表示されます。

```
Request timed out.
```

Windows NT 4.0の環境設定

Windows NT 4.0に「TCP/IPプロトコル」と、LPR印刷を行う場合は「Microsoft TCP/IP印刷」ソフトウェアを組み込み、TCP/IPのプロパティを設定します。

1 ［コントロールパネル］の［ネットワーク］アイコンをダブルクリックし、［プロトコル］タブの［ネットワークプロトコル］ボックスに、「TCP/IPプロトコル」が組み込まれていることを確認します。



補足

❒ 「TCP/IP プロトコル」が組み込まれていないときは、［プロトコル］タブの［追加］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows NT 4.0のヘルプを参照してください。

2 TCP/IP プロトコルを組み込んだら、プロパティを設定します。

設定内容はネットワーク管理者の方に確認し、正しく設定してください。

3 LPRを使って印刷する場合は、[サービス]タブをクリックし、ネットワークサービスとして「Microsoft TCP/IP印刷」が組み込まれていることを確認します。



「Microsoft TCP/IP印刷」が組み込まれていないときは、[サービス]タブの[追加]をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法について詳しくは、Windows NT 4.0のヘルプを参照してください。

NetBEUI印刷のための準備

NetBEUIプロトコルを使って印刷する場合は、以下の説明にしたがってネットワーク環境を設定してください。

プリンターの環境設定

NetBEUIプロトコルを使って印刷できるように、プリンターのNetBEUIプロトコルを有効にします（工場出荷時は有効です）。

参照

設定方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

4

Windows NT 4.0の環境設定

Windows NT 4.0に「NetBEUIプロトコル」を組み込み、LANアダプタ（LANA）番号を変更します。

1 [コントロールパネル]の[ネットワーク]アイコンをダブルクリックし、[プロトコル]タブの[ネットワークプロトコル]ボックスに、「NetBEUIプロトコル」が組み込まれていることを確認します。



補足

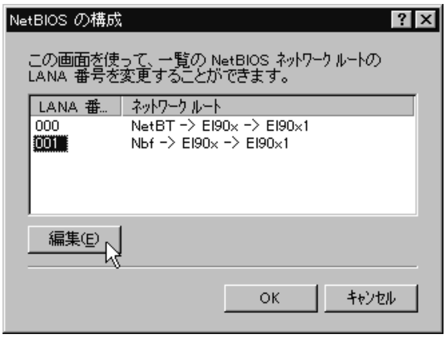
- 「NetBEUIプロトコル」が組み込まれていないときは、[プロトコル]タブの[追加]をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法について詳しくは、Windows NT 4.0のヘルプを参照してください。

4

2 LANA番号を変更します。［サービス］タブをクリックし、［ネットワークサービス］ボックスの「NetBIOSインターフェイス」をクリックして反転表示させ、［プロパティ］をクリックします。



3 ［ネットワークルート］見出しの「Nbfプロトコル」に対応したLANA番号をクリックして反転表示させ、［編集］をクリックします。



4 LANA番号として「0」を入力します。

補足

- 他のプロトコルのLANA番号が0に設定されているときは、そのプロトコルを0以外に変更してください。

5 ［OK］をクリックします。

6 ［閉じる］をクリックし、［ネットワーク］ダイアログを閉じます。

7 再起動するかどうか確認するメッセージが表示されるので、［はい］をクリックします。

補足

- LANA番号を変更したときは必ず再起動してください。

ソフトウェアをインストールする

TCP/IP、NetBEUI、IPPプロトコルを使用してネットワークプリンターに印刷するには、Ridoc IO Naviを使用します。Ridoc IO Naviを使用することにより、次の機能を使用することができます。

- Peer-to-Peer プリント機能
    - プリントサーバが無くても、直接ネットワークプリンターに印刷できます。
- 指定したプリンターにジョブがたまっていたり、エラーが発生して印刷できないとき、代わりのプリンターに印刷できます（代行印刷）。
- 複数部数の印刷を複数のプリンターに割り振って印刷できます（並行印刷）。
- 並行/代行印刷に指定するプリンターをあらかじめグループ登録できます。
- 印刷データを転送中または印刷中に指定したプリンターにエラーが発生した場合、エラーメッセージを通知させることができます。
- 印刷が完了したときに、[印刷通知]ウィンドウを表示して、印刷の完了を通知することができます。また代行印刷したときだけ表示させるなど、印刷条件により通知するかどうかを設定することができます。
- 機器監視機能
    - 印刷中、用紙切れなど機器の情報をパソコン上で確認できます。
    - 複数台の機器を使い分けているときは、それらを同時に監視できます。
    - 機器のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
    - ユーザー ID を使ったジョブの履歴を確認できます。

制限

- ❒ 代行印刷、並行印刷の設定には制限があります。条件について詳しくは、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。
- ❒ コンピュータをプリントサーバとして使用している場合、代行印刷、並行印刷の機能は使用できません。

参照

Ridoc IO Naviは、プリンター本体に同梱のCD-ROMからインストールします。インストール方法とプリンタードライバーのポートの設定方法について詳しくは、プリンター本体の使用説明書を参照してください。

LPRポートを使ったTCP/IP印刷

LPRポートにTCP/IPプロトコルを使って印刷するときは、プリンタードライバーで次のように設定します。

補足

- ❒ ここではすでにプリンタードライバーがインストールされているものとして、ポートをLPRに変更する手順だけを説明します。
- ❒ あらかじめTCP/IP印刷のためのネットワーク環境を設定しておく必要があります。設定について詳しくはP.62「TCP/IP印刷、IPP印刷のための準備」を参照してください。

4

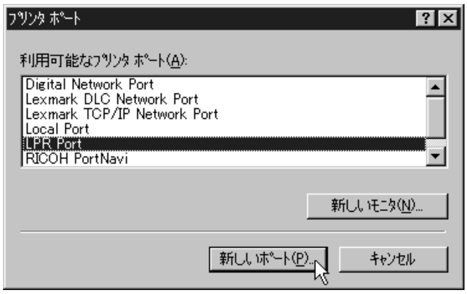
1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

2 印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

3 ［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。



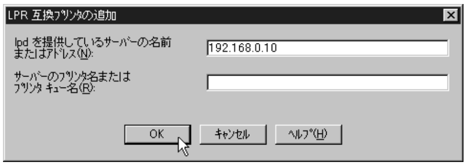
4 ［利用可能なプリンタポート］ボックスで「LPR Port」をクリックして反転表示させ、［新しいポート］をクリックします。



補足

- ❒ 「LPR Port」が表示されない場合は、「Microsoft TCP/IP 印刷」が正しく組み込まれていません。詳しくはWindows NT 4.0のヘルプを参照してください。

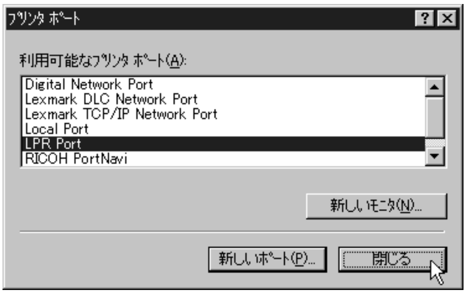
5 ［lpdを提供しているサーバーの名前またはアドレス］ボックスに、プリンターのIPアドレスを入力します。



6 ［サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名］ボックスに「lp」と入力し、［OK］をクリックします。



7 ［閉じる］をクリックします。



8 ［印刷するポート］ボックスにIPアドレスのポートが表示され、チェックボックスに✓印が付いていることを確認し、［OK］をクリックします。

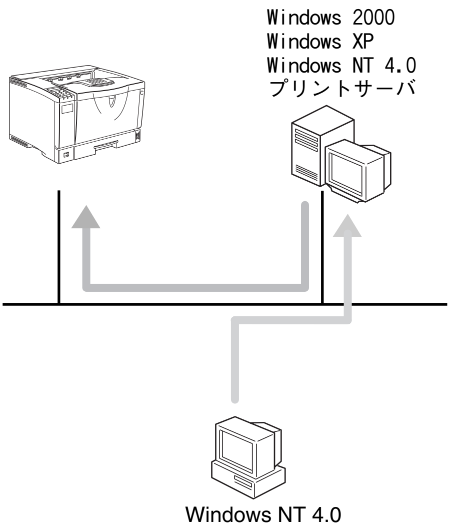


4

Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のプリントサーバを使う

Windows 2000 、Windows XPまたはWindows NT 4.0をプリントサーバとして使用した場合のクライアント側のセットアップ方法を説明します。

Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のプリントサーバを使用する場合、Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0の共有プリンターを選択します。



制限

- ❒ Ridoc IO Naviポートで本機を接続しているプリントサーバをお使いの場合、クライアントからの代行印刷、並行印刷を行なうことはできません。
- ❒ Windows XPをプリントサーバとした場合、クライアントに印刷通知を行うことはできません。

補足

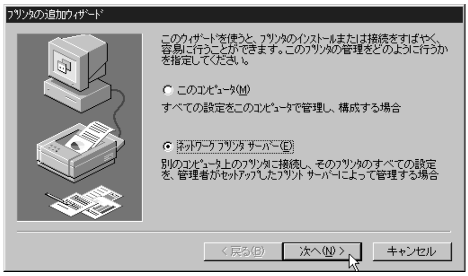
- ❒ ここでの説明はクライアント側がWindows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0と正しく通信できる環境に設定されていることを前提にしています。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

2 ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

［プリンタウィザード］が表示されます。

3 ［ネットワークプリンタサーバー］をクリックし、［次へ］をクリックします。

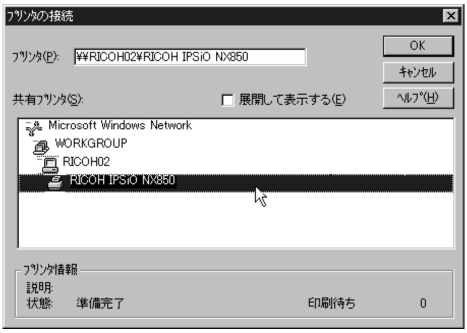


4 プリントサーバとして使用するコンピュータの名前をダブルクリックします。



組み込まれている共有プリンターが展開されます。

5 ［共有プリンタ］ボックスで印刷するプリンターをクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。



補足

- ❒ プリントサーバにプリンタードライバーが組み込まれていないときはメッセージが表示されます。クライアント側にプリンタードライバーを組み込むときは［OK］をクリックし、メッセージにしたがって操作を続けてください。
- ❒ Windows NT 4.0用のプリンタードライバーは、プリンターに同梱のCD-ROMの\DRIVERS\RPCS\WINNT40（RPCSプリンタードライバーの場合）または\DRIVERS\RPDL\WINNT40（RPDL プリンタードライバーの場合）にあります。

6 通常使うプリンターにするかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。



7 インストールが終了したら［完了］をクリックします。



［プリンタ］ウィンドウにプリンターのアイコンが追加されます。



4

名前とコメントを変更する

Ridoc IO AdminやRidoc IO Naviで一覧表示したとき、プリンターを識別しやすくするために、表示される名前を変えたりコメントを付けたりすることができます。



表示される名前やコメントを変更するには、以下のユーティリティーを使用します。

❖ Ridoc IO Admin

TCP/IP プロトコルまたは IPX/SPX プロトコルを使用している場合、Ridoc IO Adminを使用して名前とコメントを変更できます。Ridoc IO Adminは、プリンター本体に付属しているCD-ROMからインストールします。インストール方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

❖ Webブラウザ

TCP/IPプロトコルを使用している場合、Webブラウザを使用して名前とコメントを変更できます。

補足

- ❒ TCP/IPプロトコルで表示される名前（プリンタ名）とNetBEUIプロトコルで表示される名前（コンピュータ名）は個別に変更します。コメントは共通です。
- ❒ 工場出荷時の名前には「RNP」とネットワークインターフェースボードのMACアドレスの下3バイトで構成される名前が設定されています。たとえば、MACアドレスが00:00:74:62:0B:3Aの場合は「RNP620B3A」です。コメントは設定されていません。

Ridoc IO Adminの場合

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 ［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［TCP/IP］または［IPX/SPX］をクリックします。

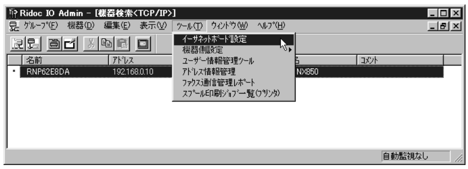
- ［TCP/IP］を選択すると、TCP/IPプロトコルを使用しているプリンターが一覧表示されます。



- ［IPX/SPX］を選択すると、IPX/SPXプロトコルを使用しているプリンターが一覧表示されます。

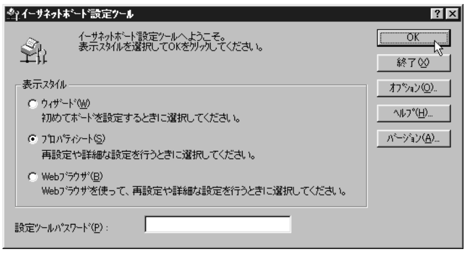


3 名前やコメントを変更したいプリンターをクリックして反転表示させ、［ツール］メニューの［イーサネットボード設定］をクリックします。



イーサネットボード設定ツールが起動します。

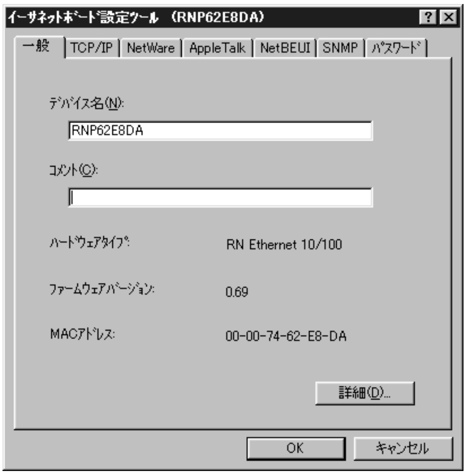
4 ［プロパティシート］をクリックし、［OK］をクリックします。



5 名前とコメントを変更します。

TCP/IPの場合

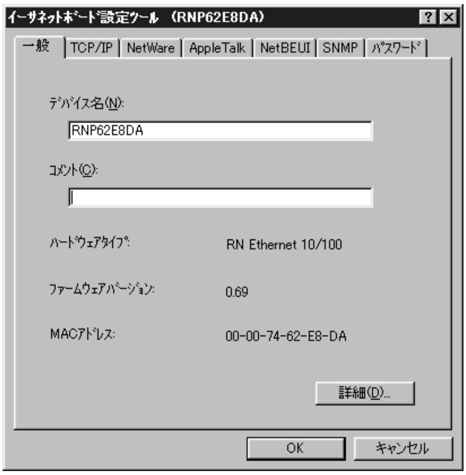
❶ ［一般］タブの［デバイス名］と［コメント］に名前とコメントを入力します。



- ［デバイス名］には、プリンターの名前を 13 バイト以内の半角英数字で入力します。工場出荷時は「RNP」とネットワークインターフェースボードのMAC アドレスの下 3 バイトで構成される名前が設定されています。たとえばMAC アドレスが00:00:74:62:0B:3Aの場合は「RNP620B3A」です。RNPまたはrnpで始まる名前は入力できません。同じネットワーク上にある他の機器と重複しない名前を付けてください。
- ［コメント］には、プリンターのコメントを31バイト以内で入力します。

NetBEUIの場合

❶ ［一般］タブの［コメント］にコメントを入力します。



❷ ［NetBEUI］タブをクリックします。

❸ ［コンピュータ名］に名前を入力します。



- ［コンピュータ名］には、NetBEUIプロトコルでプリンタを識別するための名前を入力します。工場出荷時は「RNP」とネットワークインターフェースボードのMACアドレスの下3バイトで構成される名前が設定されています。たとえばMACアドレスが00:00:74:62:0B:3Aの場合は「RNP620B3A」です。入力できる文字は半角英数字（大文字）と半角記号（"*+,/:;<=>?[¥]|.およびスペースを除く）で13バイト以内です。RNPまたはrnpで始まる名前は入力できません。同じネットワーク上にある他の機器と重複しない名前を付けてください。

4

6 [OK] をクリックします。

イーサネットボード設定ツールが終了し、設定がプリンターに送信されます。

7 Ridoc IO Adminを終了します。

Webブラウザの場合

操作の前に

Webブラウザの操作について、詳しくはP.129「Webブラウザを使用する」を参照してください。

1 Webブラウザを起動します。

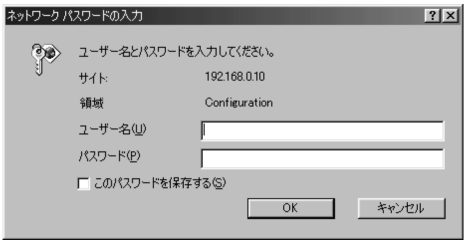
2 アドレスに「http://（設定を変更するプリンターのIPアドレス）/」と入力します。

Webブラウザに選択したプリンターの状態が表示されます。



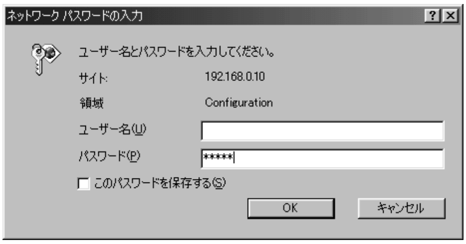
3 [設定] をクリックします。

ユーザー名とパスワードを入力するダイアログが表示されます。



4 パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

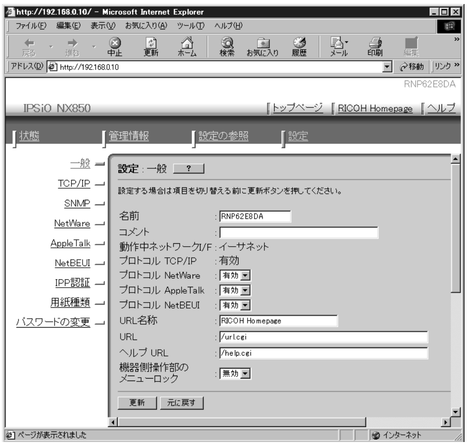
工場出荷時の設定の場合、ユーザー名は空欄に、パスワードには「ricoh」と入力します。



5 名前とコメントを変更します。

TCP/IPの場合

❶ [一般] の [名前] と [コメント] に、名前とコメントを入力します。



- [名前]には、プリンターの名前を13バイト以内の半角英数字で入力します。工場出荷時は「RNP」とネットワークインターフェースボードのMACアドレスの下3バイトで構成される名前が設定されています。たとえばMACアドレスが 00:00:74:62:0B:3A の場合は「RNP620B3A」です。RNPまたはrnpで始まる名前は入力できません。また、プリンターの IP アドレスの設定方法としてDHCPを選択した場合、入力できる文字は半角英数で常に 13 バイト以内になります。
- [コメント] には、プリンターのコメントを31バイト以内で入力します。

❷ IP over 1394の名前を変更する場合には、［IEEE 1394］をクリックします。

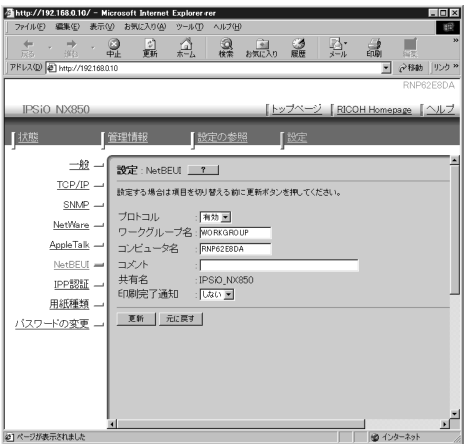


- ［名前］には、IP over 1394で使用されるプリンターの名前を 13 バイト以内の半角英数字で入力します。工場出荷時は「RNP」と拡張 1394 ボードの EUI-64 の下 5 バイトで構成される名前が設定されています。たとえば EUI-64が00:00:74:00:02:01:0A:66の場合には「RNP0002010A66」です。RNPまたはrnpで始まる名前は入力できません。同じネットワーク上にある他の機器と重複しない名前を付けてください。

NetBEUIの場合

❶ ［NetBEUI］をクリックします。

❷ ［コンピュータ名］と［コメント］に、名前とコメントを入力します。



- ［コンピュータ名］には、NetBEUIプロトコルでプリンタを識別するための名前を入力します。工場出荷時は「RNP」とネットワークインターフェースボードのMACアドレスの下3バイトで構成される名前が設定されています。たとえばMACアドレスが00:00:74:62:0B:3Aの場合は「RNP620B3A」です。入力できる文字は半角英数字（大文字）と半角記号（"*+,/:;<=>?[¥]|.およびスペースを除く）で13バイト以内です。RNPまたはrnpで始まる名前は入力できません。同じネットワーク上にある他の機器と重複しない名前を付けてください。
- ［コメント］には、プリンターのコメントを31バイト以内で入力します。

6 ［更新］をクリックします。

設定がプリンターに送信されます。

7 Webブラウザを終了します。

設定が反映されます。

プリンターの状態表示

Ridoc IO Admin、Ridoc IO Navi、Webブラウザを使ってプリンターの状態を確認できます。

Ridoc IO Adminの場合

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 ［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［TCP/IP］または［IPX/SPX］をクリックします。

一覧にプリンターの状態がアイコンで表示されます。



補足

❒ 状態アイコンについて詳しくは、ヘルプを参照してください。

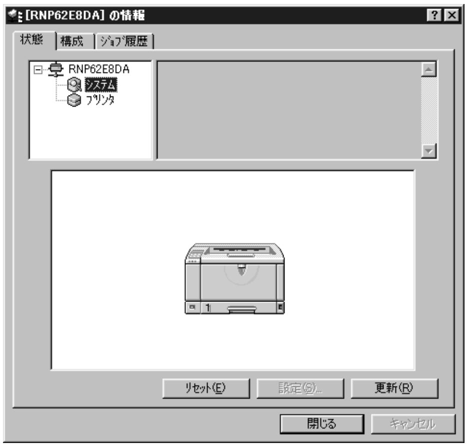
3 より詳しい状態を知りたい場合は、一覧で状態を知りたいプリンターをクリックして反転表示させ、［機器］メニューの［開く］をクリックします。



選択したプリンターの情報ダイアログが表示されます。

4 ［プリンタ］をクリックします。

プリンターの状態が表示されます。



補足

❒ ダイアログの各項目について詳しくは、ヘルプを参照してください。

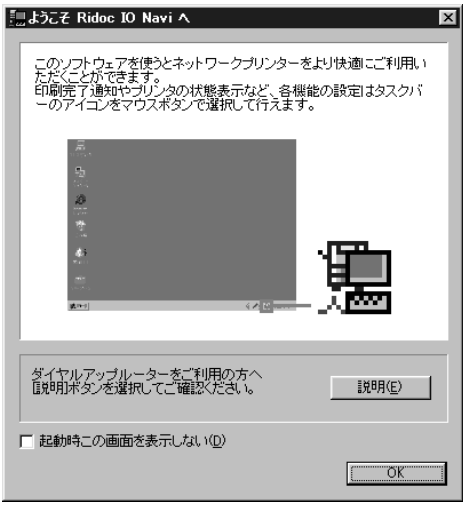
Ridoc IO Naviの場合

Ridoc IO Naviを使用してプリンターの状態を表示させるには、あらかじめ状態を表示させたいプリンターを監視するように設定しておく必要があります。

監視するプリンターに設定するには

1 **Ridoc IO Naviを起動します。**

次のような画面が表示されます。



補足

- ❒ ［起動時にこの画面を表示しない］をクリックすると、この画面は表示されなくなります。
- ❒ 本書では、以降、この画面を表示しない状態で説明します。

2 **［OK］をクリックします。**

タスクバーの右端にRidoc IO Naviアイコンが表示されます。

3 **Ridoc IO Naviアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、表示されたポップアップメニューに目的のプリンターが設定されているかどうかを確認します。**



設定されている場合には、P.25「プリンターの状態を表示する」に進みます。

補足

- ❒ 状態表示アイコンについて詳しくは、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

4 **目的のプリンターが設定されていない場合は、ポップアップメニューの［設定］をクリックします。**



4

［Ridoc IO Navi-設定］ダイアログが表示されます。



5 **監視対象にするプリンターをクリックして反転表示させ、［設定］の［監視対象にする］に✓印を付けます。**



補足

- ［タスクバーアイコンに表示する］に✓印を付けると、タスクトレイのRidoc IO Naviアイコンにプリンターの状態がアイコンで表示されるようになります。

6 **［OK］をクリックします。**

ダイアログが閉じ、設定したプリンターが監視の対象に含まれます。

プリンターの状態を表示する

1 **Ridoc IO Naviを起動します。**

2 **タスクバーのRidoc IO Naviアイコンにプリンターの状態が表示されます。**

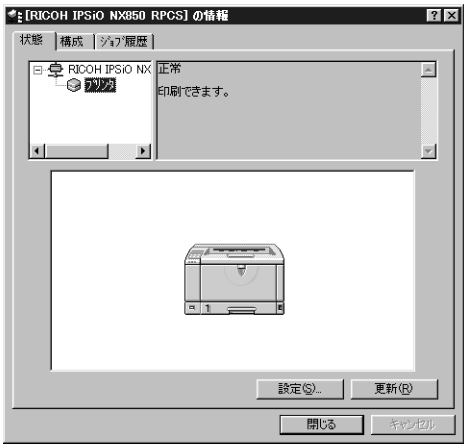
補足

- 状態アイコンについて詳しくは、ヘルプを参照してください。

3 **より詳しい状態を知りたい場合は、Ridoc IO Naviアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、状態を知りたいプリンターをクリックします。**



プリンターの状態が、ダイアログに表示されます。



補足

- ダイアログの各項目について詳しくは、ヘルプを参照してください。

Webブラウザの場合

操作の前に

Webブラウザの操作について、詳しくはP.129「Webブラウザを使用する」を参照してください。

1 **Webブラウザを起動します。**

2 **アドレスに「http://（状態を表示させたいプリンターのIPアドレス）/」と入力します。**

Webブラウザに選択したプリンターの状態が表示されます。



3 **［状態］をクリックすると給紙トレイの用紙の量などを調べることができます。**



補足

❒ それぞれの項目について詳しくは、ヘルプを参照してください。

5. NetWareで使う

NetWareでネットワークプリンターを使用する場合の設定のしかたを説明します。NetWareではプリンターを「プリントサーバ」または「リモートプリンタ」として接続することができます。

補足

❒ あらかじめプリンターの操作パネルを使ってNetWareを有効にしておきます。設定方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

❖ Ridoc IO Adminについて

プリンターをNetWare環境で使用するには、Ridoc IO Adminを使用してNetWareのプリント環境を設定します。Ridoc IO Adminのインストールについて詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

補足

❒ 下記の環境でRidoc IO Adminを使用してプリント環境を設定するときは、Novellから提供されているNetWareクライアントがインストールされている必要があります。

- Windows 95/98/Meで、NDSモードのとき
- Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0でNDSモードまたはBindaryモードのとき

❖ Ridoc IO Adminに表示されるプリンターについて

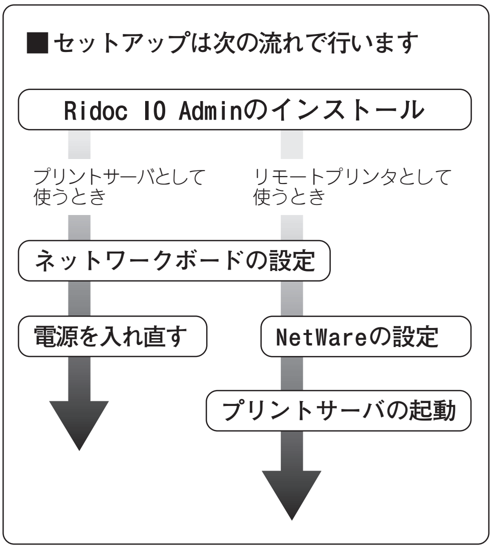
Ridoc IO Adminには、ネットワークに接続されているプリンターの一覧が表示されます。



表示されるプリンター名から目的のプリンターがわからないときは、プリンターからシステム設定リストを印刷し、そのプリンター名と比較して目的のプリンターを探してください。
システム設定リストの印刷方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

NetWare3.xJでのセットアップ

NetWare のプリンター環境の設定のしかたはプリンターの使い方（プリントサーバ／リモートプリンタ）によって異なります。ここではNetWare3.xJ において、プリンターをプリントサーバとして使用する場合と、リモートプリンタとして使用する場合について説明します。



補足

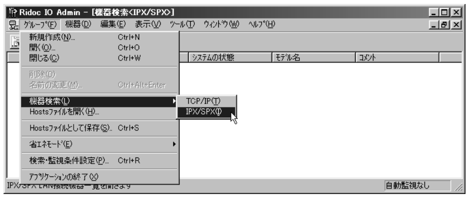
- ❒ NetWareが正しく動作し、プリントサービスを設定できる環境が整っていることを前提にしています。
- ❒ 操作例は次の条件で設定しています。
  - ファイルサーバの名前…CAREE
  - プリントサーバの名前…PSERV
  - プリンターの名前…R-PRN
  - キューの名前…R-QUEUE

プリントサーバとして使う

1 Supervisorまたは同等の権利を持つユーザとしてログインします。

2 Ridoc IO Adminを起動します。

3［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［IPX/SPX］をクリックします。



設定できるプリンターの一覧が表示されます。



補足

- ❒ 表示されるプリンタ名から設定するプリンターがわからないときは、プリンターからシステム設定リストを印刷し、そのプリンター名と比較して目的のプリンターを探してください。システム設定リストの印刷方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。
- ❒ プリンターが表示されないときは、IPX/SPX プロトコルのフレームタイプをコンピュータと機器で一致させてください。コンピュータのフレームタイプはWindowsの［ネットワーク］ダイアログで変更します。機器のフレームタイプを変更する方法は、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。
- ❒ メインウィンドウにはリコー以外のプリンターが表示されることがあります。

4 **設定するプリンターをクリックして反転表示させ、［ツール］メニューの［イーサネットボード設定］をクリックします。**

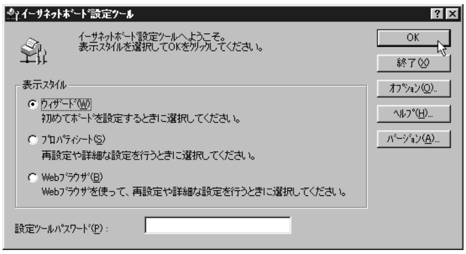


イーサネットボード設定ツールが起動します。

制限

- ❒ イーサネットボード設定ツールはリコー以外のプリンターには対応していません。

5 **［ウィザード］をクリックして選択し、［OK］をクリックします。**



イーサネットボード設定ダイアログが表示されます。

6 **必要に応じて［デバイス名］と［コメント］を入力し、［次へ］をクリックします。**



7 **［NetWare］に✓印を付け、［次へ］をクリックします。**

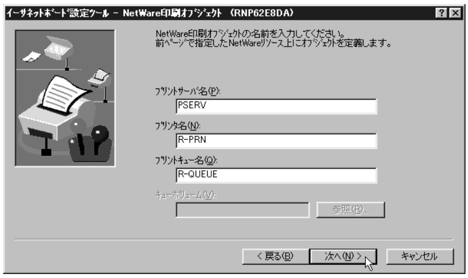


8 **［バインダリモード］をクリックして選択し、［ファイルサーバ名］を入力し、［次へ］をクリックします。**



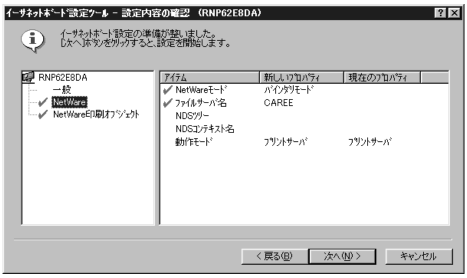
- ［ファイルサーバ名］には、プリントサーバを作成するファイルサーバ名（この例ではCAREE）を入力します。［参照］をクリックして一覧からファイルサーバを選択することもできます。

9 **［プリントサーバ名］、［プリンタ名］、［プリントキュー名］を入力し、［次へ］をクリックします。**



- ［プリントサーバ名］には、NetWareのプリントサーバ名（この例では、PSERV）を47バイト以内の半角英数字で入力します。
- ［プリンタ名］には、NetWareのプリンター名（この例では、R-PRN）を入力します。
- ［プリントキュー名］には、NetWare上に追加するプリントキューの名前（この例の場合R-QUEUE）を入力します。

10 設定を確認し、[次へ] をクリックします。



設定が反映され、イーサネットボード設定ツールが終了します。

11 Ridoc IO Adminを終了します。

12 プリンターの電源を入れ直します。

補足

- ❒ プリンターが設定どおり動作しているか確認するにはコマンドプロンプトで次のように入力します。

  F:> USERLIST

- ❒ 正しく動作していると、接続しているユーザ名としてプリントサーバ名（この例ではPSERV）が表示されます。

リモートプリンタとして使う

1 Supervisorまたは同等の権利を持つユーザとしてログインします。

2 Ridoc IO Adminを起動します。

3 [グループ] メニューをクリックし、[機器検索] をポイントし、[IPX/SPX] をクリックします。



設定できるプリンターの一覧が表示されます。



補足

- ❒ 表示されるプリンタ名から設定するプリンターがわからないときは、プリンターからシステム設定リストを印刷し、そのプリンター名を比較して目的のプリンターを探してください。システム設定リストの印刷方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。
- ❒ プリンターが表示されないときは、IPX/SPXプロトコルのフレームタイプをコンピュータと機器で一致させてください。コンピュータのフレームタイプはWindowsの[ネットワーク]ダイアログで変更します。機器のフレームタイプを変更する方法は、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。
- ❒ メインウィンドウにはリコー以外のプリンターが表示されることがあります。

4 **設定するプリンターをクリックして反転表示させ、［ツール］メニューの［イーサネットボード設定］をクリックします。**

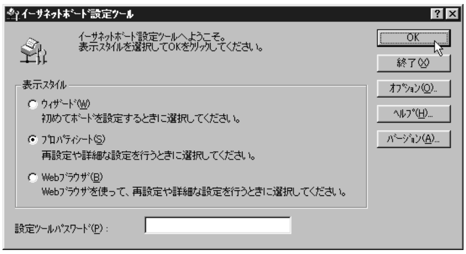


イーサネットボード設定ツールが起動します。

制限

❒ イーサネットボード設定ツールはリコー以外のプリンターには対応していません。

5 **［プロパティシート］をクリックして選択し、［OK］をクリックします。**



イーサネットボード設定ダイアログが表示されます。

6 **［NetWare］タブをクリックします。**

7 **環境を設定します。**

❶ **［プリントサーバ名］ボックスに、プリントサーバの名前を入力します。**

補足

❒ 47 バイト以内の半角英数字で入力してください、

❷ **［ファイルサーバ名］に、プリントサーバを作成するファイルサーバ名を入力します。**

［参照］をクリックすると、ファイルサーバを一覧から選択できます。

❸ **［動作モード］グループの［リモートプリンタ］をクリックして選択します。**

❹ **［リモートプリンタ番号］ボックスに、プリンタ番号を入力します。**

重要

❒ プリントサーバ上に作成するプリンターの番号と一致させてください。

❺ **［OK］をクリックします。**

イーサネットボード設定ツールが終了します。



8 **Ridoc IO Adminを終了します。**

9 **コマンドプロンプトで「PCONSOLE」と入力します。**

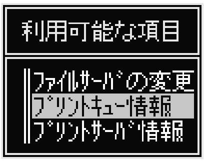
```
F:> PCONSOLE
```

10 **プリントキューを作成します。**

補足

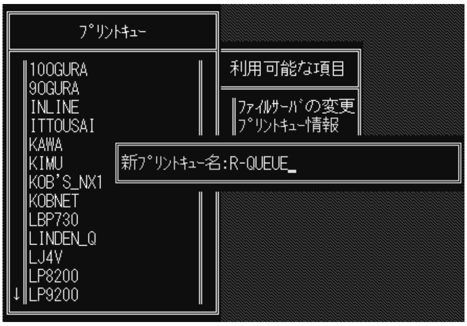
❒ 既存のプリントキューを使用する場合は、手順**11**に進みます。

❶ **［利用可能な項目］メニューから［プリントキュー情報］を選択します。**



5

❷ **Insert キーを押し、プリントキュー名を入力します。**

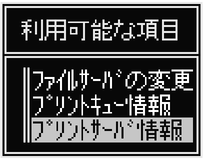


❸ **Escキーを押します。**

［利用可能な項目］メニューに戻ります。

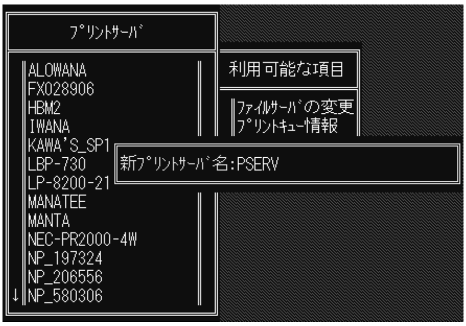
11 **プリンターを作成します。**

❶ **［利用可能な項目］メニューから［プリントサーバ情報］を選択します。**



❷ **新しいプリントサーバを作成する場合は、Insertキーを押し、プリントサーバ名を入力します。**

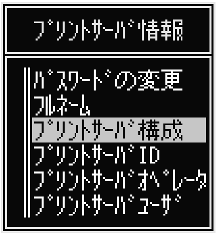
既存のプリントサーバを使用する場合は、［プリントサーバ］一覧から使用するプリントサーバを選択します。



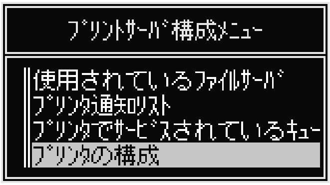
重要

❒ Ridoc IO Adminで設定したプリントサーバ名（手順**7**-❶）と一致させてください。

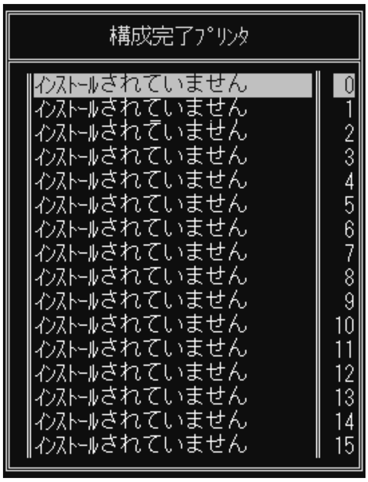
❸ **［プリントサーバ情報］メニューから［プリントサーバ構成］を選択します。**



❹ **［プリントサーバ構成メニュー］から［プリンタの構成］を選択します。**



❺ **「インストールされていません」と表示されているプリンターを選択します。**

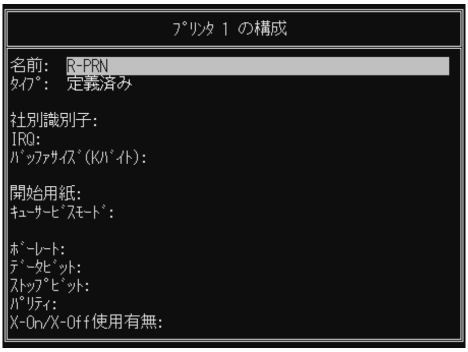


重要

❒ Ridoc IO Adminで設定したプリンタ番号（手順**7**-❹）と一致させてください。

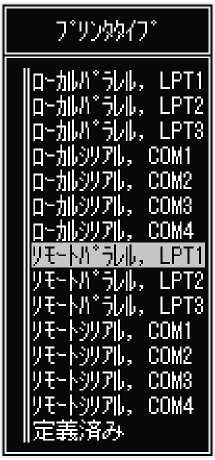
❻ プリンターの名前を変更する場合は、新しい名前を入力します。

名前は選択したプリンターの番号に応じて「プリンタ×」と付けられています。



❼ タイプとして［リモートパラレル, LPT1］を選択します。

IRQ、バッファサイズ、開始用紙、キューサービスモードは自動的に設定されます。



❽ Escキーを押し、確認画面で［Yes］を選択します。

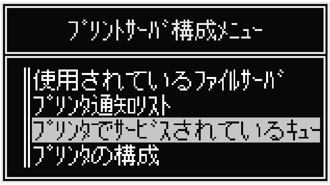


❾ Escキーを押します。

［プリントサーバ構成メニュー］に戻ります。

⓬ 作成したプリンターにプリントキューを割り当てます。

❶ ［プリントサーバ構成メニュー］から［プリンタでサービスされているキュー］を選択します。



❷ 手順⓫で作成したプリンターを選択します。

❸ Insert キーを押し、プリンターに割り当てるキューを選択します。



補足

❒ 複数のキューを選択することもできます。

❹ 画面表示にしたがって、その他の項目を入力します。

入力後、プリンターにキューが割り当てられたことを確認してください。

⓭ 「終了しますか？」と表示されるまで Esc キーを押し、［Yes］を選択します。



PCONSOLEが終了します。

14 **NetWareサーバのコンソールから次のように入力してプリントサーバを起動します。**

すでに起動しているときは、いったん停止させてから起動します。

❖ 停止する

`CAREE: unload pserver`

❖ 起動する

`CAREE: load pserver プリントサーバ名`

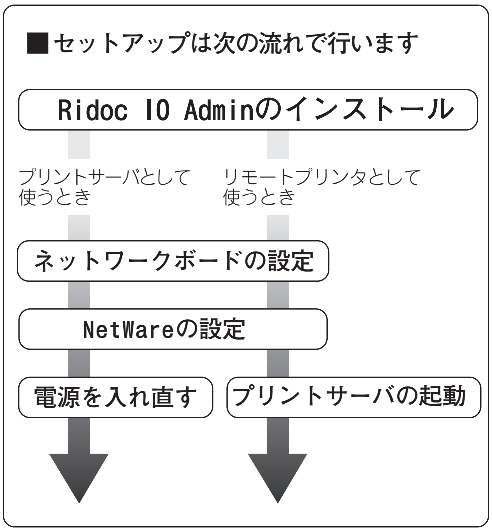
補足

- ❒ プリンターが設定どおり動作していると、「プリントジョブ待機中」と表示されます。

5

NetWare4.xJ、NetWare5/5.1Jでのセットアップ

NetWareのプリンター環境の設定のしかたはプリンターの使い方（プリントサーバ／リモートプリンタ）によって異なります。ここではNetWare4.xJ/NetWare5/5.1Jにおいて、プリンターをプリントサーバとして使用する場合と、リモートプリンタとして使用する場合について説明します。



補足

- ❒ NetWareが正しく動作し、プリントサービスを設定できる環境が整っていることを前提にしています。
- ❒ 操作例は次の条件で設定しています。
  - ファイルサーバの名前…CAREE
  - プリントサーバの名前…PSERV
  - プリンターの名前…R-PRN
  - キューの名前…R-QUEUE

❖ NetWare5/5.1Jをお使いの方へ

- プリンターはプリントサーバとしてお使いください。ピュアIP環境でお使いの場合は、リモートプリンタとしては使用できません。
- ピュアIP環境でお使いの場合は、プリンターでTCP/IPプロトコルが使用できるように設定してください。設定方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

プリントサーバとして使う

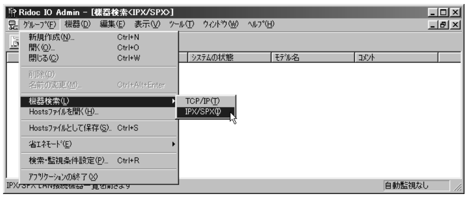
重要

- ❒ NetWare4.xJ/NetWare5/5.1Jにおいてプリントサーバとして使用する場合は、NDSモードで使用してください。

1 サーバにAdminでログインします。

2 Ridoc IO Adminを起動します。

3 ［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［IPX/SPX］をクリックします。



設定できるプリンターの一覧が表示されます。



補足

- ❒ NetWare5/5.1Jのピュア IP環境でお使いの方は、［TCP/IP］を選択してください。
- ❒ 表示されるプリンタ名から設定するプリンターがわからないときは、プリンターからシステム設定リストを印刷し、そのプリンター名と比較して目的のプリンターを探してください。システム設定リストの印刷について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

5

❒ プリンターが表示されないときは、IPX/SPX プロトコルのフレームタイプをコンピュータと機器で一致させてください。コンピュータのフレームタイプはWindowsの［ネットワーク］ダイアログで変更します。機器のフレームタイプを変更する方法は、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

❒ メインウィンドウにはリコー以外のプリンターが表示されることがあります。

4 設定するプリンターをクリックして反転表示させ、［ツール］メニューの［イーサネットボード設定］をクリックします。



イーサネットボード設定ツールが起動します。

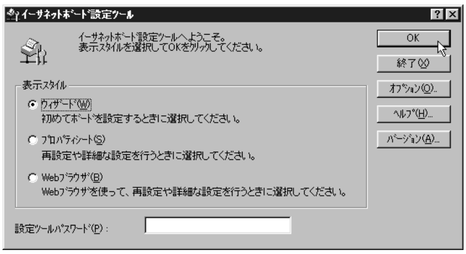
制限

❒ イーサネットボード設定ツールはリコー以外のプリンターには対応していません。

補足

❒ NetWare5/5.1Jのピュア IP環境でご使用の方はP.89「NetWare5/5.1Jのピュア IP環境でお使いの方へ」に進んでください。

5 ［ウィザード］をクリックして選択し、［OK］をクリックします。



イーサネットボード設定ダイアログが表示されます。

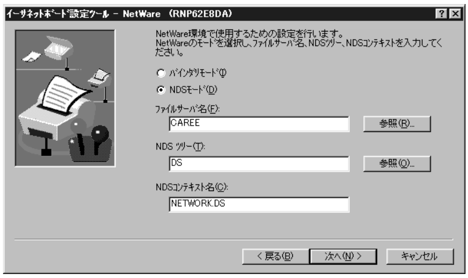
6 必要に応じて［デバイス名］と［コメント］を入力し、［次へ］をクリックします。



7 ［NetWare］に✓印を付け、［次へ］をクリックします。



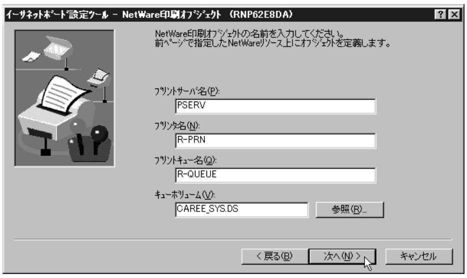
8 ［NDSモード］をクリックして選択し、［ファイルサーバ名］、［NDS ツリー］、［NDSコンテキスト名］を入力し、［次へ］をクリックします。



- ［ファイルサーバ名］には、プリントサーバを作成するファイルサーバ名（この例ではCAREE）を入力します。［参照］をクリックして一覧からファイルサーバを選択することもできます。
- ［NDSツリー］には、プリントサーバを作成するNDSツリーの名前を入力します。［参照］をクリックして一覧からNDSツリーを選択することもできます。

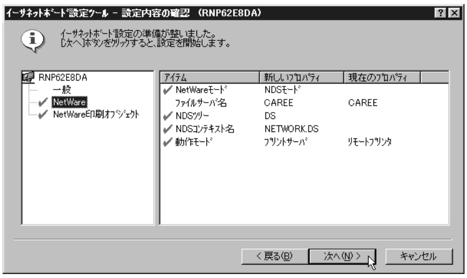
- ［NDSコンテキスト名］には、プリントサーバを作成するコンテキストを入力します。コンテキストはRootからのオブジェクトを下の階層から順にピリオド(.)で区切って入力します。たとえばRoot上の組織オブジェクトがDSで、その下の部門オブジェクトNETWORKにプリントサーバを作成するときは、「NETWORK.DS」と入力します。［参照］をクリックして一覧からNDSコンテキストを選択することもできます。

9 **［プリントサーバ名］、［プリンタ名］、［プリントキュー名］、［キューボリューム］を入力し、［次へ］をクリックします。**



- ［プリントサーバ名］には、NetWareのプリントサーバ名（この例では、PSERV）を47バイト以内の半角英数字で入力します。
- ［プリンタ名］には、NetWareのプリンター名（この例では、R-PRN）を入力します。
- ［プリントキュー名］には、NetWare上に追加するプリントキューの名前（この例の場合R-QUEUE）を入力します。
- ［キューボリューム］には、キューを作成するボリュームを入力します。ボリュームはオブジェクトを下の階層から順にピリオドで区切って入力します。［参照］をクリックして一覧からボリュームを選択することもできます。

10 **設定を確認し、［次へ］をクリックします。**



設定が反映され、イーサネット設定ユーティリティーが終了します。

11 **Ridoc IO Adminを終了します。**

12 **プリンターの電源を入れ直します。**

補足

- ❒ プリンターが設定どおり動作しているか確認するにはコマンドプロンプトで次のように入力します。

  F:> NLIST USER /A/B

- ❒ 正しく動作していると、接続しているユーザ名としてプリントサーバ名（この例ではPSERV）が表示されます。

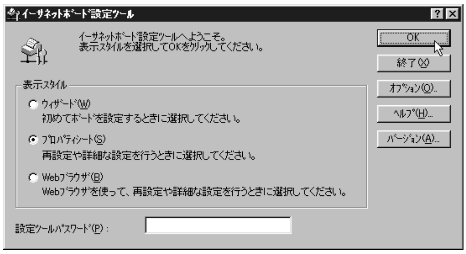
NetWare5/5.1JのピュアIP環境でお使いの方へ

補足

- ❒ IPXを使用しない場合は、Webブラウザでプリントサーバプロトコルを「TCP/IP+IPX」から「TCP/IP」に変更しておくことをお勧めします。

NetWare5/5.1JのピュアIP環境でキューベースのプリントサーバを作成する場合、NetWareアドミニストレータを使用してファイルサーバ上にプリントキューを作成する必要があります。この場合、P.87「プリントサーバとして使う」の手順**5**以降を次のように操作してください。

1 **［プロパティシート］をクリックして選択し、［OK］をクリックします。**



イーサネットボード設定ダイアログが表示されます。

2 **［NetWare］タブをクリックします。**

3 **環境を設定します。**

❶ **［プリントサーバ名］ボックスに、プリントサーバの名前を入力します。**

補足

- ❒ 47バイト以内の半角英数字で入力してください、

5

❷ ［ファイルサーバ名］に、プリントサーバを作成するファイルサーバ名を入力します。

［参照］をクリックすると、ファイルサーバを一覧から選択できます。

❸ NDSコンテキスト名に、プリントサーバのコンテキストを入力します。

［参照］をクリックすると、NDSコンテキストを一覧から選択できます。

補足

❒ コンテキストはRootからのオブジェクトを下の階層から順にピリオド(.)で区切って入力します。たとえばRoot上の組織オブジェクトがDSで、その下の部門オブジェクトNETWORKにプリントサーバを作成するときは、「NETWORK.DS」と入力します。

❹ ［動作モードグループ］の［プリントサーバ］をクリックして選択します。



❺ ［OK］をクリックします。

イーサネット設定ユーティリティーが終了します。

4 Ridoc IO Adminを終了します。

この後の操作は、P.90「リモートプリンタとして使う」の手順❾以降を参考にして操作を行ってください。ただし、手順⓮-❸、❹の操作は不要です。

リモートプリンタとして使う

重要

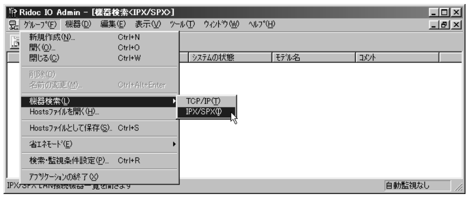
❒ NetWare4.xJ、NetWare5/5.1Jにおいてリモートプリンタとして使用する場合は、NDSモードで使用してください。

❒ NetWare5/5.1JのピュアIP環境の場合、リモートプリンタとして使用できません。

1 サーバにAdminでログインします。

2 Ridoc IO Adminを起動します。

3 ［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［IPX/SPX］をクリックします。



設定できるプリンターの一覧が表示されます。



補足

❒ 表示されるプリンタ名から設定するプリンターがわからないときは、プリンターからシステム設定リストを印刷し、そのプリンター名と比較して目的のプリンターを探してください。システム設定リストの印刷方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

❒ プリンターが表示されないときは、IPX/SPXプロトコルのフレームタイプをコンピュータと機器で一致させてください。コンピュータのフレームタイプはWindowsの［ネットワーク］ダイアログで変更します。機器のフレームタイプを変更する方法は、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

❒ メインウィンドウにはリコー以外のプリンターが表示されることがあります。

4 **設定するプリンターをクリックして反転表示させ、［ツール］メニューの［イーサネットボード設定］をクリックします。**

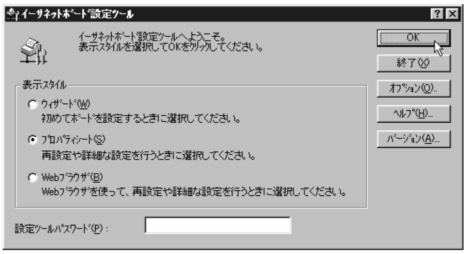


イーサネットボード設定ツールが起動します。

制限

❒ イーサネットボード設定ツールはリコー以外のプリンターには対応していません。

5 **［プロパティシート］をクリックして選択し、［OK］をクリックします。**



［イーサネットボード設定］ダイアログが表示されます。

6 **［NetWare］タブをクリックします。**

7 **環境を設定します。**

❶ **［プリントサーバ名］ボックスに、プリントサーバの名前を入力します。**

補足

❒ 47バイト以内の半角英数字で入力してください、

❷ **［ファイルサーバ名］に、プリントサーバを作成するファイルサーバ名を入力します。**

［参照］をクリックすると、ファイルサーバを一覧から選択できます。

❸ **NDSコンテキスト名に、プリントサーバのコンテキストを入力します。**

［参照］をクリックすると、NDSコンテキストを一覧から選択できます。

補足

❒ コンテキストはRootからのオブジェクトを下の階層から順にピリオド(.)で区切って入力します。たとえばRoot上の組織オブジェクトがDSで、その下の部門オブジェクトNETWORKにプリントサーバを作成するときは､「NETWORK.DS」と入力します。

❹ **［動作モードグループ］の［リモートプリンタ］をクリックして選択します。**



❺ **［プリンタ番号］ボックスに、プリンタ番号を入力します。**

重要

❒ プリントサーバ上に作成するプリンターの番号と一致させてください。

❻ **［OK］をクリックします。**

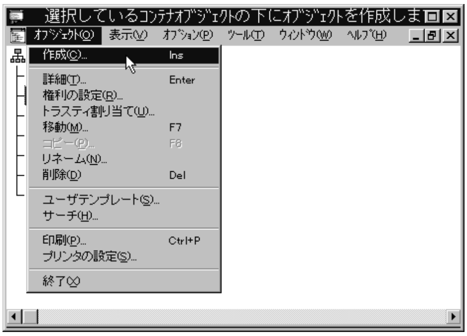
イーサネット設定ユーティリティーが終了します。

8 **Ridoc IO Adminを終了します。**

9 **Windows上でNetWareアドミニストレータを起動します。**

10 プリントキューを作成します。

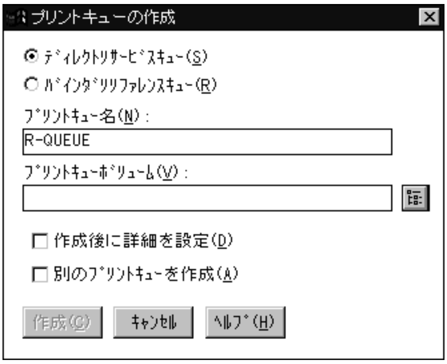
❶ 印刷オブジェクトを作成する部門オブジェクトまたは組織オブジェクトをディレクトリーツリーから選び、[オブジェクト] メニューの [作成] をクリックします。



❷ [オブジェクトクラス] ボックスの「プリントキュー」をクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。

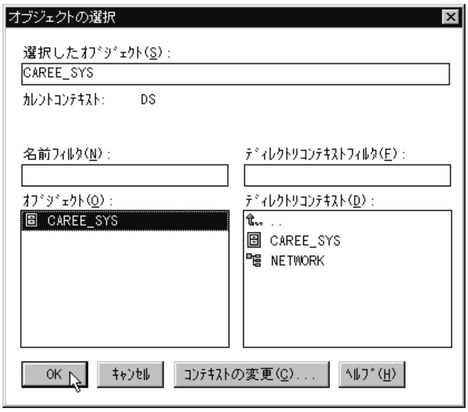


❸ [プリントキュー名] ボックスに、プリントキューの名前を入力します。

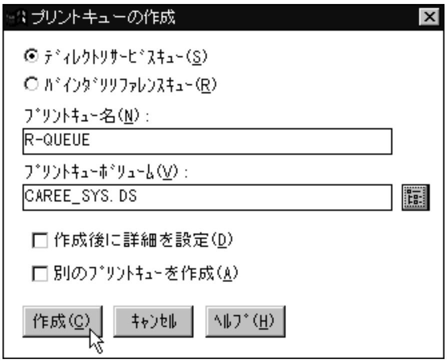


❹ [プリントキューボリューム] ボックスのブラウザボタンをクリックします。

❺ [オブジェクト] ボックスでプリントキューを作成するボリュームをクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。



❻ 設定内容を確認し、[作成] をクリックします。



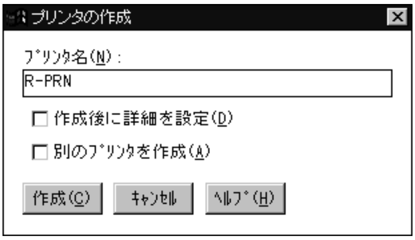
11 プリンターを作成します。

❶ 部門または組織オブジェクトを選び、[オブジェクト] メニューの [作成] をクリックします。

❷ ［オブジェクトクラス］ボックスの「プリンタ」をクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。



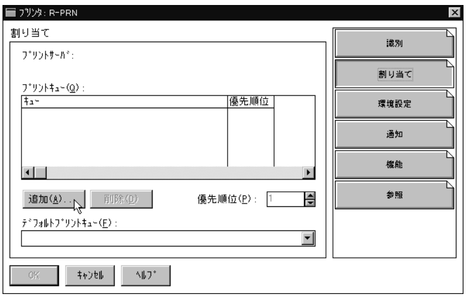
❸ ［プリンタ名］ボックスに、プリンターの名前を入力します。



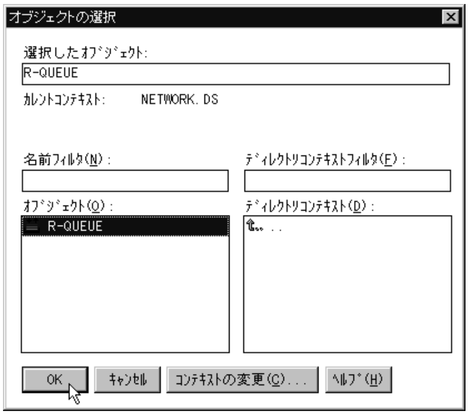
❹ ［作成後に詳細を設定］をクリックして✓印を付け、［作成］をクリックします。

⑫ 作成したプリンターにプリントキューを割り当てます。

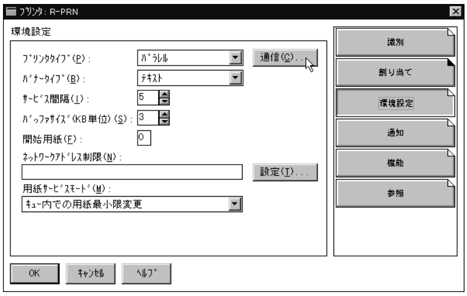
❶ ［割り当て］をクリックし、［割り当て］グループの［追加］をクリックします。



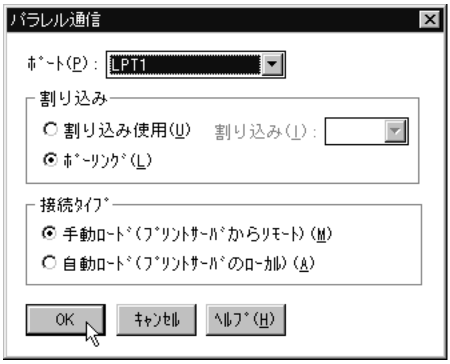
❷ ［オブジェクト］ボックスで手順⑩で作成したキューをクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。



❸ ［環境設定］をクリックし、［プリンタタイプ］ボックスのドロップダウンメニューから「パラレル」を選び、［通信］をクリックします。



❹ ［接続タイプ］グループの［手動ロード］をクリックし、［OK］をクリックします。



❺ 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

5

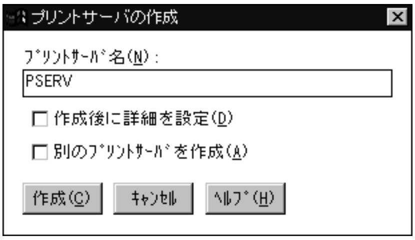
13 プリントサーバを作成します。

❶ 部門または組織オブジェクトを選び、［オブジェクト］メニューの［作成］をクリックします。

❷ ［オブジェクトクラス］ボックスの「プリントサーバ」をクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。



❸ ［プリントサーバ名］ボックスに、プリントサーバの名前を入力します。



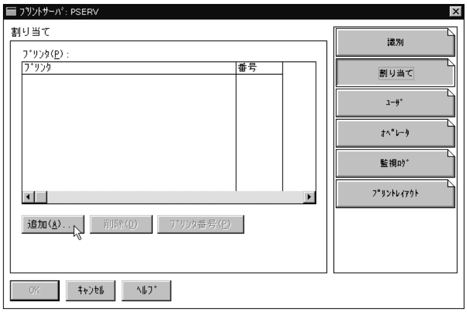
重要

❒ Ridoc IO Adminで設定したプリントサーバ名（手順7-❶）と一致させてください。

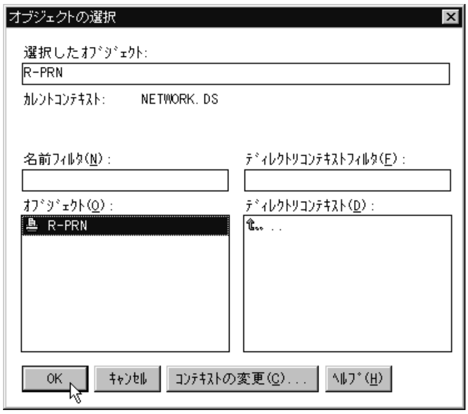
❹ ［作成後に詳細を設定］をクリックして✓印を付け、［作成］をクリックします。

14 作成したプリントサーバにプリンターを割り当てます。

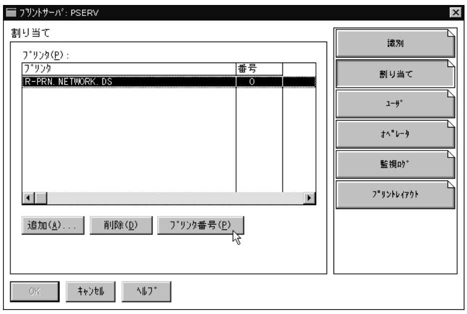
❶ ［割り当て］をクリックし、［割り当て］グループの［追加］をクリックします。



❷ ［オブジェクト］ボックスで手順11で作成したプリンターをクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。



❸ ［プリンタ］グループで手順❷で割り当てたプリンターをクリックして反転表示させ、［プリンタ番号］をクリックします。



❹ **プリンタ番号を入力し、[OK]をクリックします。**



重要

❒ Ridoc IO Adminで設定したリモートプリンタ番号(手順7-❺)と一致させてください。

❺ **設定内容を確認し、[OK]をクリックします。**

15 **NetWareサーバのコンソールから次のように入力してプリントサーバを起動します。**

すでに起動しているときは、いったん停止させてから起動します。

❖ **停止する**

```
CAREE: unload pserver
```

❖ **起動する**

```
CAREE: load pserver
```

5

クライアント側のセットアップ

NetWare のプリントサーバを使用した場合のクライアント側のセットアップ方法を説明します。

補足

- ❒ Nobell ClientはOSに付属のバージョンまたは、最新のバージョンをお使いください。
- ❒ ここでの説明はクライアントに NetWare クライアントソフトウェアがインストールされ、NetWareのサーバと正しく通信できる環境に設定されていることを前提にしています。
- ❒ 操作例は次の条件で設定しています。
  - NetWareのバージョン…4.1J
  - ファイルサーバの名前…CAREE
  - キューの名前…R-QUEUE

5

Windows 95/98/Me

プリンタードライバーをインストールしたあと、印刷先のポートを NetWare のキューに変更します。

操作の前に

NetWare のファイルサーバにログインした状態で操作してください。

1 **印刷するプリンターのプリンタードライバーを、「ローカルプリンタ」としてインストールします。**

参照

インストール方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

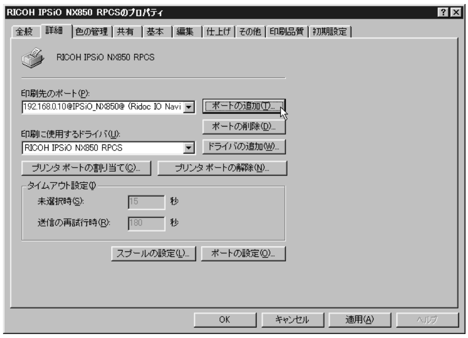
補足

- ❒ インストールの途中でプリンターが使用するポートを選択しますが、どのポートを選んでもかまいません。通常は「LPT1」を選んでください。

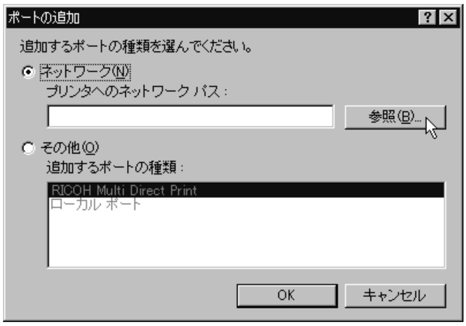
2 **［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。**

3 **［プリンタ］ウィンドウで、印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**

4 **［詳細］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。**



5 **［ネットワーク］をクリックし、［参照］をクリックします。**



6 ネットワークツリー上で、NetWareのファイルサーバの名前をダブルクリックします。

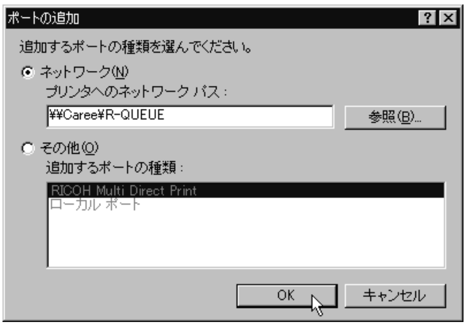


作成されているキューが展開されます。

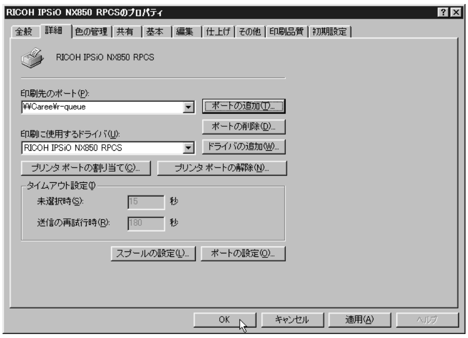
7 印刷するキューをクリックして反転表示させ、[OK］をクリックします。



8 [OK］をクリックします。



[印刷先のポート]ボックスに、プリンターへのネットワークパスが入力されます。



9 [OK］をクリックしてプリンターのプロパティを閉じたあと、もう一度プリンターのプロパティを開きます。

10 [ポートの割り当て］タブをクリックします。

11 [ジョブ後に用紙を送る］と［見出しページ］のチェックを両方とも外します。



補足

❒ Windows のプリンタードライバーで改ページの制御を行っているので、フォームフィード（用紙送り）をNetWare上で設定する必要はありません。設定していると正しく印刷できない場合があります。

5

PostScript印刷するとき

PostScript 3を含んだモジュールを使ってPostScript 印刷するときは、次の設定をします。

❶［PostScript］タブをクリックします。

❷［詳細］をクリックします。



❸［ジョブの前に Ctrl+D を送信する］と［ジョブの後に Ctrl+D を送信する］のチェックを両方とも外し、［OK］をクリックします。



12 ［OK］をクリックし、プロパティを閉じます。

DOS

DOS のアプリケーションから印刷する場合は、印刷の前にCAPTUREコマンドを使って、LPT1ポートをネットワークプリンターにリダイレクトしておきます。

```
F:> CAPTURE /S=FSERV /Q=R-QUEUE /NB
```

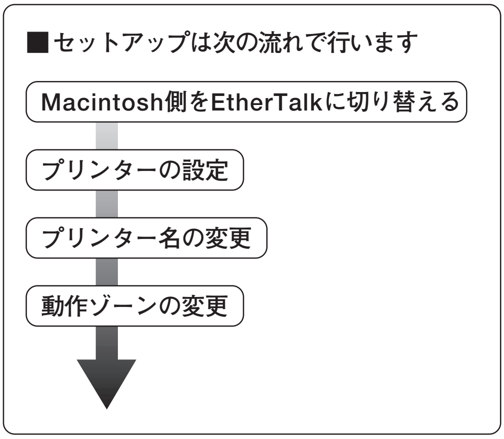
- /S で NetWare のファイルサーバを、/Q でキューを指定します。
- /NB　はバナーを付けないためのオプションです。

リダイレクト後にDOSのアプリケーションから印刷を実行すると NetWare のキューに印刷データが送られ、ネットワークプリンターで印刷されます。

6. Macintoshで使う

セットアップ

MacintoshのEtherTalk環境でネットワークプリンターを使用する場合の設定のしかたを説明します。Macintoshの操作方法は使用しているOSのバージョンによって多少異なります。ここではMac OS 9.1、またはMac OS X 10.1をを例に説明します。その他のバージョンをお使いの方は、本書の説明内容を参考に、それぞれのマニュアルを参照して設定してください。



制限

- ❒ 対象となるMac OSのバージョンは8.6以上、Mac OS Xのバージョンはv10.1以上です。
- ❒ Macintoshから印刷するにはPostScript 3を含むモジュール（オプション）がプリンターに増設されている必要があります。
- ❒ Macintoshで使用するためには、PostScript 3を含むモジュールに同梱のCD-ROMに収録されている、Adobe PSプリンタードライバーが必要です。

EtherTalkへの切り替え

EtherTalkを使用するには、次の手順でネットワークの接続方式を切り替えます。

参照

EtherTalkに必要なソフトウェアのインストールについて詳しくは、Macintoshのマニュアルを参照してください。

Mac OSの場合

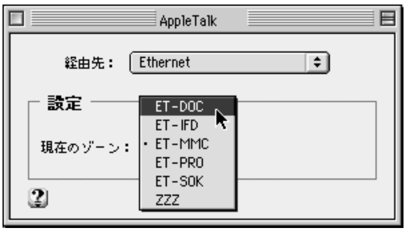
1 ［コントロールパネル］を開き、［AppleTalk］アイコンをダブルクリックします。



2 ［経由先］ポップアップメニューから「Ethernet」を選択します。



3 ゾーンを変更するときは、［現在のゾーン］ポップアップメニューから使用するゾーンの名前を選択します。



4 ［AppleTalk］コントロールパネルを閉じます。

5 Macintoshを再起動します。

Mac OS Xの場合

補足

- ❒ 一般ユーザーの場合、ゾーンの変更にはユーザ名とパスワードが必要です。管理者にお問い合わせください。

1 ［System Preference］を開き、［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。



2 ［AppleTalk］タブをクリックします。

3 ゾーンを変更する場合には、［AppleTalk ゾーン :］ポップアップメニューから使用するゾーンの名前を選択します。

4 設定が完了したら、［今すぐ適用］をクリックしてください。



プリンターの設定

プリンター側でAppleTalkプロトコルを有効にします（工場出荷時は有効です）。

参照

設定方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

プリンター名の変更

同じネットワーク上に同機種のプリンターを複数台接続するときは、必ずプリンター名を変更してください。同じプリンター名があると、Macintoshの［セレクタ］上ではPRINTER0、PRINTER1のようにプリンター名の後に「0」「1」などの番号が付いて表示されます。MacintoshのEtherTalk環境でプリンター名を変更するには、PostScript 3を含んだモジュールに付属の「PS3設定ユーティリティ」を使用します。

参照

プリンター名の変更のしかたについて詳しくは、PostScript 3を含んだモジュールに付属の使用説明書を参照してください。

ゾーンの変更

ネットワーク上にゾーンを設定している場合は、必要に応じてプリンターが所属するゾーンを変更します。

ゾーンを変更するには、PostScript 3を含んだモジュールに付属の「PS3設定ユーティリティ」を使用します。

参照

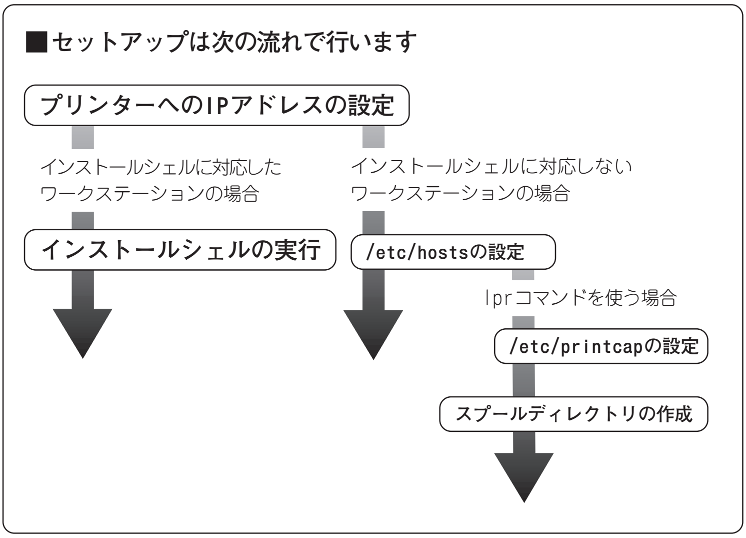
ゾーンの変更のしかたについて詳しくは、PostScript 3を含んだモジュールに付属の使用説明書を参照してください。

7. UNIXで使う

UNIX でネットワークプリンターを使用する場合のセットアップとプリンターの状態表示のしかたを説明します。

セットアップ

セットアップの作業を簡単に行えるようにインストールシェルが用意されています。インストールシェルは通常のリモートプリンターのセットアップ作業（/etc/hostsの設定、/etc/printcapの設定、スプールディレクトリの作成）をシェルスクリプトにより自動化して行います。



操作の前に

インストールシェルは次の 6 種類のワークステーションに対応しています。これ以外のワークステーションの場合はインストールシェルを使わないでセットアップしてください。

- SunOS 4.x.x
- Solaris 2.x (SunOS 5.x)、Solaris7、Solaris8
- HP-UX 8.07、9.x、10.x、11.x
- RedHat Linux 5.2、6.2、7、7.1
- UnixWare 7.1.1
- OpenServer 5.06

RedHat7.1以降では、インストール時のセキュリティ設定によりrsh/telnetが使用できないことがあります。セキュリティレベルをrsh/telnetで使用できるレベルに変更しておいてください。変更方法についてはRedHatの使用説明書を参照してください。

NIS(Network Information Service)やDNSを使用している場合は、あらかじめサーバ側の設定をしてからインストールシェルを実行してください。

付属のプリンター設定ツールでも同様の設定ができるものがあります。それらを使用するときは各ツールのマニュアルを参照してください。

IPアドレスの設定

操作の前に

あらかじめプリンターのネットワーク環境を設定しておきます。

- TCP/IPプロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）。
- IPアドレスなどTCP/IPに関する項目を設定する。

参照

ネットワーク環境の設定方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

IPアドレスの確認

IPアドレスを設定したら正しく設定されたかどうかワークステーション側から確認してください。

1 次のように入力して確認します。（プリンターのIPアドレスが192.168.15.16の場合）

```
# ping 192.168.15.16
```

正しく設定されていると次のように表示されます。

```
192.168.15.16 is alive
```

間違って設定されていると次のように表示されます。

```
no answer from 192.168.15.16
```

補足

- ❒ NISを使用している場合はマスターサーバ上の/etc/hostsに、DNSを使用している場合はネームサーバ上のデータファイルにIPアドレスとホスト名を追加します。追加後、ホスト名を使って正しく設定されたか確認してください。

  ```
  # ping ホスト名
  ```

- ❒ サーバに登録したホスト名はIPアドレスの代わりに使用できます。

インストールシェルの実行

プリンターにIPアドレスを設定したら、インストールシェルを使ってワークステーションの印刷環境をセットアップします。

補足

- ❒ インストールシェルはftpを使ってプリンターから取り出します。

1 プリンターを使用するワークステーションにrootでログインします。

補足

- ❒ rootでログインしないとインストールシェルが起動しません。

2 インストールシェルをプリンターから取り出します。

❶ インストールシェルをコピーするディレクトリに移動します。

❷ ftpコマンドで、設定したIPアドレスに接続します。

```
# ftp 192.168.15.16
Connected to 192.168.15.16
220 printer FTP server ready.
Name (192.168.15.16:root:)
```

❸ ユーザー名の入力待ち画面では何も入力しないでReturnキーを押します。

```
331 Password required for root.
Password:
```

❹ パスワードの入力待ち画面では何も入力しないでReturnキーを押します。

```
230 User root logged in.
ftp>
```

❺ インストールシェルを取り出します。

```
ftp> get install
```

❻ ftpを終了します。

```
ftp> bye
221 Goodbye.
#
```

3 インストールシェルを起動します。

```
# sh ./install
```

補足

- ❒ カレントディレクトリであることを示すピリオド(.)を付けてください。

4 使用しているOSを数字で指定します。

```
Network printer install shell
 Copyright RICOH CO.,LTD. 1994-2000
 Select your workstation OS type.
  1. SunOS 4.x.x
  2. Solaris 2.x, Solaris 7-8(SunOS5.x)
  3. HP-UX
  4. UnixWare
  5. Linux
  6. OpenServer
  7. Quit
Enter <1-7>:
1
```

補足

- 「7」を指定するとインストールシェルは終了します。

5 プリンターのIPアドレスを入力します。

```
Enter Printer host IP address <xxx.xxx.xxx.xxx> [return=skip]:
192.168.15.16
```

補足

- ここで入力したIPアドレスが/etc/hostsに設定されます。⇒ P.105「/etc/hostsへのIPアドレスとホスト名の追加」
- すでにプリンターのホスト名が登録されているときは、何も入力しないで**Return**キーを押します。このとき/etc/hostsには何も追加されません。

7

6 プリンターのホスト名を入力します。

```
Enter Printer host name :
ricoh
```

補足

- ここで入力した名前が/etc/hostsと/etc/printcapに設定されます。ただし、手順**5**でIPアドレスを入力しなかったとき、/etc/hostsには何も追加されません。

7 プリンターの名前を設定します。

そのまま**Return**キーを押すと「default」に表示されている名前に設定されます。この名前を変更したいときは新しい名前を入力します。

補足

- ここで入力した名前が/etc/printcapに設定されます。⇒ P.106「/etc/printcapへのエントリーの追加」
- 「default」には手順**6**で入力したホスト名に_prnを付けた名前が表示されます。手順**6**でホスト名を入力しなかったときはricoh_prnと表示されます。

8 印刷時のオプションを指定します。

オプションを指定しないときはそのまま**Return**キーを押します。

```
Enter remote printer name [default lp]:
filetype=R00
hosts file is modified
#
```

インストールシェルによるセットアップが終了します。

参照

指定できるオプションについて詳しくは、P.111「オプション指定」を参照してください。

補足

- ❒ ここでオプションを指定すると、入力した文字列が/etc/printcapのrpケーパビリティに設定されます（⇒ P.105）。lprで印刷すると、このオプションを使って印刷されます。
- ❒ 同じプリンターに対して異なるオプションを指定して印刷するときは、インストールシェルをもう一度実行し、オプションごとにエントリーを作成してください。

9 テスト印刷してみます。

```
# lpr -Pricoh_prn ファイル名
```

インストールシェルの実行結果

インストールシェルを実行すると印刷環境が自動的にセットアップされます。

ここでは、SunOS 4.xでインストールシェルを実行した場合にセットアップされる内容について説明します。

補足

- ❒ インストールシェルを使わないでセットアップする場合は、ここでの説明を参考に各ワークステーションのマニュアルを参照してください。

/etc/hostsへのIPアドレスとホスト名の追加

/etc/hostsに次の行が追加されます。

```
192.168.15.16   ricoh  # Network Printer
```

- 192.168.15.16はプリンターのIPアドレス、ricohはプリンターのホスト名、#から行末まではコメントです。

補足

- ❒ /etc/hosts はネットワーク内で通信するすべてのホストの IP アドレスとホスト名を登録するファイルです。それぞれの項目はスペースかタブで区切られ、1行で入力されます。
- ❒ NIS や DNS を使用していない場合は、ネットワークプリンターを使用するすべてのワークステーション上の/etc/hostsに追加が必要です。

7

/etc/printcapへのエントリーの追加

/etc/printcapに次のエントリーが追加されます。

これは lpr コマンドを使って印刷するための設定です。lpr コマンドを使って印刷するには、/etc/hosts ファイルの設定に加え、/etc/printcapにネットワークプリンターのためのエントリーを追加し、スプールディレクトリを作成する必要があります。

```
ricoh_prn|Ricoh Network Printer:/
        :rm=ricoh:/
        :rp=filetype=R00:/
        :sd=/usr/spool/ricoh_prnd:/
        :lf=/usr/adm/ricoh_prnd-errs:/
        :mx#0:
```

補足

- /etc/printcap はプリンターの名前や属性を登録するファイルです。ネットワークプリンターを使用するすべてのワークステーションの/etc/printacapに、ネットワークプリンターのためのエントリーが必要です。
- 同じプリンターに対し異なるオプションを指定して印刷するときは、オプションごとにエントリーを作成してください。
- 1つのエントリーはコロン（：）で複数のフィールドに区切られています。読みやすくするために途中に改行を入れることができ、その場合は改行の前にバックスラッシュ（\）を入力します。
- 1行目のフィールドはプリンターの名前です。ワークステーションからネットワークプリンターを指定するときに、この名前を使います。名前を「|」で区切ることにより複数の名前を定義できます。
- 2行目以降のフィールドはプリンターの属性です。プリンターの属性はケーパビリティと呼ばれる2文字の名前で表されます。ケーパビリティについて詳しくは、次の表を参照してください。

ケーパビリティ	説明	ネットワークプリンターのための設定値
lp	プリンターのデバイス名	何も指定しない
rm	プリンターのホスト名	/etc/hostsに登録したホスト名
rp	オプション指定	印刷時のオプションを指定します。指定できるオプションについて詳しくは、P.111「オプション指定」を参照してください。
sd	スプールディレクトリのパス名	作成するスプールディレクトリのパス名
lf	ログファイル名のパス名	ログを格納するファイルのパス名 たとえば/usr/adm/lpd-errs
mx	スプールディレクトリにコピー可能なファイルの最大サイズ。0を指定すると無制限、指定しないと1024kバイト。	指定しない、または適当な値

スプールディレクトリの作成

/usr/spool/ディレクトリにスプールディレクトリが作成されます。名前はプリンターの名前の最後にdを付けた名前です。

補足

- スプールディレクトリは、印刷を行うデータファイルの一時的なコピーが作成されるなど、印刷ジョブを制御するために使われます。ネットワークプリンターを使用するすべてのワークステーション上に、ネットワークプリンターのためのスプールディレクトリが必要です。
- スプールディレクトリは/etc/printcapに書き込まれたネットワークプリンターのエントリーごとに作成します。
- スプールディレクトリは通常/usr/spoolの下に作成します。スプールディレクトリは、/etc/printcapの中のsdケーパビリティで指定したパス名と一致させ、オーナーとグループをdaemon、許可モードを775に設定します。以下はスプールディレクトリとして/usr/spool/ricoh_prndを作成するときのコマンド入力例です。

```
# cd /usr/spool
# mkdir ricoh_prnd
# chown daemon ricoh_prnd
# chgrp daemon ricoh_prnd
# chmod 775 ricoh_prnd
```

ログファイルの作成

/usr/adm ディレクトリにエラーのログファイルが作成されます。名前はプリンターの名前の最後にd-errsを付けた名前です。

7

印刷方法

使用しているワークステーションに応じ、以下のようにコマンド入力します。

❖ BSD系UNIXワークステーションの場合

% lpr -Pプリンターの名前 ファイル名［ファイル名...］

名前がricoh_prnのプリンターに、名前がfile1とfile2のファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
% lpr -Pricoh_prn file1 file2
```

❖ Solaris、HP-UXの場合

% lp -dプリンターの名前 ファイル名［ファイル名...］

名前がricoh_prnのプリンターに、名前がfile1とfile2のファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
% lp -dricoh_prn file1 file2
```

補足

- ❒ プリンターの名前は、インストールシェル実行時に入力したプリンターの名前です。
- ❒ ファイル名には「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。
- ❒ 印刷するファイルのデータ形式とプリンターのエミュレーションモードを合わせてください。テキストデータの場合はRPDLなどテキスト印刷が可能なモードにします。
- ❒ タブコードや漢字コードがプリンターと合っていないと正常に印刷されません。タブ制御や漢字での印刷を行う場合は、使用するエミュレーションモードとデータの設定を一致させてください。
- ❒「print requests full 」のメッセージが表示されたときは、印刷要求が最大の状態です。（最大5 セッション、スプール設定機能がONの場合最大10セッション。）印刷要求が4 セッション（スプール設定機能がONの場合9セッション）以下になってから印刷し直してください。
- ❒ 搭載メモリーの増減によるセッション数の変化はありません。

7

rsh、rcp、ftpコマンドによる印刷

rsh、rcp、ftpコマンドを使って印刷することもできます。

制限

- ❒ OpenServer 5.06以上では、rshコマンドをrcmdコマンドと読み替えてください。

補足

- ❒ 印刷するファイルのデータ形式とプリンターのエミュレーションモードを合わせてください。テキストデータの場合はRPDLなどテキスト印刷が可能なモードにします。
- ❒ タブコードや漢字コードがプリンターと合っていないと正常に印刷されません。タブ制御や漢字での印刷を行う場合は、使用するエミュレーションモードとデータの設定を一致させてください。
- ❒「print requests full」のメッセージが表示されたときは、印刷要求が最大の状態です（最大1セッション）。印刷要求が終了してから印刷し直してください。
- ❒ 本機の搭載メモリー量によって接続数が異なります。rcpコマンドは工場出荷時1、メモリー増設時は5です。ftpコマンドは工場出荷時1、メモリー増設時は3です。

rsh

```
% rsh プリンターのホスト名 print ［オプション］ < ファイル名 ［ファイル名...］
```

補足

- ❒ プリンターのホスト名は、インストールシェル実行時に入力したプリンターのホスト名です。
- ❒ オプションは、プリンター固有のものを指定できます。詳しくはP.111「オプション指定」を参照してください。

7

rcp

❖ ファイルを指定して印刷する場合

```
% rcp ファイル名 ［ファイル名...］ プリンターのホスト名：［オプション］
```

❖ ディレクトリすべてのファイルを印刷する場合

```
% rcp -r ディレクトリ名 プリンターのホスト名：［オプション］
```

補足

- ❒ プリンターのホスト名は、インストールシェル実行時に入力したプリンターのホスト名です。
- ❒ オプションは、プリンター固有のものを指定できます。詳しくはP.111「オプション指定」を参照してください。
- ❒ ファイル名には「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。

ftp

印刷するファイル数に応じてputまたはmputコマンドを使います。

制限

- ファイル名に「=」、「,」、「;」および「_」は使用できません。ファイル名をオプション文字列と判断してしまいます。

❖ 印刷するファイルが1つの場合

```
ftp> put ファイル名 [オプション]
```

❖ 印刷するファイルが複数の場合

```
ftp> mput ファイル名 [ファイル名...]
```

制限

- mputコマンドではオプションを指定できません。

補足

- mputコマンドではファイル名に「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。
- バイナリーファイルを印刷する場合は、-bオプションを付けて下さい。

ftpを起動してから印刷するまでの手順は次のようになります。

1 プリンターのIPアドレス（またはホスト名）を引数にしてftpコマンドを起動します。

```
% ftp プリンターのIPアドレス
```

7

補足

- ホスト名はインストールシェル実行時に入力したプリンターのホスト名です。

2 必要に応じてユーザー名を入力し、パスワードは何も入力しないでReturnキーを押します。

```
Name:
Password:
```

3 バイナリーファイルを印刷するときはファイルのモードをバイナリーモードにします。

```
ftp> bin
```

補足

- バイナリーファイルをアスキーモードで印刷すると、印刷データが変更され正しく印刷されないことがあります。

4 印刷するファイルを指定します。

補足

- file1という名前のファイルをRPDLで印刷する例

  ```
  ftp> put file1 filetype=R00
  ```

- file1とfile2という名前のファイルを印刷する例

  ```
  ftp> mput file1 file2
  ```

5 ftpを終了します。

```
ftp> bye
```

オプション指定

以下に示すオプションを使うことにより、プリンター固有の機能を使った印刷ができます。

制限

- プリンターが認識できるオプション文字列は最大512バイトです。PostScript3をご使用の場合のオプション文字列は最大256バイトです。
- OSによってはオプションとして入力できる文字数に制限があります。オプションの省略形を使っても文字数の制限を超えてしまう場合は、プリンターのプログラム登録を使ってください。
- Solaris2.6以上でオプションを指定するときは、イコール（=）の代わりにアンダーライン（_）を使用します。複数のオプションを指定するときはカンマ(,)の代わりにセミコロン(;)を使用します。
- Solaris2.6以上でオプションを指定するときは、各コマンドで指定できるオプション数が異なります。
    - rsh/rcp：1
    - lpr/ftp：文字列制限の範囲内で複数指定可能

補足

- 複数のオプションを指定するときはカンマ(,)で区切って入力します。
- 印刷するファイルの中にオプション指定を制御するコマンドが含まれている場合は、その内容が優先します。
- lprで印刷するときのオプションはインストールシェル実行時に入力します。一度設定したオプションを変更する方法について詳しくは、P.119「オプション指定の変更方法」を参照してください。
- イコール(=)を含まないオプションを単独で指定するときは、オプションの先頭にカンマ(,)を追加します。

7

エミュレーションとプログラム

印刷時に使用するエミュレーションまたはプログラムを指定します。

filetype（またはfil）=エミュレーションの指定値（またはプログラム登録番号の指定値）

エミュレーション	RPCS	RPDL	R98	R16	R55	RP-GL/2	PostScript 3
指定値	RCS	R00	R98	R16	R55	RGL	RPS/POSTSCRIPT

*搭載していないエミュレーションは指定しても無効です。

プログラム登録番号	プログラム1	プログラム2	プログラム3	プログラム4	プログラム5	プログラム6	プログラム7	プログラム8
指定値	P01	P02	P03	P04	P05	P06	P07	P08
プログラム登録番号	プログラム9	プログラム10	プログラム11	プログラム12	プログラム13	プログラム14	プログラム15	プログラム16
指定値	P09	P10	P11	P12	P13	P14	P15	P16

PostScript 3で印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

<rsh>　% rsh ricoh print filetype=RPS < file1

<rcp>　% rcp file1 ricoh:filetype=RPS

<ftp>　ftp> put file1 filetype=RPS

7

ftpのcdコマンドの利用

ftpで印刷する場合は、cdコマンドでオプションを指定しておけば、putまたはmputコマンド使用時にそのオプションが有効になります。

ftp> cd オプション

補足

- 現在設定されているオプションを表示するにはpwdコマンドを使います。

  ftp> pwd

漢字フィルター

漢字フィルターを使用すると、作成したテキストファイルと同じ漢字コードで印刷できます。

制限

- ❒ エミュレーションがRPDLのときだけ有効です。漢字フィルターを指定するときはエミュレーションとしてRPDL（filetype=R00）を指定します。

filter（またはflt）=漢字コードの指定値

漢字コード	EUC	JIS	シフトJIS
指定値（省略値）	EUC(E)	JIS(J)	SJIS(S)

EUC 漢字コードのテキストファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

<rsh>　% rsh ricoh print filetype=R00,filter=EUC < file1

<rcp>　% rcp file1 ricoh:filetype=R00,filter=EUC

<ftp>　ftp> put file1 filetype=R00,filter=EUC

給紙トレイ

給紙トレイを指定します。

制限

- ❒ PostScript 3またはエミュレーションがRPDLのときだけ有効です。
- ❒ 増設していないトレイを指定しても無効です。

❖ RPDL

tray=給紙トレイの指定値

給紙トレイ	給紙トレイ1	給紙トレイ2	給紙トレイ3	手差しトレイ *1
指定値	1	2	3	4

*1　増設トレイの数で指定値が異なります。デフォルトは「2」です。

補足

- ❒ 給紙トレイの指定値はプリンター情報（例:ftpのget info -）で得られる給紙トレイ番号に対応しています。
- ❒ プリンター情報はX Window SystemをRedHat Linux 6.2で起動した場合、次の手順で見ることができます。
  - ① コンソールを使用できるようにします。
  - ② ftp （本機のIPアドレス）」と入力し、Returnキーを押します。
  - ③ Returnキーを2回押します。
  - ④「get info -」と入力し、Returnキーを押します。
    機器情報が表示されます。
  - ⑤「bye」と入力し、Returnキーを押します。
  - ⑥「exit」と入力し、Returnキーを押します。
    ワークステーションの画面に戻ります。

給紙トレイ2の用紙に印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。(プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1)

<rsh>　% rsh ricoh print tray=2 < file1

<rcp>　% rcp file1 ricoh:tray=2

<ftp>　ftp> put file1 tray=2

❖ PostScript 3

tray=給紙トレイの指定値

給紙トレイ	給紙トレイ1	給紙トレイ2	給紙トレイ3	手差しトレイ（マルチ）	自動トレイ選択
指定値	tray1	tray2	tray3	bypass	all

トレイ2の用紙に印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。(プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1)

<rsh>　% rsh ricoh print tray=tray2 < file1

<rcp>　% rcp file1 ricoh:tray=tray2

<ftp>　ftp> put file1 tray=tray2

用紙サイズ

用紙サイズを指定します。

制限

❒ 存在しない用紙サイズは指定しても無効です。

❖ PostScript 3

paper=用紙サイズの指定値

指定値
a3（A3）,a4（A4）,a5（A5）,a6（A6）,jisb4（B4）,jisb5（B5）,jisb6（B6）,ledger（11×17）,letter（8 1/2×11）,halfletter（5 1/2×8 1/2）,legal（8 1/2×14）,jpost（はがき）,custom（不定形サイズ）

A3の用紙に印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。(プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1)

<rsh>　% rsh ricoh print paper=a3 < file1

<rcp>　% rcp file1 ricoh:paper=a3

<ftp>　ftp> put file1 paper=a3

❖ RPDL

paper＝用紙サイズの指定値

指定値	紙サイズ
a3r	A3▯
a3x	A3▯
a4r	A4▯
a4	A4▭
a4x	A4▯またはA4▭
a5r	A5▯
a5	A5▭
a5x	A5▯またはA5▭
a6rまたはa6	A6▯
a6x	A6▯
b4r	B4▯
b4x	B4▯
b5r	B5▯
b5	B5▭
b5x	B5▯またはB5▭
b6rまたはb6	B6▯
b6x	B6▯
pcr	ハガキ▯
pcx	ハガキ▯
dlrまたはdlt	11×17▯
dlx	11×17▯
lgrまたはlg	8 1/2×14▯
lgx	8 1/2×14▯
ltr	8 1/2×11▯
lt	8 1/2×11▭
ltx	8 1/2×11▯または8 1/2×11横
hlr	5 1/2×8 1/2▯
hlt	5 1/2×8 1/2▭
hlx	5 1/2×8 1/2▯または5 1/2×8 1/2▭

A4の用紙に印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。(プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1)

<rsh>　% rsh ricoh print paper-name=a4 < file1

<rcp>　% rcp file1 ricoh:paper-name=a4

<ftp>　ftp> put file1 paper-name=a4

7

用紙種類

用紙の種類を指定します。

制限

- ❒ PostScript 3のときだけ有効です。
- ❒ 存在しない用紙種類は指定しても無効です。

mediatype=用紙種類の指定値

指定値
plain（普通紙）,letterhead（レターヘッド付き用紙）,transparency（OHP フィルム）,labels（ラベル）,recycled（再生紙）,color（色紙）,special（特殊紙）,thick（厚紙）

再生紙の用紙に印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

<rsh>　% rsh ricoh print mediatype=recycled < file1

<rcp>　% rcp file1 ricoh:mediatype=recycled

<ftp>　ftp> put file1 mediatype=recycled

排紙トレイ

排紙トレイを指定します。

7

制限

- ❒ PostScript 3またはエミュレーションがRPDLのときだけ有効です。
- ❒ 存在しないトレイは指定しても無効です。

❖ RPDL

bin=排紙トレイの指定値

排紙トレイ番号2のトレイに排紙する場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

<rsh>　% rsh ricoh print bin=2 < file1

<rcp>　% rcp file1 ricoh:bin=2

<ftp>　ftp> put file1 bin=2

補足

- ❒ 排紙トレイの指定値はプリンター情報（例:ftpのget info -）で得られる排紙トレイ番号に対応しています。
- ❒ プリンター情報はX Window SystemをRedHat Linux 6.2で起動した場合、次の手順で見ることができます。
  1. コンソールを使用できるようにします。
  2. ftp （本機のIPアドレス）」と入力し、Returnキーを押します。
  3. Returnキーを2回押します。
  4. 「get info -」と入力し、Returnキーを押します。
     機器情報が表示されます。
  5. 「bye」と入力し、Returnキーを押します。
  6. 「exit」と入力し、Returnキーを押します。
     ワークステーションの画面に戻ります。

❒ 排紙トレイ番号以外にアルファベットで指定することもできます。詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

❖ PostScript 3

outbin=排紙トレイの指定値

排紙トレイ	本体排紙トレイ	1ビンプリントポスト上トレイ	4ビンプリントポスト上トレイ1～4
指定値	upper/ optionaloutputbin1	inner	optionaloutputbin2～5

本体上トレイに排紙する場合のコマンド例は次のとおりです（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）。

<rsh>　% rsh ricoh print outbin=inner < file1

<rcp>　% rcp file1 ricoh:outbin=inner

<ftp>　ftp> put file1 outbin=inner

印刷部数

印刷部数を指定します。

制限

❒ PostScript 3またはエミュレーションがRPDLのときだけ有効です。

❒ 漢字フィルターを指定すると、印刷部数の指定は無効になります。

❒ PostScript 3の場合、「qty」と同時に指定しないでください。

copies=印刷部数（1～999）

10部印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

<rsh>　% rsh ricoh print copies=10 < file1

<rcp>　% rcp file1 ricoh:copies=10

<ftp>　ftp> put file1 copies=10

ソート部数

ソートする印刷部数を指定します。

制限

❒ PostScript 3のときだけ有効です。

❒「copies」と同時に指定しないでください。

qty=ソート部数（1～999）

10部ソートして印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

<rsh>　% rsh ricoh print qty=10 < file1

<rcp>　% rcp file1 ricoh:qty=10

<ftp>　ftp> put file1 qty=10

両面印刷

両面印刷と綴じ方向を指定します。

制限

- ❒ PostScript 3またはエミュレーションがRPDLのときだけ有効です。
- ❒ プリンター側にオプションの両面ユニットが必要です。

❖ RPDL

補足

- ❒ 印刷オプションに漢字フィルターを指定している場合、両面印刷されないことがあります。このようなときは、漢字フィルターの指定をしないでください。

bothside または bothleft （左とじ）

bothright （右とじ）

flip （上とじ）

singleside （両面印刷の解除:片面印刷）

補足

- ❒ 印刷データによって印刷したあと両面印刷が解除されないことがあります。次の印刷時にも両面印刷されるときはsinglesideを指定してください。

左とじで両面印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

<rsh>　% rsh ricoh print bothside < file1

<rcp>　% rcp file1 ricoh:bothside

<ftp>　ftp> put file1 bothside

❖ PostScript 3

duplex=on（両面印刷する）

duplex=off（両面印刷しない）

binding=left（両面印刷時の綴じ位置の設定：左）

binding=top（両面印刷時の綴じ位置の設定：上）

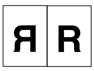
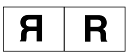
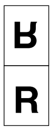
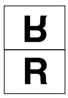
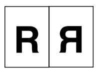
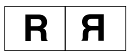
binding=right（両面印刷時の綴じ位置の設定：右）

両面印刷で綴じ位置を長辺にする場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

<rsh>　% rsh ricoh print dupledx=on,binding=left < file1

<rcp>　% rcp file1 ricoh:dupledx=on,binding=left

<ftp>　ftp> put file1 dupledx=on,binding=left

綴じ方向	左綴じ		上綴じ		右綴じ	
印刷方向	Portrait	Landscape	Portrait	Landscape	Portrait	Landscape
綴じ結果						
指定値	left		top		right	

BINDIGI02J

解像度

印刷する解像度を指定します。

制限

❒ PostScript 3のときだけ有効です。

resolution=解像度（1200,600,300）

600dpiで印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>  % rsh ricoh print resolution=600 < file1
<rcp>  % rcp file1 ricoh:resolution=600
<ftp>  ftp> put file1 resolution=600
```

印刷方向

用紙の印刷方向を指定します。

orientation=印刷方向（portrait,landscape）

用紙の方向を指定する場合のコマンド例は次のとおりです。（本機のホスト名ricoh、ファイル名file1 ）

```
<rsh>  % rsh ricoh print orientation=portrait < file1
<rcp>  % rcp file1 ricoh:orientation=portrait
<ftp>  ftp> put file1 orientation=portrait
```


オプション指定の変更方法

lprで印刷するときにはインストールシェル実行時に指定したオプションが使われます。一度設定したオプションを変更したい場合は、使用しているワークステーションに応じて次のように操作します。

❖ BSD系UNIXワークステーション

/etc/printcap から修正するプリンターのエントリーを削除し、インストールシェルを使ってもう一度セットアップします（⇒ P.103 「インストールシェルの実行」）。セットアップの際に、新しいオプションを指定します。

または、/etc/printcapから修正するプリンターのエントリーを探し、そのrpケーパビリティを新しいオプション指定に修正します（⇒ P.106 「/etc/printcapへのエントリーの追加」）。

❖ Solaris、HP-UX

修正するプリンターのエントリーを削除し、インストールシェルを使ってもう一度セットアップします（⇒ P.103 「インストールシェルの実行」）。セットアップの際に、新しいオプションを指定します。プリンターのエントリーを削除するには、以下のように操作します。

① スケジューラを停止します。

```
# /usr/sbin/lpshut
```

② プリンターを削除します。

```
# /usr/sbin/lpadmin -x プリンターの名前
```

③ スケジューラを再起動します。

```
# /usr/lib/lp/lpsched
```

プリンターの状態表示

BSD系UNIXワークステーションの場合、以下のコマンドを使ってプリンターの状態や情報を表示したりファイルにコピーしたりすることができます。

表示する場合

lpqコマンドを使ってプリンターの状態（ステータス）とプリントジョブ情報を表示できます。

```
% lpq -Pプリンター名
```

rshコマンドまたはftpを使って、指定したパラメーターに応じた内容を表示できます。

```
% rsh プリンターのホスト名 パラメーター
```

```
% ftp プリンターのホスト名
User: ユーザー名
password:
ftp> get パラメーター -
```

rsh、rcp、ftpで指定できるパラメーターには次の種類があります。

パラメーター	表示またはコピーできる内容	参照先
stat	プリンターの状態（ステータス）	プリンター本体の使用説明書
	印刷ジョブの情報（プリントジョブ情報）	⇒ P.152
info	給紙トレイ、排紙トレイ、搭載しているエミュレーション、および登録しているプログラムの情報（プリンター情報）	プリンター本体の使用説明書
prnlog	これまでに印刷した10件分の記録（プリントログ情報）	⇒ P.153
syslog	ネットワークインターフェースボードに関して発生したメッセージの記録（システムログ情報）	⇒ P.157

ファイルにコピーする場合

rcpコマンドまたはftpを使って、指定したパラメーターに応じた内容をファイルにコピーできます。

補足

❒ パラメーターの種類は表示する場合と同じです。

```
% rcp プリンターのホスト名:パラメーター ファイル名
```

```
% ftp プリンターのホスト名
User: ユーザー名
password:
ftp> get パラメーター ファイル名
```

7

Ridoc IO Admin

Ridoc IO Adminは、TCP/IPプロトコルまたはIPX/SPXプロトコルを使用してネットワーク上のプリンターの状態の監視をしたり、ネットワークインターフェースボードの設定や機器の設定を変更したりすることができます。

補足

❒ 機種によっては使用できない機能があります。

参照

対象OSとプロトコルスタックについて詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

ネットワークインターフェースボードの設定を変更するには

1 **Ridoc IO Adminを起動します。**

2 **[グループ] メニューをクリックし、[機器検索] をポイントし、[TCP/IP] または [IPX/SPX] をクリックします。**

機器の一覧が表示されます。



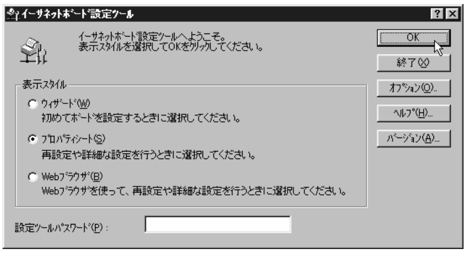
補足

❒ 設定を変更するプリンターが使用しているプロトコルを選択してください。

3 **一覧からネットワークインターフェースボードの設定を変更するプリンターをクリックして反転表示させ、[ツール] メニューの [イーサネットボード設定] を選択します。**



4 **イーサネットボード設定ツールが起動します。**



5 **[ウィザード] または [プロパティシート] を選択し、[次へ] をクリックします。**

- [ウィザード] は、初めてネットワークインターフェースボードの設定をするときに選択します。
- [プロパティシート] は、ネットワークインターフェースボードの設定を変更する場合や詳細な設定を行うときに選択します。

ウィザードを選択した場合

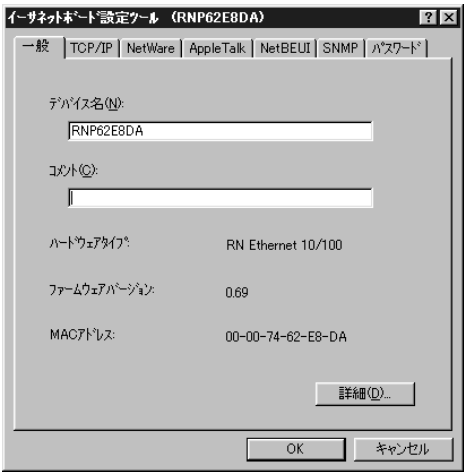
❶ **必要な項目を入力し、[次へ] をクリックします。**



この後の操作はヘルプを参照してください。

プロパティシートを選択した場合

❶ **ダイアログボックスに設定の一覧が表示されます。**



ダイアログボックスの各項目について詳しくは、イーサネットボード設定ツールのヘルプを参照してください。

ユーザー情報を管理するには

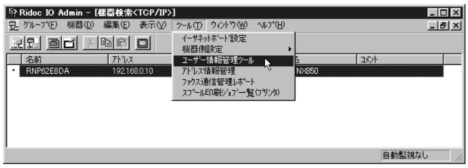
1 **Ridoc IO Adminを起動します。**

2 **[グループ] メニューをクリックし、[機器検索] をポイントし、[TCP/IP] または [IPX/SPX] をクリックします。**

機器の一覧が表示されます。

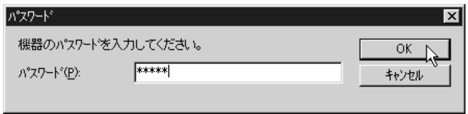


3 **一覧からユーザー情報を管理するプリンターをクリックして反転表示させ、[ツール] メニューの [ユーザー情報管理ツール] を選択します。**



パスワードを入力する画面が表示されます。

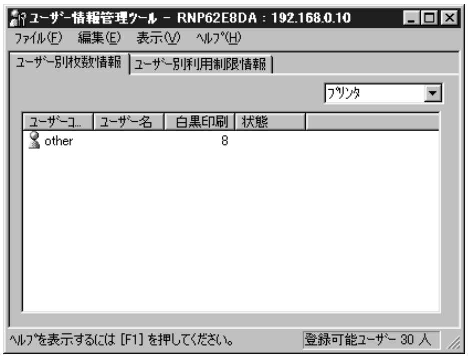
4 **パスワードを入力して[OK]をクリックします。**



補足

❒ 工場出荷時のパスワードは「ricoh」です。

ユーザー情報管理ツールが起動します。



8

ユーザー情報管理ツールについて詳しくは、ユーザー情報管理ツールのヘルプを参照してください。

省エネモードを設定するには

1 **Ridoc IO Adminを起動します。**

2 **［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［TCP/IP］または［IPX/SPX］をクリックします。**

機器の一覧が表示されます。



補足

- ❒ 設定を変更するプリンターが使用しているプロトコルを選択してください。

一覧から省エネモードを設定するプリンターをクリックして反転表示させます。

補足

- ❒ グループ内の機器を全て設定したいときには選択する必要はありません。

3 **［グループ］メニューをクリックし、［省エネモード］をポイントします。**

補足

- ❒ グループ内の機器を全て設定する場合は［グループ機器］を選択します。
- ❒ 選択した機器だけを設定する場合は［選択機器］を選択します。
- ❒ いずれの場合も表示されたメニューから設定したい省エネモードを選択します。

制限

- ❒ ［タイマー設定］は［グループ機器］を選択した場合に、設定できます。

❖ グループ機器の場合



❖ 選択機器の場合



設定値について詳しくは、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。

機器側操作部のメニューをロックする

1 **Ridoc IO Adminを起動します。**

2 **［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［TCP/IP］または［IPX/SPX］をクリックします。**

機器の一覧が表示されます。



3 機器側操作部のメニューをロックしたい機器をクリックして反転表示させ、[ツール]メニューの[機器側設定]をポイントし、[機器側操作部のメニューロック]をクリックします。



Webブラウザが起動して、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

4 ユーザー名とパスワードを入力して[OK]をクリックします。

補足

- ❒ 工場出荷時の設定の場合、ユーザー名は空欄に、パスワードは「ricoh」と入力します。

5 機器側操作部のメニューをロックします。

補足

- ❒ 詳しくは、Webブラウザのヘルプを参照してください。ヘルプはHTMLファイルとしてCD-ROMにも収録されています。

用紙種類を設定する

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 [グループ]メニューをクリックし、[機器検索]をポイントし、[TCP/IP]または[IPX/SPX]をクリックします。

機器の一覧が表示されます。



3 用紙種類を設定したい機器をクリックして反転表示させ、[ツール]メニューの[機器側設定]をポイントし、[用紙種類設定]をクリックします。



Webブラウザが起動して、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

4 ユーザー名とパスワードを入力して[OK]をクリックします。

補足

- ❒ 工場出荷時の設定の場合、ユーザー名は空欄に、パスワードは「ricoh」と入力します。

5 用紙種類を設定します。

補足

- ❒ 詳しくは、Webブラウザのヘルプを参照してください。ヘルプはHTMLファイルとしてCD-ROMにも収録されています。

8

スプール印刷ジョブの一覧を表示する

1 **Ridoc IO Adminを起動します。**

2 **［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［TCP/IP］または［IPX/SPX］をクリックします。**

機器の一覧が表示されます。



3 **スプール印刷ジョブの一覧を表示したい機器をクリックして反転表示させ、［ツール］メニューの［スプール印刷ジョブ一覧プリンタ)］をクリックします。**

4 **ユーザー名とパスワードを入力して［OK］をクリックします。**

補足

- 工場出荷時の設定の場合、ユーザー名は空欄に、パスワードは「ricoh」と入力します。

5 **スプール印刷ジョブの一覧が表示されます。**

補足

- スプール機能は拡張 HDD ボード（オプション）装着時に使用できます。
- スプール印刷ジョブ一覧を表示するためには、スプール機能を有効に設定しておく必要があります。
- 詳しくは、Webブラウザのヘルプを参照してください。ヘルプはHTMLファイルとしてCD-ROMにも収録されています。

8

無線LANを使用する

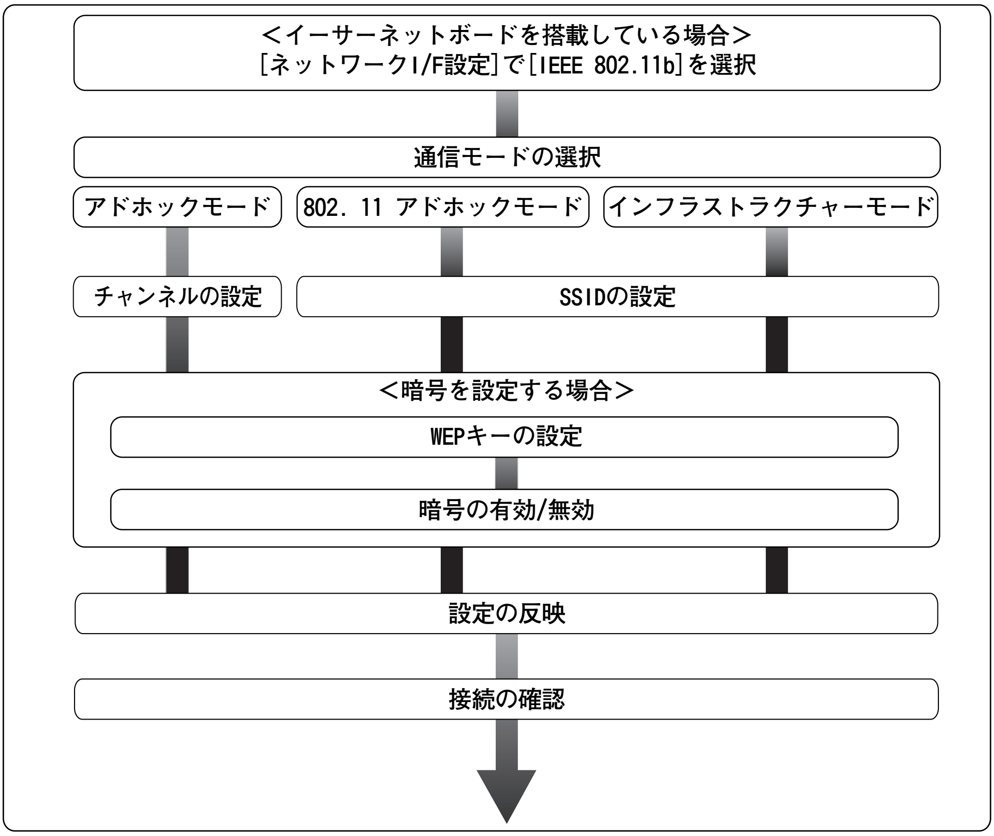
操作の前に

本機のIPアドレスとサブネットマスクを設定してください。プリンターの操作パネルからの設定方法は、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

パソコンに使用する無線LANカードおよびアクセスポイントは、WiFi認定を取得している製品を使用ください。

無線LANセットアップガイド

■ 無線LANのセットアップは次の流れで行います



GPMUSEN-2

補足

- ❒ Windows XP標準のドライバーかユーティリティーを使用してWindows XPの無線LANクライアントと通信する場合、通信モードは「802.11アドホックモード」に設定してください。
- ❒ WEPキーの認証方式については、P.147「無線LANの設定」を参照してください。

インフラストラクチャーモードで使用する

インフラストラクチャーモードは、アクセスポイントと呼ばれる中継機を経由してネットワークと通信を行う方法です。本機のインフラストラクチャーモードの設定は、通常、操作パネルから行いますが、Webブラウザまたはtelnetからも設定できます。

参照

- 本機の操作パネルの設定方法は、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。
- Webブラウザの操作方法は、P.129「Webブラウザを使用する」を参照してください。
- telnetの使用方法は、P.140「telnetによるリモートメンテナンス（mshell）」を参照してください。

重要

- ❒ SSID、WEPキーの設定後に接続できなくなった場合は、それらの設定を確認してみてください。それでも接続できない場合は、本機の操作パネルから［システム初期設定］-［インターフェイス設定］-［IEEE 802.11b］-［設定値初期化］と押して、初期値に戻してください。
- ❒ 無線LANカードやアクセスポイントによっては、WEPキーを複数個設定できる製品があります。その場合、本機に設定したWEPキーと同じキーを1番目に設定してください。

アドホックモードで使用する

アドホックモードは、アクセスポイントを使用せずに各クライアント同士が通信を行う方法です。各クライアントの環境により、SSIDの入力が必要な「802.11アドホックモード」またはSSIDの入力が不要な「アドホックモード」を選択してください。

本機のアドホックモードの設定は、通常、操作パネルから行いますが、Webブラウザまたはtelnetからも設定できます。

参照

- 本機の操作パネルの設定方法は、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。
- Webブラウザの操作方法は、P.129「Webブラウザを使用する」を参照してください。
- telnetの使用方法は、P.140「telnetによるリモートメンテナンス（mshell）」を参照してください。
- 各クライアントの無線LAN機器の設定方法、パソコンの設定方法は、各製品の使用説明書またはネットワーク管理者に確認してください。

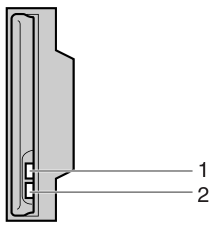
補足

- ❒ パソコンに装着した無線LAN機器によっては、チャンネルが設定できないものがあります。この場合、プリンター側のチャンネルをパソコンで指定されているチャンネルに合わせます。
- ❒ 通信モードの種類が違うアドホックのクライアントが複数台混在している場合、正常に通信できない場合があります。

接続の確認

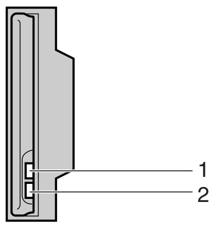
1 無線LANカードのLEDが点灯していることを確認してください。

❖ インフラストラクチャーモードのとき



1. 無線LANカードが有効になって起動していると、オレンジ色に点灯します。プリンタの電源がOnでもIEEE802.11b（無線LAN）が選択されていないと点灯しません。
2. ネットワークに正常に接続していると、緑色に点灯します。LEDが点滅しているときはアクセスポイントを検索中です。

❖ アドホックモード／802.11アドホックモードのとき



1. 無線LANカードが有効になって起動していると、オレンジ色に点灯します。
2. ネットワークに正常に接続していると、緑色に点灯します。LEDが点滅しているときは、通信相手を検索中です。数秒後に点灯に変わります。

2 Webブラウザを使用して、プリンターと正常に接続できることを確認してください。⇒P.129「Webブラウザを使用する」

3 システム設定リストを印刷して、設定した内容を確認します。

システム設定リストの印刷方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

インフラクチャーモードのときは

本機の操作パネルで電波状態を確認することができます。

1 【メニュー】キーを押します。

2 【▲】または【▼】キーを押して、「チョウセイ／カンリ」を表示させ、【OK】を押します。

3 【▲】または【▼】キーを押して、「デンパジョウタイ」を表示させ、【OK】を押します。

電波状態が表示されます。

4 確認が終了したら、【メニュー】キーを押します。

8

Webブラウザを使用する

本ネットワークインターフェースボードにはプリンターをネットワークプリンターとして使用する機能に加え、ネットワークインターフェースボードがWebサーバとして動作し、ネットワーク上のコンピュータからWebブラウザを使ってプリンターの状態を確認したり、ネットワークインターフェースボードの設定を変更したりできる機能を搭載しています。

❖ プリンター側の環境設定

この機能はTCP/IPプロトコルを使って動作します。この機能を使用する場合は、プリンター側でTCP/IPプロトコルの設定を行ってください。TCP/IPの設定が正しく行われると、この機能は自動的に有効になります。

参照

TCP/IPに関するプリンターの設定方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

❖ コンピュータ側の動作環境

対象OS	対応ブラウザ
Microsoft Windows 95/98/Me	Microsoft Internet Explorer 4.01 以降 Netscape Navigator 4.06 以降
Microsoft Windows 2000	
Microsoft Windows XP	
Microsoft Windows NT 4.0	
Microsoft Windows NT3.51	
MacOS 7.6.1 ～9.1	
Mac OS X 10.1	
Solaris 2.5/2.6/2.7/7/8	

制限

- ❒ ブラウザの［戻る］ボタンで前のページに戻れないことがあります。そのときはブラウザの［更新］または［再読み込み］をクリックしてください。
- ❒ ブラウザで設定しているフォントサイズによっては一部表示がずれることがあります。Internet Explorerでは「中」以下、Netscape Navigatorでは「10ポイント」以下でお使いいただくことをお勧めします。
- ❒ Webブラウザから取得できる情報は、自動的に更新されません。情報を更新する場合は、Webブラウザの［更新］または［再読み込み］をクリックしてください。

8

トップページを表示する

コンピュータ側でWebブラウザを起動し、URLとしてプリンターのIPアドレスを指定すると、トップページが表示されます。次はURLの入力例です。

`http://192.168.15.16/`

（プリンターのIPアドレスが192.168.15.16の場合）

補足

- ❒ ネットワーク内にDNSサーバが置かれている場合は、ホスト名を使った指定ができます（たとえば http://webmonitor.netprinter.ricoh.co.jp/）。DNSサーバにプリンターのIPアドレスとホスト名を登録してください。詳しくはネットワーク管理者の方に確認してください。
- ❒ ご使用のブラウザにプロキシサーバの設定が行われている場合、プリンターのIPアドレスへの接続には、プロキシサーバを使用しないにしてください。詳しくはネットワーク管理者の方に確認してください。



1. ヘッダーボタン

［English］をクリックすると英語表示に切り替わります。［RICOH Homepage］をクリックするとリコーのホームページに、［ヘルプ］をクリックするとリコーのホームページ内にあるヘルプにジャンプします。

制限

- ❒ リコーのホームページやヘルプにアクセスするには、コンピュータがインターネットに接続されている必要があります。

重要

- ❒ ダイヤルアップ接続している場合など、インターネットへの接続形態によっては料金が発生しますのでご注意ください。

補足

- ❒ ヘルプはHTMLファイルとしてCD-ROMにも収録されています。CD-ROMの¥HELP¥WSMHELP¥JA¥index.htmlを開いてください。
- ❒ 英語表示に切り替えても、［管理情報］メニューの［ジョブ履歴］画面の一部に日本語が表示されます。

2. メニューボタン

設定･確認を行うためのボタンが並んでいます。

補足

- ❒ ［設定］をクリックするとユーザー名とパスワードを入力するダイアログが表示されます。このダイアログではパスワードだけを入力します。工場出荷時のパスワードは「ricoh」です。
- ❒ パスワードはリモートメンテナンス（mshell）で使用するパスワードと共通です。

3. 表示エリア

ネットワークインターフェースボードの名前とコメント文、プリンターの状態が表示されます。

8

ボードの設定を変更するには

1 Webブラウザを起動します。

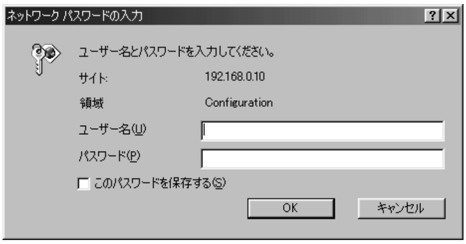
2 アドレスに「http://（設定を変更するプリンターのIPアドレス）/」と入力します。

Webブラウザに選択したプリンターの状態が表示されます。



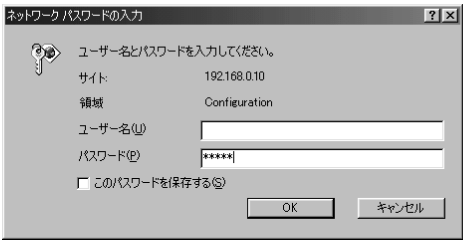
3 ［設定］をクリックします。

ユーザー名とパスワードを入力するダイアログが表示されます。



4 パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

工場出荷時の設定の場合、ユーザー名は空欄に、パスワードには「ricoh」と入力します。



5 設定したい項目をクリックして、各種設定を行ないます。

以下の項目が設定できます。

❖ **［一般］**

イーサネットボード/拡張無線LANボードと機器の一般設定を行います。

❖ **［TCP/IP］**

イーサネットボード/拡張無線LANボードと拡張1394ボードのTCP/IPプロトコルに関する設定を行います。

8

❖ [SNMP]
コミュニティー名に応じた設定を行います。コミュニティー名は10種類まで登録できます。

❖ [NetWare]
イーサネットボード/拡張無線LANボードのNetWareで印刷するための設定を行います。

❖ [AppleTalk]
イーサネットボード/拡張無線LANボードのAppleTalkプロトコルに関する設定を行います。

❖ [NetBEUI]
イーサネットボード/拡張無線LANボードのNetBEUIプロトコルに関する設定を行います。

❖ [IEEE 1394]
拡張1394ボードのIP over 1394とSCSI print(SBP-2)に関する設定を行います。

制限

❒ この選択項目は拡張1394ボードが装着されているときに表示されます。

❖ [IPP認証]
IPPプロトコルを使って印刷するときの認証に関する設定を行います。

❖ [用紙種類]
機器にセットされている用紙の種類をドロップダウンメニューから選択します。

❖ [パスワードの変更]
パスワードを変更します。

このパスワードはネットワークや機器の設定を変更するときや、スプールされているジョブを削除するときに入力します。

8

❖ [IEEE 802.11b（無線LAN）]
拡張無線LANボードの通信に関する設定を行います。

制限

❒ この選択項目は拡張無線LANボードが装着されているときに表示されます。

補足

❒ 設定方法について詳しくは、ヘルプを参照してください。

ボード設定の参照を行なうには

1 Webブラウザを起動します。

2 アドレスに「http:// （設定を変更するプリンターのIPアドレス）/」と入力します。

3 Webブラウザに選択したプリンターの状態が表示されます。



4 ［設定の参照］をクリックします。

5 参照したい項目をクリックします。

以下の項目が設定できます。

❖ ［一般］

機器の一般設定が表示されます。

❖ ［TCP/IP］

TCP/IPプロトコルに関する設定が表示されます。

❖ ［NetWare］

NetWareで印刷するための設定が表示されます。

❖ ［AppleTalk］

AppleTalkプロトコルに関する設定が表示されます。

❖ ［NetBEUI］

NetBEUIプロトコルに関する設定が表示されます。

❖ ［IEEE 1394］

拡張1394ボードのIP over 1394とSCSI print(SBP-2)に関する設定が表示されます。

❖ ［IEEE 802.11b （無線LAN）］

無線LANボードの通信に関する設定が表示されます。

DHCPを使用する

プリンターをDHCP環境で使用することができます。WINSサーバが稼働している環境では、同時にプリンタ名をWINSサーバに登録することができます。

制限

- ❒ IEEE 1394（IP over 1394）はDHCPに対応していません。プリンターの操作パネル、telnetまたはWebブラウザから固定IPアドレスを設定してください。詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書、P.140「telnetによるリモートメンテナンス（mshell）」、またはP.129「Webブラウザを使用する」を参照してください。

補足

- ❒ 動作対象のDHCPサーバは、Windows 2000 Server日本語版、Windows NT 4.0 Server日本語版、NetWare5/5.1JおよびUNIXに標準添付されているdhcpdです。
- ❒ プリンターがDHCPから取得したIPアドレスは、システム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。
- ❒ WINSサーバを使用する場合は、プリンターの設定項目でWINSサーバを［有効］に設定してください。
- ❒ WINSサーバを使用することで、リモートネットワークのプリンターポートでホスト名を使用できます。
- ❒ WINSサーバを使用しない場合は、毎回同じIPアドレスが割り当てられるように、プリンターに割り当てるIPアドレスをDHCPサーバで予約してください。
- ❒ 複数のDHCPサーバが存在する場合は、すべてのDHCPサーバに同じ予約をしてください。プリンターは最初に応答したDHCPサーバからの情報で動作します。
- ❒ ネットワークにISDN回線を接続している環境でDHCPリレーエージェントを使用した場合、プリンターからパケットが送出されるたびにISDN回線が接続され、多大な通信料がかかることがあります。

AutoNet機能を使用する

DHCPサーバからIPアドレスが割り当てられなかった場合、プリンターが臨時に169.254.xxx.xxxではじまるネットワーク上で使用されていないIPアドレスを自動選択して使用することができます。

補足

- ❒ AutoNet機能で自動選択されたIPアドレスは、DHCPサーバがIPアドレスの割り当てを再開すると、DHCPサーバから割り当てられたIPアドレスを優先的に使用します。このとき、プリンターが再起動するため、一時的に印刷ができなくなります。
- ❒ プリンターが使用しているIPアドレスはシステム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。
- ❒ AutoNetモードで動作中の場合、WINSサーバへのプリンタ名の登録は行われません。
- ❒ AutoNet機能で起動している機器以外とは通信できません。

WINSサーバを使用する

プリンターの起動時に、プリンターのプリンタ名をWINS(Windows Internet Name Service)サーバに登録することができます。WINSサーバにプリンタ名を登録すると、DHCP 環境で使用している場合、Ridoc IO Naviのポート名や、Webブラウザからのアクセスにプリンターのプリンタ名を使用して印刷できます。

ここでは、プリンターがWINSサーバを使用できるようにする設定について説明します。

補足

- ❒ サポートするWINSサーバは、Windows NT 4.0 Server ServicePack4以降またはWindows 2000 ServerのWINSマネージャーです。
- ❒ WINSサーバの設定について詳しくは、Windowsのヘルプを参照してください。
- ❒ WINS サーバが応答しない場合、ブロードキャストによるプリンタ名の登録が行われます。
- ❒ 登録できるプリンタ名は、半角英数字で13バイト以内です。

Webブラウザを使用する方法

1 Webブラウザを起動します。

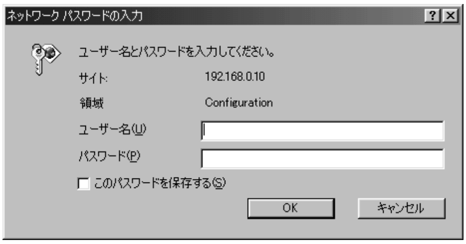
2 アドレスに「http://（設定を変更するプリンターのIPアドレス）」と入力します。

Webブラウザに選択したプリンターの状態が表示されます。



3 ［設定］をクリックします。

パスワードを入力するダイアログが表示されます。



4 パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

工場出荷時の設定の場合、ユーザー名は空白に、パスワードには「ricoh」と入力します。

5 ［TCP/IP］をクリックします。

8

6 ［WINS］が「有効」になっていることを確認し、［プライマリWINSサーバ］と［セカンダリ WINS サーバ］にそれぞれ WINS サーバのIPアドレスを入力します。



7 ［更新］をクリックします。

設定が送信されます。

8 Webブラウザを終了します。

mshellを使用する方法

1 telnetを使用し、プリンターに接続します。

2 以下のコマンドを使用し、WINSを使用する設定にします。

`set wins on`

3 以下のコマンドを使用し、プライマリWINSサーバとセカンダリWINSサーバのIPアドレスを入力します。

`wins primary` *IPaddress*

`wins secondary` *IPaddress*

補足

❒ 現在の設定を確認するには、winsとコマンドを使用します。

参照

mshellについて詳しくは、P.140「telnetによるリモートメンテナンス（mshell）」を参照してください。

4 telnetを終了します。

8

Windowsからのファイル直接印刷

Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0からlpr、rcp、ftpコマンドを使って印刷できます。また、Windows 95/98/Meからはftpコマンドを使って印刷できます。

OS	lpr	rcp	ftp
Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0	✓	✓	✓
Windows 95/98/Me			✓

この方法で印刷できるファイルは、プリンターが搭載しているエミュレーション用に作られたファイルです。搭載していないエミュレーションのファイルは印刷できません。

補足

❒ エミュレーション用に作られたファイルとは、たとえばPostScript 3用のポストスクリプトファイルなどです。

ここではセットアップのしかたと、印刷のしかたについて説明します。

セットアップ

1 プリンターのネットワーク環境を設定します。

- TCP/IPプロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）
- IPアドレスなどTCP/IPに関する項目を設定する

参照

設定方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

DHCPを使用してプリンターのIPアドレスを設定するときは、P.134「DHCPを使用する」を参照してください。

2 WindowsにTCP/IPプロトコルを組み込み、ネットワーク環境を設定します。

補足

❒ ネットワークに関する設定内容はネットワーク管理者の方に確認してください。

3 Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0でlprを使って印刷する場合は、ネットワークソフトウェアとして「UNIX用印刷サービス」または「Microsoft TCP/IP印刷」を組み込みます。

補足

❒ 印刷時にIPアドレスを使ってプリンターを指定する場合のセットアップは、これで終了です。プリンターの指定にホスト名を使用するときは、P.137「IPアドレスの代わりにホスト名を使用する」に進んで、セットアップを続けてください。

IPアドレスの代わりにホスト名を使用する

ホスト名が定義されていると、IPアドレスの代わりにホスト名を使ってプリンターを指定することができます。使用するホスト名はネットワーク環境により異なります。

❖ **DNSを使用している場合**

DNS サーバ上のデータファイルに設定したホスト名を使用します。

❖ **WINSを使用している場合**

WINS　サーバ上に設定したホスト名を使用します。

❖ **DHCPを使用してプリンターのIPアドレスを設定している場合**

システム設定リストの「プリンター名」に印刷された名前をホスト名として使用します。システム設定リストの印刷方法は、セットアップガイドを参照してください。

❖ その他の場合

印刷を行うコンピュータのhostsファイルにネットワークプリンターのIPアドレスとホスト名を追加します。追加のしかたはOSにより異なります。

補足

- ❒ hostsファイルはネットワーク内で通信するホストのIPアドレスとホスト名を登録するファイルです。
- ❒ Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0でhostsファイルを編集するには、以下のように操作します。
  1. メモ帳などでhostsファイルを開きます。
     hostsファイルは以下の場所にあります。
     `¥WINNT¥SYSTEM32¥DRIVERS¥ETC¥HOSTS`
     ¥WINNTはWindows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のインストール先のディレクトリです。
  2. hostsファイルにIPアドレスとホスト名を以下の形式で追加します。
     `192.168.15.16　ricoh　# NP`
     192.168.15.16はIPアドレス、ricohはプリンターのホスト名、#から行末まではコメントです。それぞれの項目をスペースかタブで区切り、1行で入力します。
  3. ファイルを上書き保存します。
- ❒ Windows 95/98/Meでhostsファイルを編集するには、以下のように操作します。
  1. ¥WINDOWS¥HOSTS.SAMを同じディレクトリにコピーし、名前をHOSTS（拡張子を付けません）にします。
  2. 作成した¥WINDOWS¥HOSTSファイルをメモ帳などで開きます。
  3. IPアドレスとホスト名をWindows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0の場合と同じ形式で追加し、ファイルを上書き保存します。

8

印刷方法

lpr、rcp、ftpコマンドを使った印刷方法を説明します。

操作の前に

コマンドはコマンドプロンプト ウィンドウで入力します。

- Windows 95/98の場合：
  ［スタート］-［プログラム］-［MS-DOSプロンプト］
- Windows Meの場合：
  ［スタート］-［プログラム］-［アクセサリ］-［MS-DOSプロンプト］
- Windows 2000の場合：
  ［スタート］-［プログラム］-［アクセサリ］-［コマンドプロンプト］
- Windows XPの場合：
  ［スタート］-［すべてのプログラム］-［アクセサリ］-［コマンドプロンプト］
- Windows NT 4.0の場合：
  ［スタート］-［プログラム］-［コマンドプロンプト］

補足

- ❒ 印刷するファイルのデータ形式とプリンターのエミュレーションモードを合わせてください。テキストデータの場合はRPDLなどテキスト印刷が可能なモードにします。
- ❒ タブコードや漢字コードがプリンターと合っていないと正常に印刷されません。タブ制御や漢字での印刷を行う場合は、使用するエミュレーションモードとデータの設定を一致させてください。
- ❒「print requests full」のメッセージが表示されたときは、印刷要求がフルの状態です。印刷要求が少なくなってから印刷し直してください。各コマンドを使用したときの最大セッション数は次の通りです。
  - lpr：5（スプール設定機能ON時：10）
  - rcp、ftp：1
- ❒ 本機の搭載メモリー量によって接続数が異なります。rcpコマンドは工場出荷時1、メモリー増設時は5です。ftpコマンドは工場出荷時1、メモリー増設時は3です。
- ❒ ファイル名はコマンドを実行するディレクトリからのパスを含めた形で入力してください。

参照

コマンドの中で指定する「オプション」はプリンター固有のオプションで、内容はUNIXから印刷する場合と同様です。詳しくは、P.111「オプション指定」を参照してください。

エミュレーションによってはエミュレーション固有のオプションも用意されています。それらのオプションについて詳しくは、各エミュレーションに同梱の使用説明書を参照してください。

lpr

❖ **IPアドレスを使ってプリンターを指定する場合**

c:> lpr -Sプリンターの IPアドレス ［-Pオプション］［-ol］ ¥パス名¥ファイル名

❖ **IPアドレスの代わりにホスト名を使用する場合**

c:> lpr -Sプリンターのホスト名 ［-Pオプション］［-ol］ ¥パス名¥ファイル名

ホスト名がricohのプリンターに、C:¥PRINTディレクトリにある、名前がfile1のPostScriptファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
c:> lpr -Sricoh -Pfiletype=POSTSCRIPT -ol C:¥PRINT¥file1
```

rcp

あらかじめhostsファイルにプリンターのホスト名を登録しておきます。⇒P.139「IPアドレスの代わりにホスト名を使用する場合」

c:> rcp ¥パス名¥ファイル名 ［¥パス名¥ファイル名...］ プリンターのホスト名:［オプション］

補足

❒ ファイル名には「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。

ホスト名がricohのプリンターに、C:¥PRINTディレクトリにある、名前がfile1とfile2のPostScriptファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
c:> rcp C:¥PRINT¥file1 C:¥PRINT¥file2 ricoh:filetype=POSTSCRIPT
```

ftp

印刷するファイル数に応じてputまたはmputコマンドを使います。

❖ **印刷するファイルが1つの場合**

ftp> put ¥パス名¥ファイル名 ［オプション］

❖ **印刷するファイルが複数の場合**

ftp> mput ¥パス名¥ファイル名 ［¥パス名¥ファイル名...］

補足

❒ mputコマンドではファイル名に「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。

❒ バイナリーファイルを印刷する場合は、-bオプションを付けて下さい。

制限

❒ ファイル名に「=」、「,」、「;」および「_」は使用できません。ファイル名をオプション文字列と判断してしまいます。

❒ mputコマンドではオプションを指定できません。

ftpを起動してから印刷するまでの手順は次のようになります。

1 **プリンターのIPアドレス（またはhostsファイルに設定したプリンターのホスト名）を引数にしてftpコマンドを起動します。**

% ftp プリンターのIPアドレス

2 **必要に応じてユーザー名を入力し、パスワードは何も入力しないでReturnキーを押します。**

```
User:
Password:
```

3 **印刷するファイルを指定します。**

以下はC:¥PRINTディレクトリにある、file1という名前のPostScriptファイルを印刷する例と、file1とfile2を印刷する例です。

```
ftp> put C:¥PRINT¥file1 filetype=PostScript
ftp> mput C:¥PRINT¥file1 C:¥PRINT¥file2
```

4 **ftpを終了します。**

```
ftp> bye
```

telnetによるリモートメンテナンス（mshell）

telnet を使ってプリンターの状態や設定内容を確認や、各種の設定を行うことができます。

補足

- ❒ リモートメンテナンス（mshell）はネットワーク管理者だけが使用できるように、パスワードを設定して運用してください。
- ❒ パスワードはWebブラウザによるネットワークインターフェースボード設定機能で使用するパスワードと共通です。mshell上でパスワードを変更すると、他のパスワードも変更されます。

操作の流れ

telnetを起動してから終了するまでの手順は次のようになります。

制限

- ❒ リモートメンテナンスを同時に複数のユーザが使用することはできません。

1 **プリンターのIPアドレス（またはホスト名）を引数にしてtelnetを起動します。**

```
% telnet プリンターのIPアドレス
```

補足

- ❒ IPアドレスの代わりにホスト名を使用するときは/etc/hostsの設定が必要です。

2 **パスワードを入力します。**

補足

- ❒ 工場出荷時のパスワードは「ricoh」に設定されています。

3 **コマンドを入力します。**

参照

使用できるコマンドについて詳しくは、P.141「コマンド一覧」を参照してください。

4 **telnetを終了します。**

```
msh> logout
```

設定が変更されていると変更内容を保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

5 **変更内容を保存するときは「yes」と入力し、Enterキーを押します。**

変更内容を保存しないときは「no」と入力し、**Enter**キーを押します。コマンド入力を続けるときは「return」と入力し、**Enter**キーを押します。

補足

- ❒「Can not write NVRAM information」とメッセージが表示されたとき、変更内容は保存されていません。もう一度操作し直してください。
- ❒ 変更内容を保存すると自動的にネットワークインターフェースボードがリセットされます。
- ❒ リセットしてもActive状態（印刷中、または印刷処理待ち）の印刷ジョブは印刷されますが、Waiting状態（プリンターへのファイル転送待ち）のジョブは破棄されます。

コマンド一覧

リモートメンテナンスで使用できるコマンドの一覧です。

補足

❒「help」と入力すると使用できるコマンドの一覧が表示されます。

```
msh> help
```

❒「help コマンド名」と入力すると、入力したコマンド名の使い方が表示されます。

```
msh> help コマンド名
```

TCP/IPアドレス

TCP/IP（IPアドレス、サブネットマスク、ブロードキャストアドレス、デフォルトゲートウェイアドレス）の表示や設定を行うにはifconfigコマンドを使用します。

❖ **表示**

```
msh> ifconfig
```

❖ **設定**

```
msh> ifconfig インターフェース パラメーター アドレス
```

インターフェース	設定されるインターフェース
ether sie0	LANインターフェース
ip1394 *1 fwip0 *1	IEEE 1394インターフェース
wlan *2 wi0 *2	無線LANインターフェース

*1 拡張1394ボード（オプション）装着時に指定できます。

*2 拡張無線LANボード（オプション）装着時に指定できます。

パラメーター	設定される項目
なし	IPアドレス
netmask	サブネットマスク
broadcast	ブロードキャストアドレス

❖ **インターフェース切り替え**

拡張無線LANボード（オプション）接続時に、イーサネットと無線LANのどちらを使用するか指定することができます。

```
msh> ifconfig インターフェース up
```

補足

❒ 拡張1394ボード（ip1394）を指定することはできません。

（例）　LANインターフェースのIPアドレスを192.168.15.16に設定する

```
msh> ifconfig ether 192.168.15.16
```

（例）LANインターフェースのサブネットマスクを255.255.255.0に設定する

```
msh> ifconfig ether netmask 255.255.255.0
```

補足

❒ パラメーターで指定した項目が指定したアドレスに設定されます。

❒ サブネットマスクはLANインターフェース、無線LANインターフェース共通です。

❒ アドレスを16進形式で設定する場合は先頭に「0x」を付けてください。

アドレスについて

❖ **サブネットマスク**

IPアドレスの一部をネットワークアドレスとして使用するためのマスク値です。

❖ **ブロードキャストアドレス**

ネットワークの特定の全機器にデータを送るために決める特定のアドレスです。

補足

❒ 設定するアドレスはネットワーク管理者に確認してください。

❒ 設定するアドレスがわからないときは、工場出荷時の設定のままご使用ください。

❒ 拡張1394ボード（オプション）装着時は、IEEE 1394インターフェースとLANインターフェースのネットワークアドレスが重複しないように設定してください

❒ TCP/IPの設定はLANインターフェース、無線LANインターフェース共通です。インターフェースの切り替えを行った場合、設定は切り替えたインターフェースが引き継ぎます。

アクセスコントロール

アクセスコントロールの表示と設定を行なうにはaccessコマンドを使用します。また、アクセスレンジを複数設定することもできます。

❖ 表示

```
msh> access
```

❖ 設定

msh> access 対象番号 range 開始アドレス 終了アドレス

(例) アクセス可能なIPアドレスを192.168.0.10から192.168.0.20に設定する

```
msh> access 1 range 192.168.0.10 192.168.0.20
```

補足

- ❒ アクセスレンジは、印刷できるワークステーションをIP　アドレスを使って制限するためのものです。印刷を制限する必要がない場合は、「0.0.0.0」を設定してください。
- ❒ 開始アドレスが終了アドレスよりも大きい場合、設定は無効となります。
- ❒ アクセスレンジは、5件まで設定可能です。対象番号を省略した場合は、設定が無効になります。
- ❒ Webブラウザ、telnetまたはRidoc IO Navi /Adminをご使用の場合、アクセスコントロールで制限されたIPアドレス以外からも使用できます。

❖ アクセスコントロールの初期化

```
msh> access flush
```

補足

- ❒ 工場出荷時の設定に戻します。全てのアクセスレンジが「0.0.0.0」になります。

ネットワークブート

操作の前に

本コマンドはIPSiO NX920/NX730N/NX630N /NX630で使用できます。

ネットワークブートの設定をするには set コマンドを使用します。

msh> set パラメーター {on | off}

有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

パラメーター	設定される方式
dhcp	DHCP

補足

- ❒ DHCPを使用するときはサーバの設定が必要です。

DHCP

操作の前に

本コマンドはIPSiO NX850/NX750/NX650Sで使用できます。

DHCPの設定をするには setコマンドを使用します。

```
msh> set dhcp {on | off}
```

有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

補足

- ❒ 工場出荷時の設定はoffです。
- ❒ DHCPを使用するときはサーバの設定が必要です。

8

プロトコル

プロトコルの有効／無効を切り替えるにはsetコマンドを使用します。

msh> set プロトコル {up | down}

プロトコル	
appletalk tcpip netware netbeui scsiprint [*1] ip1394 [*1] lpr ftp rsh diprint web snmp ipp	プロトコルを有効にするには「up」を、無効にするには「down」を指定します。

*1 拡張1394ボード（オプション）装着時に表示されます。

補足

❒ TCP/IPを無効に設定してログアウトすると、このリモートメンテナンスそのものが使用できなくなります。誤って「無効」に設定したときは、プリンターの操作パネルを使って設定し直してください。

❒ TCP/IPを無効にすると、ip1394,lpr,ftp,rsh,diprint,web,snmp,ippも使用できなくなります。

プリンターの状態

プリンターの状態を表示するには表示内容に応じたコマンドを使用します。

msh> コマンド

コマンド	表示される内容
status	プリンターの状態（ステータス）と印刷ジョブの情報（プリントジョブ情報）
info	給紙トレイや排紙トレイの情報（プリンター情報）
prnlog [ID番号]	これまでに印刷した16件分の記録（プリントログ情報）

補足

❒ prnlogでID番号を指定するとジョブのさらに詳しい情報が表示されます。

参照

表示される内容について詳しくは、プリンター本体の使用説明書、およびP.152「取得情報の内容」を参照してください。

ネットワークインターフェースボードの情報

ネットワークインターフェースボードの設定状況を表示するにはshowコマンドを使用します。

msh> show [-p]

補足

❒ -pオプションを付けると1画面ずつ表示されます。

❒ NetBEUIプロトコルでコンピュータ名、ワークグループ、コメントを日本語で入力しているときは、シフトJISが表示できる環境で使用してください。

参照

表示される内容について詳しくは、P.154「ネットワークインターフェースボードの情報」を参照してください。

システムログ情報

プリンターのシステムログ情報として記録されたメッセージを表示するにはsyslogコマンドを使用します。

msh> syslog

参照

表示される内容について詳しくは、P.157「システムログ情報」を参照してください。

8

SNMP

コミュニティ名などSNMPに関する表示と変更を行うにはsnmpコマンドを使用します。

制限

- ❒ IEEE 1394インターフェース（オプション）は、TCP/IPプロトコルのみ有効です。

補足

- ❒ 設定できる登録番号は1～10です。
- ❒ 登録番号の1～10にpublicが存在しない場合、Ridoc IO AdminやRidoc IO Naviからプリンターを参照することはできません。
- ❒ 登録番号1と2の工場出荷時の設定は次のとおりです。

登録番号	1	2
コミュニティ名	public	ricoh
IPアドレス	0.0.0.0	0.0.0.0
アクセスタイプ	read-only trap off	read-write trap off

❖ 表示

SNMP情報と使用可能なプロトコルを表示します。

`msh> snmp ?`

指定した登録番号の設定状態を表示します。

`msh> snmp [-p] [登録番号]`

補足

- ❒ -pオプションを付けると1画面ずつ表示されます。
- ❒ 登録番号を省略すると、すべての番号の状態を表示します。

❖ コミュニティ名設定

指定した登録番号のコミュニティ名を設定します。

`msh> snmp 登録番号 name コミュニティ名`

補足

- ❒ コミュニティ名は半角英数字で15バイト以内です。

❖ アクセスタイプ設定

登録番号ごとにアクセスタイプを切り替えます。

`msh> snmp 登録番号 type アクセスタイプ`

アクセスタイプ	設定される内容
read	情報の読み出しのみ可能 (read-only)
write	情報の読み出しと書き込みが可能 (read-write)
trap	エラー情報を通知 (trap)
no	アクセスできません (not accessible)

❖ プロトコル設定

使用可能なプロトコルを選択するには次のコマンドを使います。このコマンドで設定を無効にすると、すべての登録番号で使用できなくなります。

`msh> snmp {ip | ipx} {on | off}`

- プロトコルを有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

登録番号ごとにプロトコルの設定を変えるには次のコマンドを使います。ただし、上のコマンドで無効にしたプロトコルは、このコマンドで有効にしても使用できません。

`msh> snmp 登録番号 active {ip | ipx} {on | off}`

❖ アクセス設定

使用するプロトコルに応じたホストのアドレスを設定します。

「アクセスタイプ」を「read-only」または「read-write」に設定したときは、ここに入力したアドレスのホストからの要求だけを受け付けます。どのホストからの要求でも受け付けるようにするには、「0」を入力します。

「アクセスタイプ」を「trap」に設定したときは、情報を通知するホストのアドレスを入力します。

`msh> snmp 登録番号 {ip | ipx} アドレス`

補足

- ❒ TCP/IPを使用するときはアドレスとしてIPアドレスを入力します。

❒ IPX/SPXを使用するときはアドレスとしてIPXアドレスを入力します。IPXアドレスはホストが接続されているネットワークの番号とホストに取り付けられているネットワークインターフェースボードのMACアドレス（物理アドレス）をコロン（:）で区切って入力します。

（例）　登録番号3にIPアドレスを設定する（192.168.15.16）

msh> snmp 3 ip 192.168.15.16

（例）　登録番号3にIPXアドレスを設定する（ネットワーク番号=7390A448、MACアドレス=00:00:74:62:5C:65）

msh> snmp 3 ipx 7390A448:000074625C65

IPP

IPPの使用環境を設定するには、IPPコマンドを使用します。

❖ IPPの設定値表示

IPPの設定値を表示します。

msh> ipp

次の設定値が表示されます。

timeout=900(sec)

auth basic

- 「timeout」には、ネットワークプリンターに接続できない場合にリトライをやめて印刷ジョブを一時停止するまでの時間（タイムアウト）が表示されます。
- 「auth」には、ユーザー認証のモードが表示されます。

❖ IPPタイムアウトの設定

印刷データが途切れた場合に、印刷ジョブを取り消すまでの時間を指定します。設定範囲は30～65535秒です。

msh> ipp timeout {30 - 65535}

❖ IPPユーザー認証方式の設定

IPPユーザー認証を行って、IPPを使って印刷できるユーザーを制限することができます。工場出荷時はユーザー設定を行わない設定になっています。

ipp auth {basic|digest|off}

- 「basic」または「digest」で、認証を行います。
- 「off」で、認証を行わなくなります。

補足

❒ ユーザー認証を行うように指定した場合、次の「IPPユーザーの登録」を参照してユーザー名の登録を行ってください。ユーザーは10組まで登録できます。

❖ IPPユーザーの登録

IPPを使って印刷できるユーザーを登録できます。

ipp user

次のメッセージが表示されます。

Input user number (1 to 10):

設定するユーザー番号を入力し、ユーザー名とパスワードを指定します。

IPP user name:user1

IPP password:*******

ユーザー名とパスワードが設定されると次のメッセージが表示されます。

User configuration changed.

ダイレクトプリント

コンピュータから直接印刷を行うことができるダイレクトプリントポートの表示と設定を行うにはdiprintコマンドを使用します。

❖ 表示

ダイレクトプリントプロトコルの設定を表示します。

msh> diprint

次の設定値が表示されます。

port 9100

timeout=300(sec)

bidirect off

- 「Port」使用するポート番号が表示されます。
- 「bidirect」　ダイレクトプリントポートが双方向通信に対応しているか表示されます。

❖ タイムアウトの設定

ネットワークからデータを受信する際のタイムアウト時間を設定できます。

msh> diprint　[0～65535]

補足

❒ 工場出荷時の設定値は300（秒）です。

❒ 0に設定した場合、タイムアウトを行ないません。

8

SMB

コンピュータ名やワークグループ名などNetBEUI関連の項目を設定、削除するにはsmbコマンドを使用します。

msh> smb パラメーター

パラメーター	設定される項目
comp	コンピュータ名 (13バイト以下)
group	ワークグループ名 (15バイト以下)
comment	コメント(31バイト以下)
clear comp	コンピュータ名のクリア
clear group	ワークグループのクリア
clear comment	コメントのクリア

ROUTE

TCP/IPルーティングテーブルの設定をするにはrouteコマンドを使用します。

routeコマンドを使うと、通常のネットワークではルーター装置等の環境により自動的に保守されているルーティングテーブルを手動で変更できます。

補足

- ❒ ルーティングテーブルの最大数は16です。

コマンド	設定される項目
route add [host|net] destination *1 gateway *1	destinationで表されるhost(or network)ルートおよびgatewayで表されるgatewayアドレスをテーブルに追加します。host/net省略時はhost設定となります。
route delete [host|net] destination *1	destinationで表されるhost(or network)ルートをテーブルから削除します。host/net省略時はhost設定となります。
route get [destination *1]	destination指定時は該当route情報のみ表示します。destination無指定時は全route情報を表示します。
route active [host|net] destination *1 on/off	指定されたdestinationの有効/無効を切り替えます。host/net省略時はhost設定となります。
route add default gateway *1	デフォルトゲートウェイアドレスの設定
route flush	全route情報を削除します。

*1 IPアドレス

補足

- ❒ ルーターを越えて別のネットワークのワークステーションとやりとりするときは、ゲートウェイアドレスを設定してください。
- ❒ ゲートウェイアドレスは、すべてのインターフェース共通になります。

SLP

SLPの設定を変更するには、slpコマンドを使用します。

NetWare5のPureIP環境でご使用の場合、SLPを用いてNetWareサーバを検索します。slpコマンドを使うと、SLP マルチキャストパケットが使用するTTL値(通過できるルーターの数+1)を指定できます。

補足

- ❒ 工場出荷時の設定は1です。ローカルセグメント内のみで検索します。ただしこのTTL値を増やした場合でもネットワーク環境で使用のルーター装置がマルチキャスト対応していなければ有効ではありません。
- ❒ 設定できるSLPパケットのTTL値は1～255です。

  msh> slp ttl ttl_val

8

sprint

IEEE 1394（SCSI print）の設定をするにはsprintコマンドを使用します。

❖ 表示

IEEE 1394（SCSI print）の設定を表示します。

```
msh> sprint
```

❖ 双方向通信設定

IEEE 1394（SCSI print）とパソコン間の双方向通信を設定できます。工場出荷時の設定は"on"です。

```
msh> sprint bidi [on/off]
```

無線LANの設定

無線LANの設定をするにはwiconfigコマンドを使用します。

制限

❒ 拡張無線LANボード（オプション）装着時に設定できます。

❖ 表示

無線LANの設定を表示します。

```
msh> wiconfig
```

拡張無線LANカードの情報を表示します。

```
msh> wiconfig cardinfo
```

補足

❒ 無線LANインターフェースが有効になっていない場合、拡張無線LANカードの情報は表示できません。

❖ 設定

```
msh> wiconfig パラメータ
```

パラメーター	設定される項目
mode [ap|adhoc|802.11adhoc]	インフラストラクチャーモード（ap）、802.11アドホックモードまたはアドホックモード（adhoc）の設定ができます。 デフォルトは802.11アドホックモードです。
ssid 文字列	インフラストラクチャーモード時のSSIDを設定できます。 SSIDで使用できる文字は半角英数字と表示可能な半角記号で32バイトまでです。大文字と小文字も区別されます。空白の場合には自動で近くのアクセスポイントに接続します。 アドホックモード時には、インフラストラクチャーモード時と同じ値か、空白の場合「ASSID」という値が自動的に設定されます。
channel frequency	チャンネルを設定できます。 1-14の間で設定できます。 使用する機器間で同じチャンネルを使用してください。
enc [on|off]	WEP機能の有効/無効を設定できます。WEP機能を有効にするには「on」無効にするには「off」を指定します。 有効にする場合は正しいWEPキーを入力してください。
key 文字列	64-bit WEPを使用する場合は、16進数10桁の文字列が使用できます。128-bit WEPを使用する場合には、16進数26桁の文字列が使用できます。 この機能を使用する場合、互いに通信を行う端末すべてに同じWEPキーを設定してください。
wiconfig auth [open|shared]	WEP使用時の認証モードを設定できます。指定値と認証モードは次のとおりです。 open：オープンシステム認証（デフォルト） shared：シェアードキー認証

パラメーター	設定される項目
rate [auto|11m|5.5m|2m|1m]	無線LANにおける通信速度を設定できます。 ここで設定する通信速度は送信時の速度ですので、受信時はすべての速度を受信できます。設定値と通信速度は次のとおりです。 auto:自動設定（デフォルト） 11m:11Mbps固定 5.5m:5.5Mbps固定 2m:2Mbps固定 1m:1Mbps固定

スプール設定

スプール設定の使用環境を設定するには、spoolswコマンドを使用します。スプール設定は「lpr」、「ipp」プロトコルに対応しています。

❖ 表示

スプール設定の設定値を表示します。

```
msh> spoolsw
```

❖ 設定

```
msh> spoolsw spool {on | off}
```

- スプール設定機能を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

❖ ジョブの初期化

本機の電源がスプールされたジョブの印刷中に切られた場合、プリンタの電源再投入時に、それまでスプールしていたジョブを印刷しなおすかどうか指定できます。

```
msh>spoolsw clearjob {on |off}
```

❖ プロトコルの設定

プロトコルごとに設定を変えるには次のコマンドを使います。「lpr 」、「ipp 」プロトコルごとの指定ができます。

- lpr
  ```
  msh> spoolsw lpr {on | off}
  ```
- ipp
  ```
  msh> spoolsw ipp {on | off}
  ```

プリンター名の変更

プリンター名を変更するには、hostname コマンドを使用します。

```
msh> hostname インターフェース プリンター名
```

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	LAN インターフェース *1
ip1394 *2	IEEE 1394 インターフェース
wlan *3	無線LANインターフェース

*1 インターフェースの指定は省略可能です。その場合、LANインターフェースへ自動的に設定されます。

*2 拡張1394ボード（オプション）装着時に指定できます。

*3 拡張無線LANボード(オプション)装着時に指定できます。

補足

- ❒ プリンター名は、13バイト以下で設定してください。
- ❒ RNPまたはrnpではじまる名前は設定できません。
- ❒ LANインターフェースと無線LANインターフェースは同じプリンター名になります。

WINS機能の設定

WINSサーバを指定するには、WINSコマンドを使用します。

補足

- ❒ WINSサーバ機能について詳しくは、⇒ P.135「WINS サーバを使用する」を参照してください。

❖ WINSサーバの設定値表示

WINSサーバのIPアドレスを表示します。

```
msh> wins
```

次の設定値が表示されます。

```
wins:   primary   server   192.168.10.1
secondary server server 192.168.10.2
wins server current config:
          primary  server  192.168.10.1
secondary server 192.168.10.2
      hostname IPSiONX730N ScopeID
```

補足

- ❒ ネットワークブートにDHCPを使用している場合、2行目に現在のWINSサーバのアドレスが表示されます。DHCPを使用していない場合は、2行目は表示されません。
- ❒ DHCPから取得したIPアドレスとWINSのIPアドレスが異なった場合、DHCPから取得したIPアドレスが有効です。

❖ WINS機能を有効にする

```
msh> set wins {on|off}
```

- WINS機能を有効するには「on」を、無効にするときは「off」を指定します。

❖ WINSサーバのアドレス設定

WINSサーバのアドレスを設定できます。

```
msh> wins {primary|secondary} アドレス
```

- 「primary」でプライマリWINSサーバのアドレスを設定できます。
- 「secondary」でセカンダリWINSサーバのアドレスを設定できます。

AutoNet機能の設定

AutoNet機能を使用するには、setコマンドを使用します。

```
msh> set autonet {on|off}
```

補足

- ❒ AutoNet機能について詳しくは、P.134「AutoNet機能を使用する」を参照してください。
- AutoNet機能を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

パスワードの変更

リモートメンテナンスのパスワードを変更するにはpasswdコマンドを使用します。

重要

- ❒ パスワードは控えを取るなどして忘れないようにしてください。

補足

- ❒ 工場出荷時は「ricoh」に設定されています。

1 passwdと入力します。

```
msh> passwd
```

2 現在のパスワードを入力します。

```
Old password:
```

3 新しいパスワードを入力します。

```
New password:
```

補足

- ❒ 入力できるのは半角英数字と表示可能な半角記号で3～8バイトの範囲です。大文字と小文字も区別されます。
- ❒ パスワードはWebブラウザによるネットワークインターフェースボード設定機能で使用するパスワードと共通です。mshell上でパスワードを変更すると、他のパスワードも変更されます。

4 新しいパスワードをもう一度入力します。

```
Retype new password:
```

SNTP

SNTP（Simple Network Time Protocol）を使用して、NTP サーバと本機の時間とを合わせることができます。

SNTPの設定を変更するには、sntpコマンドを使用します。

制限

- ❒ サポートするNTPサーバはxnptd V3およびxnptd V4です。

❖ 表示

sntpの設定値を表示します。

```
msh> sntp
```

❖ NTPサーバのアドレス設定

NTPサーバのIPアドレスを設定できます。

```
msh> sntp server アドレス
```

❖ インターバルの設定

設定した NTP サーバと同期を取る間隔を指定します。

```
msh> sntp interval インターバル値
```

補足

- ❒ 工場出荷時の設定値は3600（秒）です。
- ❒ 設定できる値は16～16384（秒）です。
- ❒ 0 を設定した場合には、本機の電源を入れたときに一度だけNTPサーバと同期を取ります。そのあとは同期を取りません。

❖ タイムゾーンの設定

NTP サーバから取得した時刻情報との時間差を設定できます。

```
msh> sntp timezone +/-時間
```

補足

- ❒ 時間の書式は24時間単位となります。
- ❒（例）時間差を+8時間に設定する

```
msh> sntp timezone +08：00
```

8

SNMP

イーサネットインターフェース、無線LANインターフェースではUDPとIPX上で、IEEE 1394（IP over1394）インターフェースではUDP上で動作するSNMP（Simple Network Management Protocol）エージェントが組み込まれています。SNMPマネージャを使ってプリンターの情報を取得することができます。

工場出荷時のコミュニティ名には「public」と「ricoh」が設定されています。このコミュニティ名でMIB情報を取得することができます。

重要

- ❒ 工場出荷時のコミュニティ名を変更した場合は、印刷やステータスの取得に障害が起こる場合があります。

❖ サポートしているMIB

- MIB-II
- PrinterMIB
- HostResourceMIB
- RicohPrivateMIB（リコーオリジナル）

取得情報の内容

ネットワークインターフェースボードから取得するできる情報の詳細です。

プリントジョブ情報

印刷待ちのジョブの情報です。

次の方法で確認できます。

- UNIX：lpqコマンド、rsh、rcp、ftpのstatパラメーターを使います。⇒ P.120「プリンターの状態表示」
- mshell：statusコマンドを使います。⇒ P.143 「プリンターの状態」

項目名	意味
Rank	印刷ジョブの状態 • Active 印刷中、または印刷処理待ち状態 • Waiting プリンターへのファイル転送待ち状態
Owner	印刷要求元（ユーザー名、ワークステーション名、またはアドレス）
Job	印刷要求番号
Files	ファイル名
Total Size	印刷ジョブのデータサイズ（スプール時）常に「0 bytes」と表示。

8

プリントログ情報

これまでに印刷したジョブの記録です。過去16件分の記録が表示されます。

次の方法で確認できます。

- UNIX：rsh、rcp、ftpのprnlogパラメーターを使います。⇒ P.120 「プリンターの状態表示」
- mshell：prnlogコマンドを使います。⇒ P.143 「プリンターの状態」

項目名	意味
ID	印刷要求番号
User	印刷要求元（ユーザー名、ワークステーション名、またはアドレス）
Page	印刷したページ数
Result	通信結果 • Finished 通信上、印刷要求は正常に終了しました。ただしプリンター側の問題で印刷が正常に終了していない場合があります。 • NG 印刷が正常に終了しませんでした。 • Canceled rcp、rsh、lprコマンドの印刷要求が中止されました。印刷アプリケーションにより発生する場合があります。ftp、rprinterでは発生しません。
Time	印刷要求受け付け時間
User ID *1	プリンタードライバーで設定されたUser ID
JobName *1	ファイル名

*1 IDを指定して、mshellのprnlogコマンドを入力した場合、表示されます。

ネットワークインターフェースボードの情報

ネットワークインターフェースボードに設定してある内容の情報です。

次の方法で確認できます。

- mshell：showコマンドを使います。⇒P.143「ネットワークインターフェースボードの情報」

項目名	意味
Common	
Mode	
Protocol Up/Down	プロトコルの有効(Up)、無効(Down)
AppleTalk	
TCP/IP	
NetWare	
NetBEUI	
IP over 1394 *1	
SCSI print *1	
Ethernet interface	内部的なバージョン番号
Syslog	
priority	
NVRAM version	内部的なバージョン番号
Device name	プリンタ名
Comment	コメント
Contact	SNMP情報での設置場所
Location	SNMP情報での管理者や連絡先
Soft switch	
AppleTalk	
Mode	選択中のAppleTalkプロトコル
Net	ネットワーク番号
Object	Macintosh上からのプリンター名
Type	プリンターのタイプ名
Zone	所属しているゾーン名
TCP/IP	
Mode	コマンドの有効(Up)、無効(Down)
ftp	
lpr	
rsh	
telnet	

項目名	意味
diprint	
web	
ftpc	
snmp	
ipp	
wins	
EncapType	フレームタイプ
dhcp *4	Dynamic Host Configuration Protocol：on（有効）、off（無効）
Address	IPアドレス
Netmask	サブネットマスク
Broadcast	ブロードキャストアドレス
Gateway	デフォルトゲートウェイアドレス
AccessRange [X *2]:	アクセスコントロールレンジ
Primary WINS	プライマリWINSサーバアドレス
Secondary WINS	セカンダリWINSサーバアドレス
Time Server	NTPサーバアドレス
Time Zone	NTPサーバとの時間差
Time Server Polling time	NTPサーバとのインターバル間隔
SYSLOG server	
Home page URL	ホームページのURL
Home page link name	ホームページのURL名
Help page URL	ヘルプページのURL
SNMP protocol	SNMPで使用するプロトコル
NetWare	
EncapType	フレームタイプ
RPRINTER number	リモートプリンタ番号
Print server name	プリントサーバ名
File server name	接続するファイルサーバ名
Context name	プリントサーバのコンテキスト
Swich	
Mode	動作モード
NDS/Bindery	（この値は固定です）
Packet negotiation	
Print job timeout	パケットタイムアウト

8

項目名	意味
NetBEUI	
Switch	
Mode	（この値は固定です）
Direct print	（この値は固定です）
Notification	印刷完了通知
Workgroup name	ワークグループ名
Computer name	コンピュータ名
Comment	コメント
Share name[1]	共有名（プリンターの機種名です）
IP over 1394 *1	
Device name	プリンタ名
Address	IPアドレス
Netmask	サブネットマスク
Broadcast	ブロードキャストアドレス
SCSI print *1	
Bidi	双方向通信設定(on/off).
IEEE 802.11b *3	
SSID	現在使用中のSSID
Channel range	使用可能なチャンネル範囲
Channel	現在使用中のチャンネル
Communication mode	無線LANの通信モード
Rate	無線LANの通信速度
Auth	WEP使用時の認証モード設定の有効（valid）、無効（Invalid）
WEP encryption	WEPの有効（On）、無効（Off）
Enctyption key	WEPキー
Shell mode	リモートメンテナンスツールのモード

*1 拡張1394 ボード（オプション）装着時に表示されます。

*2 Xには1～5の数字が入ります。

*3 拡張無線LANボード装着時に表示されます。

*4 IPSiO NX920/NX730N/NX630をお使いの場合、「Network boot」と表示されます。

8

メッセージ一覧

プリンターのシステムログ情報として記録されるメッセージと、ユーティリティやコマンドの使用時に表示されるメッセージの一覧です。

システムログ情報

システムログ情報は次の方法で確認できます。

- UNIX：rsh、rcp、ftpのsyslogパラメーターを使います。⇒ P.120「プリンターの状態表示」
- mshell：syslogコマンドを使います。⇒ P.143「システムログ情報」

メッセージ	状態、対処方法
Access to NetWare server <ファイルサーバ名> denied. Either there is no account for this print server or the NetWare server on the password was incorrect.	（プリントサーバ動作時）ファイルサーバにログインできません。<ファイルサーバ>上にプリントサーバが登録されているか確認してください。プリントサーバにパスワードを設定している場合はパスワードを削除してください。
add_sess: community <コミュニティ名> already defined.	コミュニティ名が重複しています。他のコミュニティ名と重複しない名前を設定して下さい。
session <コミュニティ名> not defined.	認証不可のコミュニティ名で、設定要求を受けました。
add_sess:bad trap addr:<IpAddress>, community:<コミュニティ名>	コミュニティのアクセスタイプがTrapの場合、IPアドレス 0.0.0.0 は無効です。Trap送信先ホストのIPアドレスを指定して下さい。
add_sess_ipx: bad trap addr: <IPXアドレス>, community:<コミュニティ名>	コミュニティのアクセスタイプがTrapの場合、IPXアドレス 00:00:00:00:00:00 は無効です。Trap送信先ホストのIPXアドレスを指定して下さい。
add_sess_ipx: community <コミュニティ名> already defined.	コミュニティ名が重複しています。他のコミュニティ名と重複しないコミュニティ名を設定して下さい。
session_ipx <コミュニティ名> not defined.	認証不可のコミュニティ名で、設定要求を受けました。
anpd start. (AppleTalk)	anpd(AppleTalk Network Package Daemon)を起動しました。
Attach FileServer=<ファイルサーバ>	ニアレストサーバとして<ファイルサーバにアタッチしました。>
Attach to print queue <プリントキュー名>	（プリントサーバ動作時）<プリントキュー名>にアタッチしました。
Cannot create service connection	（リモートプリンタ起動時）ファイルサーバとコネクションを確立できません。ファイルサーバのユーザ制限を越えている場合があります。

8

メッセージ	状態、対処方法
Cannot find rprinter（<プリントサーバ名>/<プリンタ番号>）（リモートプリンタ起動時）	<プリントサーバ名>上に<プリンタ番号>のプリンターがありません。プリントサーバに登録されているプリンターのプリンタ番号を確認してください。プリントサーバに登録されているプリンターのプリンタ番号を確認してください。
Change IP adress from DHCP Server.	本機がDHCPサーバからのIPアドレスのリース更新時に、使用していたIPアドレスが変更されました。毎回同じIPアドレスが割り当てられるように、DHCPサーバを設定してください。
child process exec error!（プロセス名）	本機がネットワーク関連の起動に失敗しました。電源再投入しても回復しない場合は、サービス実施店に連絡してください。
Connected DHCP Server（<DHCPサーバアドレス>）.	DHCPサーバからのIPアドレス取得に成功しました。
connection from <IPアドレス>	ホスト<IPアドレス>よりログインされました。
Could not attach to FileServer <エラー番号>	（リモートプリンタ起動時）ファイルサーバに接続できません。ファイルサーバの設定を確認してください。
Could not attach to PServer <プリントサーバ名>	（リモートプリンタ起動時）プリントサーバに接続できません。プリントサーバの設定を確認してください。
Current Interface Speed : < EhternetI/F速度>	現在のEthernet I/Fの速度です。（10Mbpsまたは100Mbps）。
Current IP address（<現在のIPアドレス>）.	DHCPサーバから取得した<現在のIPアドレス>で動作します。
Current IPX address <IPXアドレス>	IPXアドレスが<IPXアドレス>です。
DHCP lease time expired.	DHCPリース切れになりました。DHCP Discoverを再び行います。なお、使用していたIPアドレスが使用できなくなります。
DHCP server not found.	DHCPサーバが見つかりませんでした。ネットワーク上にDHCPサーバが起動していることを確認してください。
dhcpcd start.	dhcpcd（DHCPクライアントサーバ）を起動しました。
Duplicate IP=< IPアドレス>（from < MACアドレス>）.	本機に設定されたIPアドレスが重複して使用されています。IP アドレスはそれぞれ固有でなければなりません。表示されたMACアドレスの機器をチェックしてください。
Established SPX Connection with PServer,（RPSocket=<ソケット番号>, connID=<コネクションID>）	（リモートプリンタ起動時）プリントサーバと接続を確立しました。
exiting	lpdのサービスを終了しました。
Exit pserver	（プリントサーバ動作時）必要な設定がされていないため、プリントサーバを終了しました。
Frametype=<フレームタイプ名>	NetWareで使用するフレームタイプを<フレームタイプ名>に設定しました。
httpd start.	httpdが起動しました。

メッセージ	状態、対処方法
IEEE 802.11b <通信モード> mode	IEEE 802.11bの通信モードです。 例）：IEEE 802.11b [infrastructure] mode　：インフラストラクチャーモード時 IEEE 802.11b [ad hoc] mode　：アドホックモード時
IEEE 802.11b current channel <チャンネル番号>	現在動作中のチャンネルが表示されます。アドホックモードの場合はユーザーが選択した番号が表示されます。インフラストラクチャーモードの場合は接続したアクセスポイントの使用チャンネルが表示されます。例）：IEEE 802.11b current channel 11
IEEE 802.11b MAC Address = <MACアドレス>	IEEE 802.11b I/F のMAC アドレスが表示されます。 例）：IEEE 802.11b MAC Address = 00:00:74:XX:XX:XX
IEEE 802.11b SSID <ssid> (AP MAC Address <MACアドレス>)	インフラストラクチャーモードの場合に接続したアクセスポイントのSSIDおよびアクセスポイントのMACアドレスが表示されます。例）：IEEE 802.11b SSID test-ssid (AP MAC Address xx:xx:xx:xx:xx:xx)
IEEE 802.11b Tx Rate <送信速度>	IEEE 802.11b 送信速度(設定値)が表示されます。 例）：IEEE 802.11b Tx Rate 11Mbps
inetd start.	inetdを開始します。
<Interface> started with IP: <IPアドレス>	<Interface>に<IPアドレス>が設定されて、動作を開始しました。
<Interface>: Subnet overlap.	<Interface>に設定しようとしたサブネット範囲が、ほかのインターフェースのサブネット範囲と重なっています。各インターフェースのサブネット範囲が重ならないように設定してください。
IPP cancel-job: permission denied.	ジョブのキャンセル時にユーザ名による認証に失敗しました。
ipp disable.	IPP機能は利用できません。
ipp enable.	IPP機能が利用可能です。
IPP job canceled. jobid=%d.	エラーあるいはユーザ要求により、スプールされたジョブがキャンセルされる場合に表示されます。
job canceled. jobid=%d.	エラーあるいはユーザ要求により、スプールされたジョブがキャンセルされる場合に表示されます。
LeaseTime=<リース時間>(sec), RenewTime=<更新間隔>(sec).	DHCPサーバから取得したIPアドレスのリース時間は<リース時間>秒、更新時間は<更新間隔>秒で表示されます。
Login to fileserver <ファイルサーバ名>（< IPX|IP>,< NDS|BINDERY>）	（プリントサーバ動作時）本機が<ファイルサーバ>にNDSまたはBINDERYモードでログインしました。使用しているトランスポートプロトコルも表示されます。
multid start.	マルチプロトコル用データ処理サービスを起動しました。
nbstart start. (NetBEUI)	NetBEUIプロトコルスタック設定サーバが起動しました。

8

メッセージ	状態、対処方法
NBT Registration Broadcast(< NetBIOS名>)	< NetBIOS名>とIPアドレスのマッピング（NetBIOS名の解決）をローカルブロードキャストで行います。
nbtd start.	nbtd(NetBIOS over TCP/IP Daemon)を起動しました。（本サービスはDHCPモード時のみ起動されます。）
NetBEUI Computer Name=<コンピュータ名>	NetBEUIのコンピュータ名を決定しました。
nmsd start. (NetBEUI)	nmsd(NaMe Server Daemon)を起動しました。
npriter start. (NetWare)	（リモートプリンタ動作時）NetWareサービスをリモートプリンタモードで起動しました。
nwstart start. (NetWare)	NetWareプロトコルスタック設定サーバが起動しました。
Open log file <ファイル名>	（プリントサーバ動作時）監視ログファイルをオープンしました。
papd start. (AppleTalk)	papd(Printer Access Protocol Daemon)を起動しました。
permission denied.	ジョブのキャンセル時にユーザ名やホストアドレスによるチェックで権限なしと判定された場合（ROOT権限を除く）に表示されます。
phy release file open failed.	ネットワークボードに異常が発生している可能性があります。
Print queue <プリントキュー名> cannot be serviced by printer 0, <プリントサーバ名>	（プリントサーバ動作時）<プリントキュー名>を確認できません。プリントキューのボリュームが設定したファイルサーバ上に存在するか確認してください。
Print server <プリントサーバ名> has no printer	（プリントサーバ動作時）<プリントサーバ名>にプリンタが割り当てられていません。NetWareアドミニストレータで割り当て後、プリンタを再起動してください。
print session full	印刷要求が最大セッション数に達しています。しばらくしてから再接続してください。
Printer <プリンタ名> has no queue	（プリントサーバ動作時）<プリンタ名>にプリントキューが割り当てられていません。NetWareアドミニストレータで割り当て後、プリンターを再起動してください。
pserver start. (NetWare)	（プリントサーバ動作時）NetWareサービスをプリントサーバモードで起動しました。
Required computer name（<コンピュータ名>）is duplicate name	ネットワーク上に同じ（<コンピュータ名>）のプリンター名を検出しました。起動処理は、（<コンピュータ名>）にサフィックス（0、1・・・）を追加して（<コンピュータ名>）を決めます。重複しないコンピュータ名を設定してください。
Required file server（<ファイルサーバ名>）not found	<ファイルサーバ名>で設定されたファイルサーバが見つかりませんでした。
restarted.	lpdのサービスを開始しました。
sap enable, saptype=< SAPタイプ>, sapname=<SAP名>	SAP機能が起動されました。SAP（SAPタイプ、SAP名）パケットを発行し、NetWareサーバ上のSAPテーブルにサービスの存在を登録します。

メッセージ	状態、対処方法
Set context to <NDSコンテキスト名>	<NDSコンテキスト名>を設定しました。
shutdown signal received. network service rebooting...	ネットワークのリブート処理を行います。
smbd start. (NetBEUI)	smbd(Sever Message Block Daemon)が起動しました。
Snmp over ip is ready.	tcp/ip上での通信が可能です。
Snmp over IP over 1394 is ready.	IP over 1394上での通信が可能です。
Snmp over ipx is ready.	IPX上での通信が可能です。
snmpd start.	Snmpdを開始しました。
started.	ダイレクトプリントサービスを開始しました。
The print server received error <エラー番号> during attempt to log in to the network. Access to the network was denied. Verify that the print server name and password are correct.	プリントサーバが登録されていないか、パスワードが与えられています。プリントサーバをパスワードなしで登録してください。
win2kspd protocol-DOWN (APPEXIT).	IEEE 1394 SCSI printの設定がムコウになったので、SCSI printプロトコルによる印刷ができなくなりました。
win2kspd protocol-UP (APPENTRY).	IEEE 1394 SCSI printの設定がユウコウになったので、SCSI printプロトコルによる印刷が可能となりました。
win2kspd started.	SCSI print(SBP-2)サービスを開始します。
WINS name refresh :Server No Response	WINSサーバアドレスに誤りがないか確認して下さい。または、WINSサーバが正常に動作しているか確認して下さい。
WINS name registration/refresh error code（エラー番号）	重複しないNetBIOS名を設定して下さい。または、WINSサーバアドレスに誤りがないか確認して下さい。または、WINサーバが正常に動作しているか確認して下さい。
WINS name registration:Server No Response	登録処理に対する応答がサーバからありません。WINSサーバアドレスに誤りがないか確認して下さい。または、WINSサーバが正常に動作しているか確認して下さい。
WINS server address0.0.0.0	WINSサーバアドレスの指定がされていません。WINSによる名前解決を行う場合はWINSサーバアドレスを設定して下さい。
WINS Server=<WINS サーバアドレス> NetBIOS Name=<NetBIOS名>	<WINSサーバアドレス>への名前の登録が正常に終了しました。
WINS wrong scopeID	不正なスコープIDが使用されています。正常なスコープIDを設定して下さい。
write error occurred.(diskfull)	スプールファイル書き込み中にHDDの空き容量がなくなりました。印刷処理が進み、HDDの空き容量が増えるのをお待ちください。
write error occurred.(fatal)	スプールファイル書き込み中に致命的なエラーが発生しました。電源再投入後復帰しなければサービス実施店に連絡してください。

8

使用上の注意

ネットワークインターフェースボードを使用する場合は､次の事項に注意してください｡設定が必要な場合は、正しく設定してからお使いください。

ネットワークにISDN回線を接続している場合

リコー製のネットワークユーティリティには周期的に装置と通信を行うものがあり、設定したアドレスの値によってはISDN 回線が接続されたままの状態になり、多大な通信料がかかることがあります。装置のネットワークアドレスを設定するとき、及びネットワークユーティリティの通信先のアドレスを指定するときは、回線の接続が発生しない値に設定してください。

リモート側のネットワーク上に NetWare のファイルサーバが存在している場合、プリンターから送出されるパケットにより ISDN 回線が接続されたままの状態になり、多大な通信料がかかることがあります。これは NetWare の仕様によるものなので、この問題を回避するには次に示すネットワーク管理上での対応が必要です。ネットワーク管理上対応できない場合は、プリンターの設定で対応してください。

ネットワーク管理上の対応方法

ISDN ルーターでプリンターのパケットをフィルタリングし、プリンターのパケットがISDN回線に流れないように設定してください。

補足

- ❒ フィルタリングするプリンターのMACアドレス（物理アドレス）は、プリンターから印刷するシステム設定リストの｢イーサネットアドレス｣に記載されています｡システム設定リストについて詳しくは､プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。
- ❒ ルーターの設定を変更できない場合は､以下の手順で対応してください。

プリンターの設定による対応方法（NetWareを使用する場合）

1 **本書のセットアップ方法にしたがい、必ずファイルサーバを指定します。**

補足

- ❒ Ridoc IO Adminでは、イーサネットボード設定ツールのプロパティシートを開き、［NetWare］タブの［ファイルサーバ名］ボックスに、ファイルサーバ名を入力します。

2 **NetWare の使用環境に合わせてフレームタイプを固定します。**

参照

使用するフレームタイプを選択する方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

プリンターの設定による対応方法（NetWareを使用しない場合）

1 **ネットワークインターフェースボードは印刷していない間もネットワーク上にパケットを発行します。プロトコルの選択でNetWareを無効にします。**

参照

プロトコルを無効にする方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

NetWare環境で印刷する場合

フォームフィードの設定

NetWare上で用紙送り（フォームフィード）の設定をしないでください。Windowsのプリンタードライバーで改ページの制御を行っているため、NetWare上で設定する必要はありません。設定していると正しく印刷できない場合があります。

用紙送りしないようにするには、使用しているOSに応じて以下のように設定します。

- Windows 95/98/Meの場合はプリンターのプロパティの［ポートの割り当て］タブで、［ジョブ後に用紙を送る］のチェックを外します。

バナーページの設定

NetWare上でバナーページの設定をしないでください。

バナーページを付けないようにするには、使用しているOSに応じて以下のように設定します。

- Windows 95/98/Meの場合はプリンターのプロパティの［ポートの割り当て］タブで、［見出しページ］のチェックを外します。

プリンターのリセット後に印刷するとき

リモートプリンターとして使用しているプリンターをリセットすると、プリンターは30～40秒後にいったんプリントサーバから切断され、そのあと再び接続されます。リセット後、切断されるまでの間も印刷ジョブは受け付けられますが、このジョブは実際には廃棄されて印刷されないことがあります。これはNetWareの仕様によるものです。

プリンターをリモートプリンタとして使用していて、リセットした直後に印刷するときは、プリントサーバ上でプリンターのステータスが未接続になったことを確認するか、リセットしてから2分程度待って印刷してください。

Ridoc IO NaviでIPPを使用する場合

Ridoc IO NaviでIPPを使用する場合は、以下の点に注意して使用してください。

- ネットワークプリンターが受け付けるRidoc IO Naviからの印刷ジョブは、1件のみです。ネットワークプリンターが印刷中のとき、他のユーザーがRidoc IO Naviを使用して続けて接続しようとしても、先に行っている印刷が完了するまでは接続できません。この場合、後から接続しようとしたユーザーのRidoc IO Naviは、リトライ設定時間経過ごとに接続を試みます。
- Ridoc IO Naviがネットワークプリンターに接続できずにタイムアウトになると、印刷ジョブが一時停止されます。この場合、プリンターウィンドウで一時停止を解除する必要があります。このとき、ネットワークプリンターに接続し直されます。印刷ジョブは、プリンターウィンドウで取り消すことができますが、ネットワークプリンターが印刷を開始してから印刷ジョブを取り消すと、この次にプリンターに接続したユーザーの印刷ジョブが正しく印刷できなくなる場合があります。
- Ridoc IO Naviからの印刷ジョブが途切れて印刷できなくなってネットワークプリンターにより印刷ジョブが取り消された場合は、印刷の操作をもう一度やり直す必要 があります。
- 他のコンピュータから出された印刷ジョブは、プロトコルにかかわらず、プリンターのアイコンをダブルクリックして開くウィンドウに表示されません。
- 複数のユーザーがRidoc IO Naviを使用して印刷しようとした場合、ネットワークプリンターに接続しようとした順に印刷が始まらない場合があります。
- IPPの印刷ポート名にIPアドレスは使用できません。Ridoc IO Naviがポート名としてIPアドレスを使用するため、ポートの競合が発生します。

仕様

インターフェース	100BASE-TX、10BASE-T、IEEE 1394（IP over 1394）[*1]、IEEE 802.11b
フレームタイプ	EthernetII、IEEE802.2、IEEE802.3、SNAP
プロトコル	• IPX/SPX NetWare 3.12J、3.2J、4.1J、4.11J、4.2J、IntranetWare、5/5.1J • NetBEUI [*2] Windows 95 日本語版 Windows 98 日本語版 Windows Me日本語版 Windows 2000 日本語版 Windows NT 4.0 日本語版 • TCP/IP Windows 95 日本語版 Windows 98 日本語版 Windows Me日本語版 Windows 2000 日本語版 Windows XP 日本語版 Windows NT 4.0 日本語版 NetWare5/5.1J UNIX • IPP Windows 95 日本語版 Windows 98 日本語版 Windows Me日本語版 Windows 2000 日本語版 Windows XP 日本語版 Windows NT 4.0 日本語版 • AppleTalk MacOS 漢字Talk7.1以降 Mac OS X 10.1
SNMP	MIB-II、PrinterMIB、HostResourceMIB、RicohPrivateMIB（リコーオリジナル）

[*1] 拡張1394ボード（オプション）装着時に、TCP/IPプロトコルのみ使用できます。

[*2] NetBEUIプロトコルは、Ridoc IO Naviポート経由でご使用ください。

索引

アルファベット索引

AutoNet機能 **134**

DHCP **134**

  AutoNet機能 **134**

/etc/hosts **105**

/etc/printcap **106**

EtherTalkへの切り替え **99**

ftpコマンドによる印刷 **110**

IPP **145**

LANアダプタ(LANA)番号 **63**

lpr、lpコマンドによる印刷 **108**

LPRポートを使ったTCP/IP印刷

  Windows 2000 **32**

  Windows NT 4.0 **66**

  Windows XP **47**

Macintoshで使う **99**

mshell **140**

NetWare3.xJでのセットアップ **80**

NetWare4.xJ、NetWare5/5.1Jでのセットアップ **87**

NetWareで使う **79**

Ridoc IO NaviでIPPを使用する場合の注意 **163**

ROUTE **146**

rsh、rcp、ftpコマンドによる印刷 **109**

SLP **146**

SMB **146**

SNMP **144, 151**

SNTP **150**

TCP/IPアドレス **141**

telnetによるリモートメンテナンス（mshell）**140**

  コマンド一覧 **141**

  コマンド **143**

UNIXで使う **101**

Webブラウザを使用する **129**

Windows 2000で使う **27**

Windows 95/98/Meで使う **13**

Windows NT 4.0で使う **61**

Windows XPで使う **43**

Windowsからのファイル直接印刷 **137**

WINSサーバ

  mshell **136**

  Webブラウザ **135**

あ行

アクセスコントロール **142**

印刷方法

  UNIX **108**

  Windowsからのファイル直接印刷 **138**

インストールシェルの実行 **103**

インストールシェルの実行結果 **105**

オプション指定(UNIX) **111**

オプション指定（UNIX）

  印刷部数 **117**

  エミュレーションとプログラム **112**

  オプション指定の変更方法 **119**

  解像度 **119**

  漢字フィルター **113**

  給紙トレイ **113**

  ソート部数 **117**

  排紙トレイ **116**

  用紙サイズ **114**

  用紙種類 **116**

  両面印刷 **118**

か行

クライアント側のセットアップ

  NetWareへの印刷 **96**

さ行

サブネットマスク **141**

システムログ情報 **157, 143**

取得情報の内容 **152**

仕様 **164**

使用上の注意 **162**

スプール設定 **148**

セットアップ

  Macintosh **99**

  NetWare3.xJ **80**

  NetWare4.xJ/NetWare5/5.1J **87**

  UNIX **101**

  Windowsからのファイル直接印刷 **137**

ゾーンの変更 **100**

た行

ダイレクトプリント **145**

な行

名前とコメントの変更
Windows 2000 **35**
Windows 95/98/Me **19**
Windows NT 4.0 **70**
Windows XP **52**

ネットワーク
インターフェースボードの情報 **154, 143**

ネットワークにISDN回線を接続している場合 **162**

DHCP **142**

ネットワークブート **142**

は行

パスワード **130, 149**

プリンターの状態 **143**

プリンターの状態表示
Windows 2000 **39**
Windows 95/98/Me **23**
Windows NT 4.0 **74**
Windows XP **56**
UNIX **120**

プリンター名の変更(Macintosh) **100**

プリントサーバとして使う
NetWare3.xJ **80**
NetWare4.xJ/NetWare5/5.1J **87**

プリントジョブ情報 **152**

プリントログ情報 **153**

ブロードキャストアドレス **141**

プロトコル **143**

ま行

無線LANの設定 **147**

メッセージ一覧 **157**

ら行

リモートプリンタとして使う
NetWare3.xJ **82**
NetWare4.xJ,NetWare5/5.1J **90**

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウエア、ソフトウエア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

株式会社リコー
東京都港区南青山1-15-5 リコービル 〒107-8544
(03) 3479-3111(代表)

プリンターネットワーク編　使用説明書

お買い上げいただきました弊社製品についての消耗品のご注文や修理、製品の操作方法に関するお問い合わせはお買い上げの販売店、または最寄りのサービス実施店にご相談ください。
修理については、修理範囲(サービスの内容)、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。
転居の際は、販売店またはサービス実施店にご相談ください。転居先の最寄りの販売店、サービス実施店をご紹介いたします。

最新プリンタードライバー情報

最新版のプリンタードライバーをインターネットのリコーホームページから入手することができます。
● インターネット/リコーホームページ：http://www.ricoh.co.jp/

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

リコーは環境に配慮し、説明書の印刷に大豆から作られたインキの使用を推進しています。
この説明書は再生紙を使用し、リサイクルに配慮し製本しています。この説明書が不要になったときは、資源回収、リサイクルに出しましょう。

Printed in China
2002年10月　G090-8502